PDF MANUAL



出来形ギア

KENSETSU GEAR SERIES

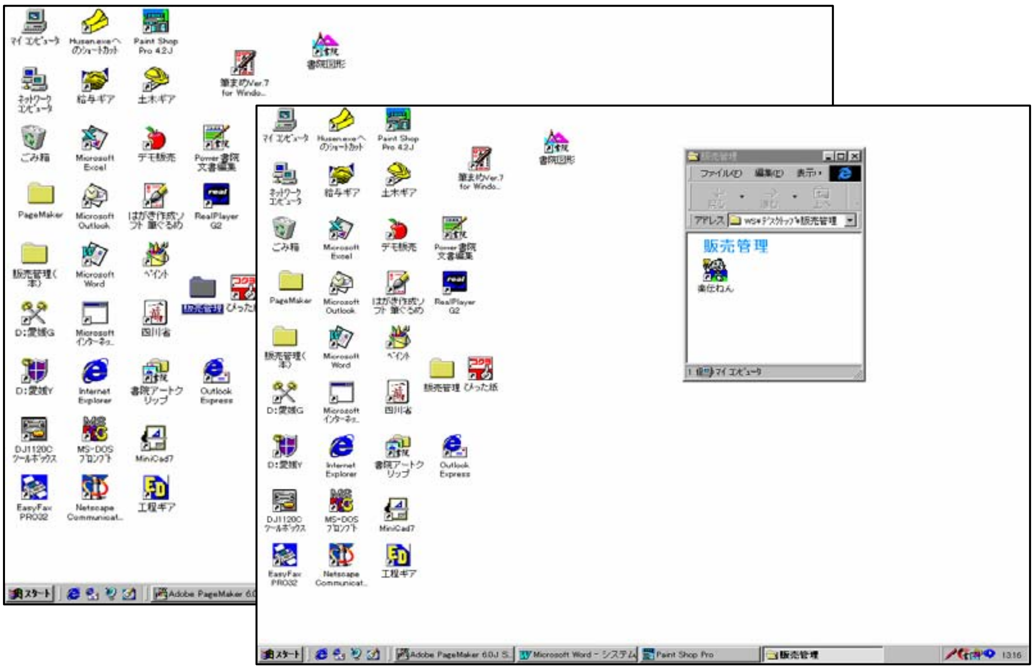
株式会社シャープ松山オーエー
www. sharpoa. jp

第Ⅰ章　はじめに

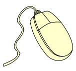
Ⅰ－１　システムの起動と終了の方法

Ａ．パソコン（Ｗｉｎｄｏｗｓ９５／９８）の起動

１．バックアップ装置の電源　　ＯＮ
２．モニタ（テレビ）の電源　　ＯＮ
３．プリンタの電源　　ＯＮ
４．パソコン本体の電源　　ＯＮ



Ｗｉｎｄｏｗｓが起動しプログラム（アイコン）選択画面が開きます。

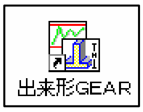
マウスを動かすと、画面上のカーソル（矢印等）が移動しますので、該当プログラムのアイコン（絵のマーク）に、矢印を合わせて下さい。

Ｂ．プログラムの起動

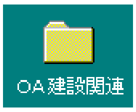
１．アイコンの中から該当するプログラムのアイコンに、マウスを動してカーソルを合わせ左ボタンをダブルクリックします。

注１）カーソルとは、マウスの動きに同調して、画面上で動く矢印等のマークの事を呼びます。

注２）クリックとは、マウスに付いている２個（３個）の左右どちらかのボタンを１回押すことを言い、素早く続けて２回押すことをダブルクリックと言います。
右ボタンと左ボタンでは、働きが異なりますので、注意してご利用下さい。

注３）プログラムのアイコンは 

の様な形で直接表示されている場合と



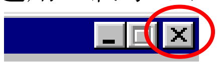
（フォルダー）の様な形で表示されている場合があります。
（フォルダー）の場合は、矢印を合わせマウスの左ボタンをダブルクリックか、クリックしてから、キーボードの【Enter】キーを押して下さい。



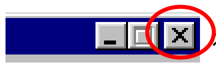
右の様なウインドが開きますので、プログラムのアイコンに矢印を合わせ、マウスの左ボタンをダブルクリックか、クリックしてから、キーボードの【Enter】キーを押して下さい。

２．クリックしたアイコンに表示されているプログラムの初期（スタート）画面が表示されますので、画面の指示に従ってプログラムの運用を始めて下さい。

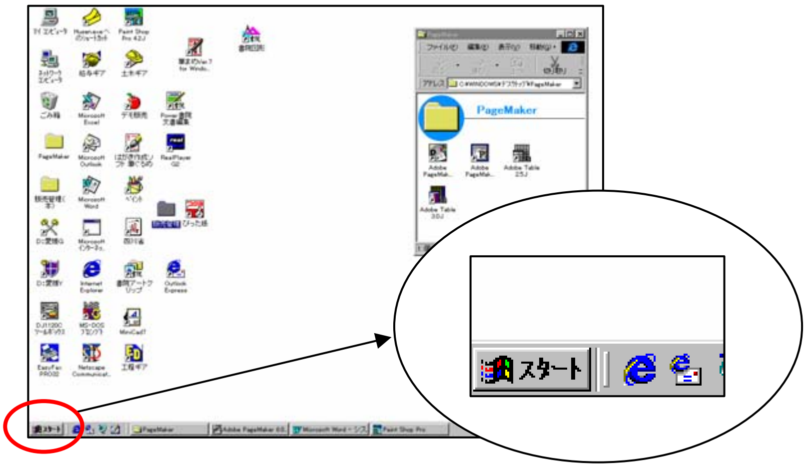
Ｃ．プログラムの終了

１．　プログラムの運用が終了したら、それぞれの処理
画面の右上の  にカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックして、スタートのメニュー画面に戻って下さい。

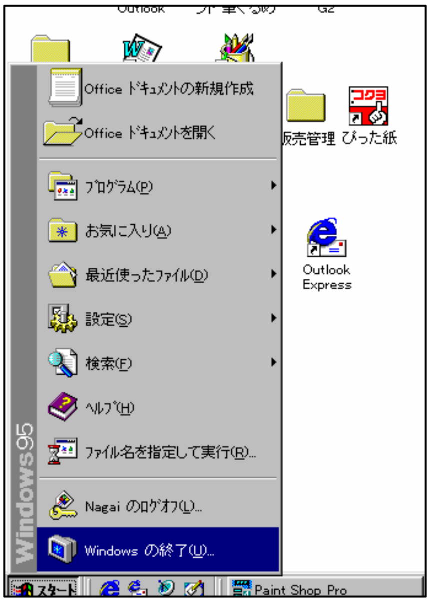
注）プログラムにより、画面下にあるファンクションキーの機能表示の中の［終了］で戻ることの出来るものもあります。

２．スタートメニュー画面の  を、クリックするとプログラムが終了し、Ｗｉｎｄｏｗｓ初期画面に戻ります。

Ｄ．Ｗｉｎｄｏｗｓの終了



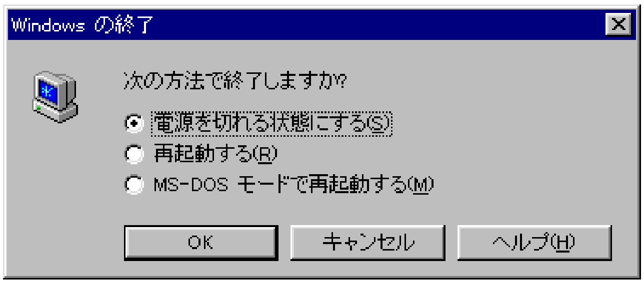
１．Ｗｉｎｄｏｗｓ画面の左下にある［スタート］（ボタン）に、マウスを動かして矢印（カーソル）を合わせ左ボタンを押します。



２．左ボタンをクリックすると、右の様な新たなウインドが表示（開く）されます。

３．マウスを動かし、カーソルを［Ｗｉｎｄｏｗｓの終了（U)］に合わせ、左ボタンをクリックします。

４．下のようなウインドが表示されますので「電源を切れる状態にする」の○印しにカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリック、引き続き［ＯＫ］にカーソルを合わせマウスの左ボタンでクリックして下さい。



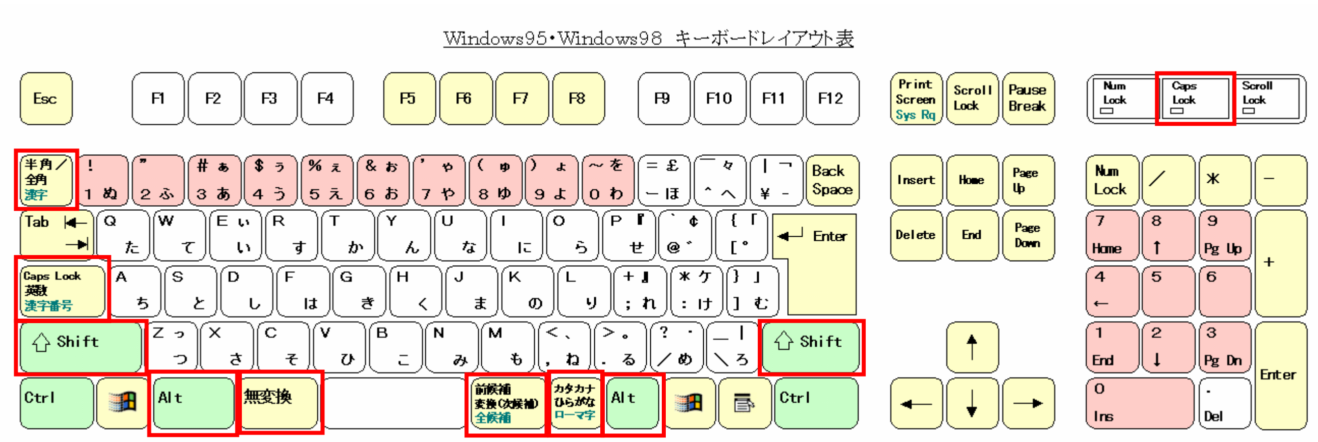
５．画面に「しばらくお待ち下さい」のメッセージが表示された後、「電源を切る準備ができました」のメッセージが表示されますので、パソコン本体、モニター、バックアップ装置、プリンタ等の電源をＯＦＦにして下さい。

注１）パソコンの中には「しばらくお待ち下さい」のメッセージ表示の後、自動で電源がＯＦＦになるものもあります。
大変便利ですが、モニター等の電源を切ることを忘れないで下さい。

以上で、パソコンの運用が全て終了します。

Ｉ－２　日本語変換基本操作について

Ｗｉｎｄｏｗｓ対応ソフトで日本語変換入力を有効にする場合は「Ａｌｔ」＋「半角／全角」（「Ａｌｔ」を押したまま「半角／全角」を押す）と入力の切り替えができます。
日本語変換が有効である場合は、画面のどこかに、  **等の日本語入力モードとなったことを示すものが表示されます。**



【入力方法】

ひらがな入力

【カタカナ／ひらがな】を押す。



カタカナ入力

【Shift】＋【カタカナ／ひらがな】を押す。

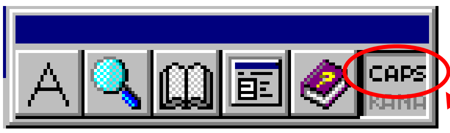


英数字入力

【英数（Caps Lock）】を押す。

【Shift】+【Caps Lock（英数）】押してキーボードの「Caps Lock」ランプを点灯させると、キー操作で大文字が入力でき、【Shift】キーを押したままキー操作をすると小文字が入力されます。

再度、【Shift】+【Caps Lock（英数）】押してキーボードの「Caps Lock」ランプを消灯させると、キー操作で小文字が入力でき、【Shift】キーを押したままキー操作をすると大文字が入力されます。





Caps Lock ランプが点灯し
ＣＡＰＳが表示される

半角文字入力

カタカナ文字及び英数文字は半角文字入力ができます。

それぞれの入力モードを選択し【半角／全角】キーを押します。




半角入力から、全角入力に戻る場合は【半角／全角】をもう一度押します。

【漢字変換】

かな漢字変換

キーボードのひらがな表示キーを使用した入力方法です。



ＫＡＮＡが表示

ローマ字変換

キーボードの緑色表示の【Alt】キーを押したまま【ローマ字（カタカナ／ひらがな）】キーを押すとローマ字変換モードになります。



ＫＡＮＡ表示が消去

キーボード英数表示キーを使用してローマ字で入力する方法です。

「ローマ字変換」から「かな漢字変換」に変更するには、再度【Alt】＋【ローマ字】で変わります。

該当漢字が表示されたら、【Enter】で確定させます。

【変換方法】

漢字に変換

ひらがなを入力し、入力したひらがなにアンダーラインがかかっている状態で、該当する漢字が出るまで【変換（次候補）／前候補】キーを押します。

該当候補の漢字が通り過ぎた場合は、【Shift】＋【前候補／変換（次候補）】キーで戻って下さい。

ひらがな（カタカナ）のまま使用

ひらがな（カタカナ）入力後、【無変換】キーを押すか、【Enter】で確定させて下さい。

五十音順の漢字検索

漢字の読み仮名の頭文字を一文字入力してからそのまま「Ｆ５」を押すと、五十音順漢字一覧ウインドが画面に表示されるので該当する漢字をカーソル指定して【Enter】で取り込みます。

ひらがな変換

文字入力をして、変換確定する前に【Ｆ６】キーを押すと、変換前のひらがなに戻ります。

カタカナ変換

文字入力をして、変換確定する前に【Ｆ７】を押すと、変換前の文字（ひらがな）がカタカナに変換し表示されます。

半角変換

入力した全角文字を、変換確定する前に【Ｆ８】を押すと、変換前の文字がカタカナ半角に変換表示されます。

英数文字変換

ローマ字入力の文字を、変換確定する前に【Ｆ９】を押すと変換する前の文字が英字に表示される（ただし、入力されたときの文字が仮名であったときは変換できません。また、英字の入力が小文字の場合は小文字に表示され、大文字の場合は大文字に表示されるが【Ｆ９】をもう一度押すと小文字に変換でき、【Ｆ９】を押す毎に大文字→小文字→頭文字のみ大文字の順に変換されます。

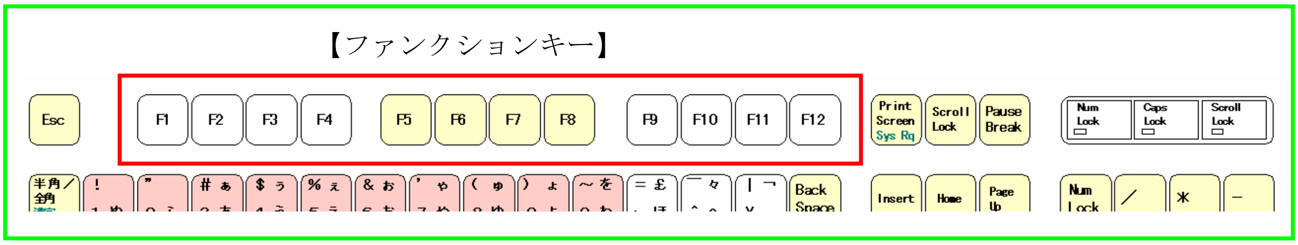
コード変換入力

パソコンで使用できる漢字にはコードと呼ばれる番号（英数）が付けられています。

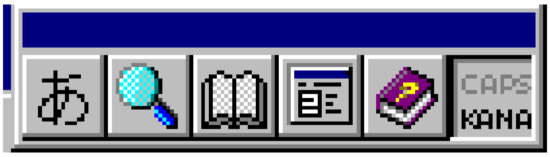
コードには、ＪＩＳコード、新ＪＩＳコード、区点コード、１６進コード等がありますが、１６進コードをご利用下さい。

使用したい漢字の１６進コードを入力し【Ｆ５】を押すと該当する漢字を筆頭にコード順にウインド表示されますので【Enter】で取り込んでください。

コード変換入力は、通常の漢字変換で該当漢字が表示されない場合や、読み方の解らない漢字を使用したい場合に便利ですが、パソコン用のコードが記載されている漢字辞典をお近くの書店でお求めになることをおすすめ致します。



【ＭＳ－ＩＭＥツールバーの説明】



　ひらがな、カタカナ、英数の「入力モード」を表示します。

　「単漢字検索」ウインドが表示されます。



漢字の総画数や部首で漢字の検索ができます。その他、記号の検索もできますので、ウインド表示された「索引」側の該当項目を左クリックし、「候補」側の該当項目を左クリックで選択してください。

　「単語／用例の登録」画面（ダイアログボックス）が表示されます。



よく使用する語句や熟語、記号等を自分なりの言葉（読み）で変換表示させるための登録処理です。

［読み］変換のキーとなる文字列を入力します。

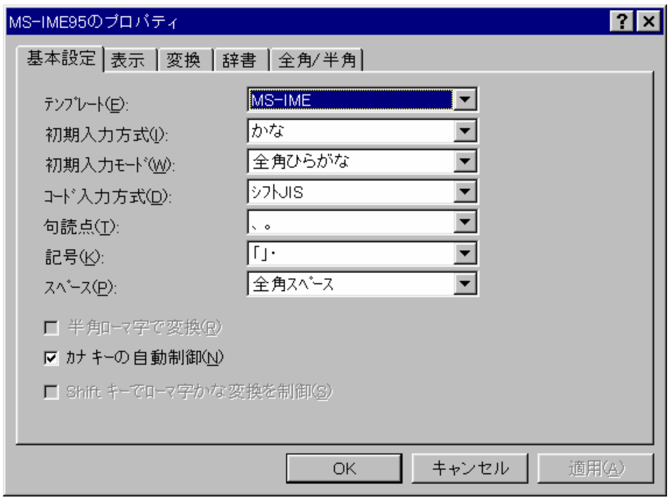
例）えんた

［語句］変換で表示させたい文字列を入力します。

例）【Enter】

えんた【変換】→【Enter】となります。

　「ＭＳ－ＩＭＥ」の各種条件設定（プロパディ）画面（ダイアログボックス）が表示されます。



［基本設定］［表示］［変換］［辞書］［全角／半角］の項目毎に各種設定項目がありますので、ご自分に一番合った設定を選択して下さい。

「ＭＳ－ＩＭＥ」のヘルプ機能です。
ＭＳ－ＩＥＭの取扱説明書となっていますので、上手にご利用下さい。
カナキーと CapsLock キーの状態を表示します。

Ｉ－３　お願い

【使用基本規定】

◆本書及び本ソフトウエアの内容の全部又は一部を、当社に無断で転載あるいは複製をすることをお断り致します。

◆本書の内容及び本ソフトウエアは、改良のため予告無く変更することがあります。

【お願い】

◆本書及び本ソフトウエアは厳重な品質管理と製品検査をへて出荷しておりますが、万一不具合が有りましたら至急お買い上げの販売店までご連絡下さい。

◆お客様又は第三者が本ソフトウエアの使用誤まりや使用中に生じた異常その他不具合によって受けられた損害についてはいかなる場合におきましても当社は一切その責任を負いませんので予めご了承下さい。

Ｉ－４　ご注意

◆本システムをご利用の前に、Ｗｉｎｄｏｗｓ９８の基礎的な運用方法を学習しておいて下さい。

◆停電によるトラブルは「命取り」になりかねません。十分な対策を講じるか、十分に注意してご利用下さい。

◆他のＷｉｎｄｏｗｓアプリケーションソフトを追加運用する時、場合によっては不具合を生じる事も予想されます。当社では責任を持てませんので、予めご了承下さい。

◆Ｗｉｎｄｏｗｓは簡単に操作できますが、その分チョットした誤操作により簡単にＷｉｎｄｏｗｓを破壊する恐れが多分にあります。不明な場合や、心配な操作をする場合は、詳しい方に相談するか、前以て販売店にご相談下さい。

◆Ｗｉｎｄｏｗｓの復旧には長時間を要し大変な作業となりますので、復旧費用を別途ご請求することとなりますので十分注意して操作して下さい。

◆身近になったパソコンですが、精密機械に変わりはありません。清潔な環境での運用をお願いいたします。

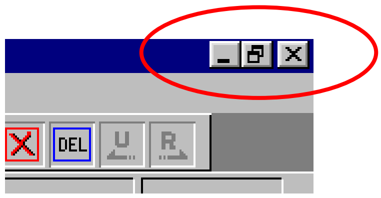
★本取扱説明書の最初に添付しているピンクの説明所を必ずご一読下さい。

Ｉ－５　この取説を読む上で

１）表現方法について

Ｗｉｎｄｏｗｓソフトでは、キーボードの他に、マウスを使って操作する大きな特徴がありますが、この取説上では、マウスの操作等を次の様に表現しています。

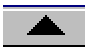
○マウスの左ボタンを１回押す→左クリック
○マウスの左ボタンを２回押す→左ダブルクリック
○マウスの右ボタンを１回押す→右クリック
○マウスの移動に連動して動く矢印→カーソル
（その他のマークの場合もあります。）
○画面上部のマーク（絵模様）→アイコン
マウスを移動しアイコンにカーソルを会わすと、アイコンの「働き（処理内容)」が表示されます。
○Ｗｉｎｄｗｓ画面上の操作マーク（**マウスで指定しクリックすると何らかの処理をするマーク**）を［ボタン］と表現します。
○画面右上の  ボタン→［終了］ボタン
表示されている画面が終了し他の画面に変わります。



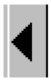
○画面右上の  ボタン→［休止］ボタン
表示されている画面が休止状態（画面名／ソフト名のバー表示が画面下に表示されます。）になります。
画面下のバー表示をマウスの左ボタンでクリックすることにより休止前の画面に戻ります。
○画面右上の  ボタン→［(画面）拡大］ボタン
縮小表示されている画面を拡大表示にします。
○画面右上の  ボタン→［(画面）縮小］ボタン
拡大表示（モニターの画面一杯に表示）を縮小表示します。
○その他、画面上の操作マークは全て［ＯＯ］ボタンと表現します。
例）

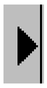


［拡大］ボタン

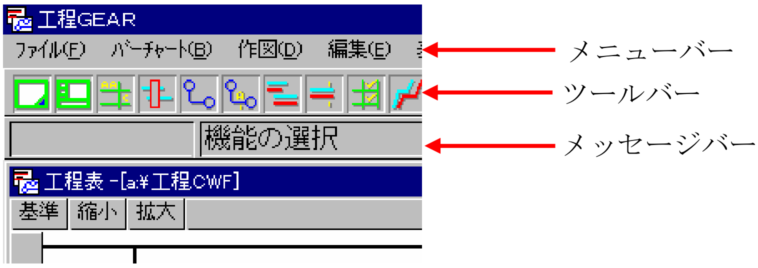
○作図画面周囲の  印し→［上スクロール］ボタン

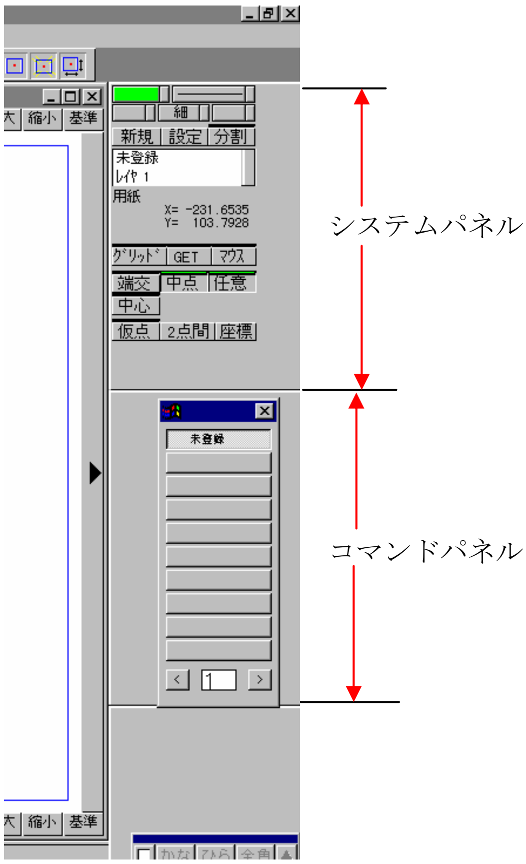
 印し→［下スクロール］ボタン

 印し→［左スクロール］ボタン

 印し→［右スクロール］ボタン

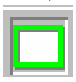
○その他

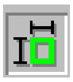


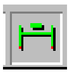


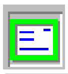
２）ツールバー、アイコンの説明

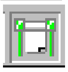
ａ．出来形管理作図アイコン


図・表枠作成：出来形管理５表の図表枠が作成表示されます。

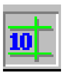

略図編修：まめ図、測定項目の登録が出来ます。

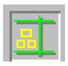

略図記号：まめ図の寸法線を作成します。

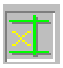

表紙編修：表紙の必要項目を入力する画面


管理図表印刷：出来形及び品質管理、Ｘ－Ｒ図表の印刷をします。

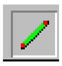

ページ：ページウインドを画面に表示します。

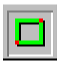

出来形編修：出来形管理図のデータ入力ウインドが表示されます。


品質編修：品質管理図のデータ入力ウインドが表示されます。

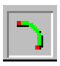

Ｘ－Ｒ編修：Ｘ－Ｒ管理図のデータ入力ウインドが表示されます。

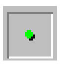
ｂ．作図アイコン

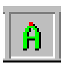

線分：直線を引く


矩形：四角形を引く

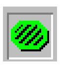

円：丸を書く


円弧：丸の一部分を書く


点：点を打つ


文字：文字を書く


注記：注記（文字等）を書く


ハッチング：網掛けをする

ｃ．操作アイコン

ズーム：左クリックで拡大表示、右クリックで縮小表示

拡大：矩形指定した範囲内が画面いっぱいに拡大表示

基準表示：基準（元の）標示に戻る

再表示：標示のしなおし

スクロール：左クリックでカーソル指定した位置が中心に標示される

複写：矩形範囲指定した図形（作画要素）の複写

移動：矩形範囲指定した図形（作画要素）の移動

延短：入力した直線の延長、短縮

切断：

文字変更：入力済み文字の書き換え

文字属性変更：入力済み文字のフォント、サイズ等の変更

要素変更：矩形範囲指定した作画要素の色、線種等の変更

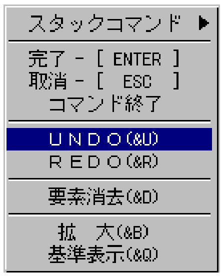
要素消去：カーソル指定した作画要素を左クリックで消去

枠内消去：矩形範囲指定した作画要素を右クリックで消去

全消去：作画中の全てを消去

ＵＮＤＯ：ひとつ前の処理に戻る

このアイコンをクリックするか、または作図画面で右クリックで右の様なウインドが表示されますので、［UNDO］を左クリックすると、画面はひとつ前の処理画面に戻ります。

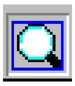


ＲＥＤＯ：ＵＮＤＯで戻る前の処理画面に戻ります。

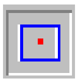
（ＵＮＤＯで戻過ぎた場合に先の処理画面に進みます）



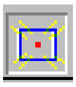
拡大縮小表示：画面の表示を左クリック（拡大)、右クリック（縮小）で変更します。



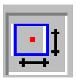
ルーペ：カーソルで矩形指示した部分を画面一杯に表示します。



基準表示：拡縮表示やルーペで表示率を変更、表示している画面を基準表示に戻します。



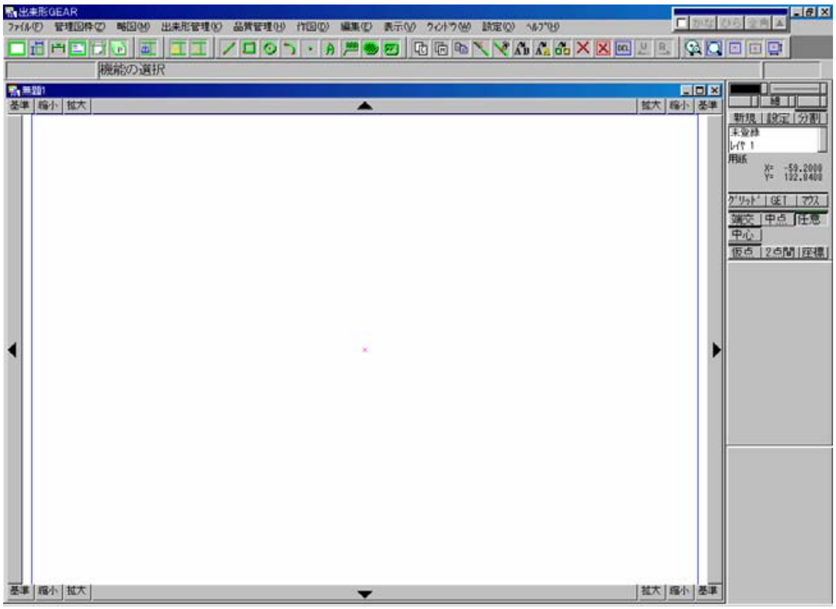
再表示：画面が不自然な表示になった場合に、自然な表示に戻します。



スクロール：画面上の任意の場所を左クリックすると、そこが画面の中央になるように表示しなおします。

第Ⅱ章　出来形管理

【出来形ギア】のアイコンを左ダブルクリックすると、出来形管理図表作成画面が表示されます。

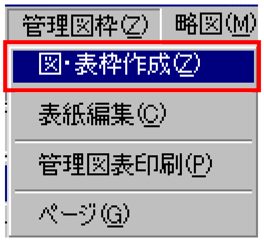


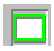
Ⅱ－１　出来形データ入力

A.　図・表枠作成

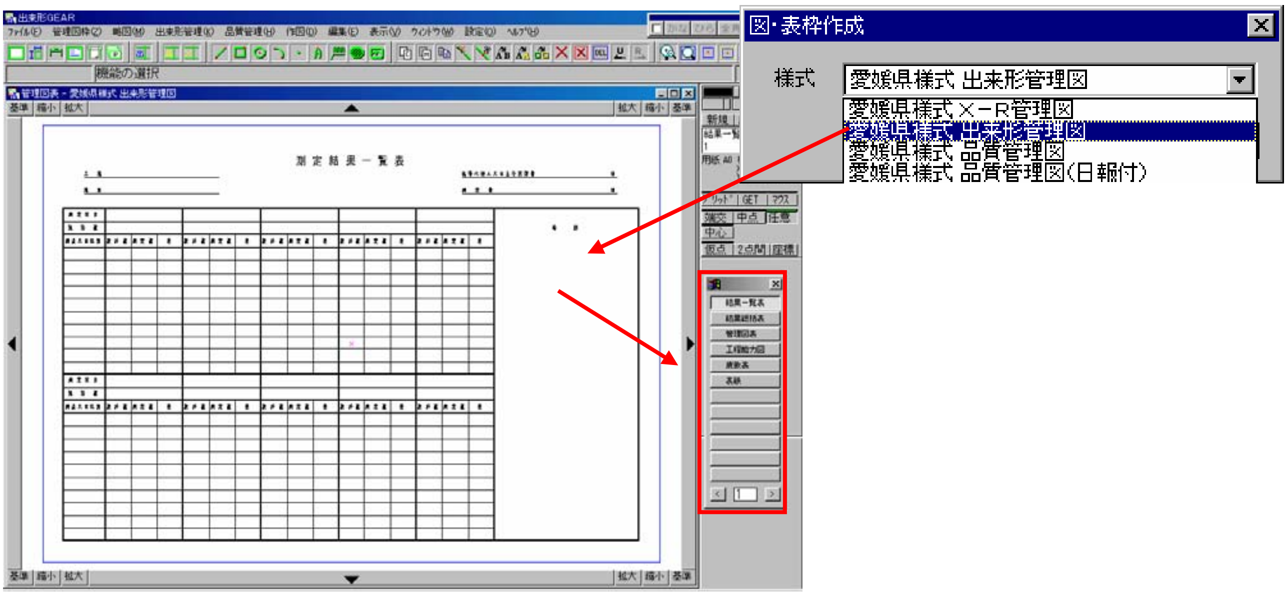
出来形管理図表枠の作成をおこないます。

メニューバーの［管理図枠（Z）］［図・表枠作成（Z）］またはツールバーのアイコン

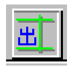


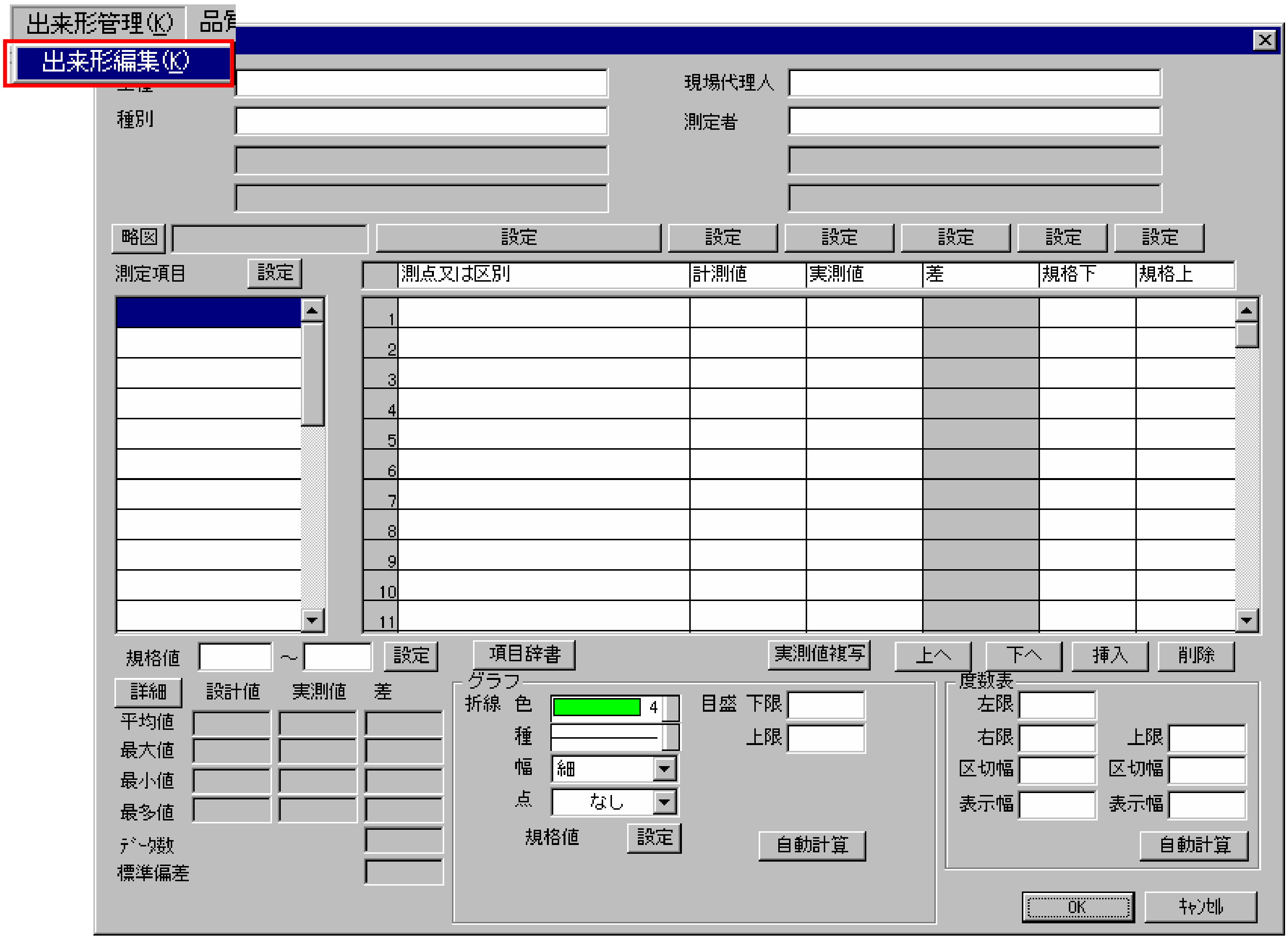
 を左クリックすると図・表枠作成ウインドが表示されますので、▼マークを左クリック、一覧表示された中から「愛媛県様式出来形管理図」を左クリック、［ＯＫ］ボタンを左クリックして下さい。

選択した様式に従った図表枠が作成され画面左に作成図表名ウインドが表示されます。



Ｂ．出来形編集

出来形管理図表のデータ入力をおこないます。
メニューバーの［出来形管理（K）］［出来形編修（K）］またはツールバーのアイコン 
を左クリックすると、データ入力ウインドが表示されます。



１）［工種］［種別］［現場代理人］［測定者］

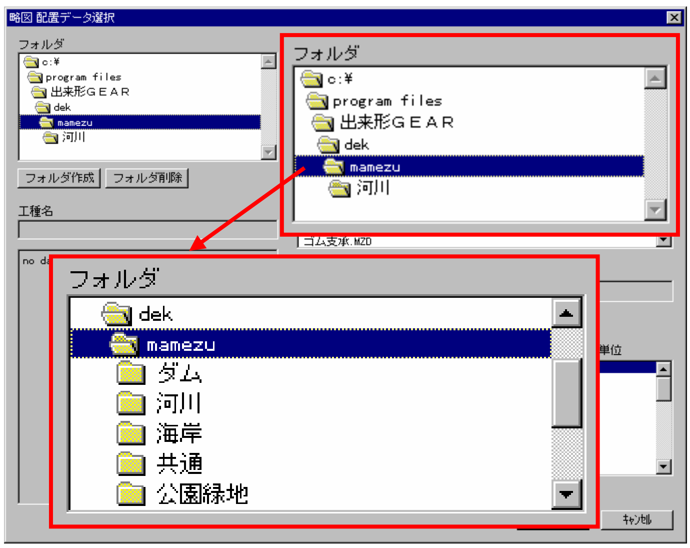
必要な事項を入力して下さい。

２）豆図の選択

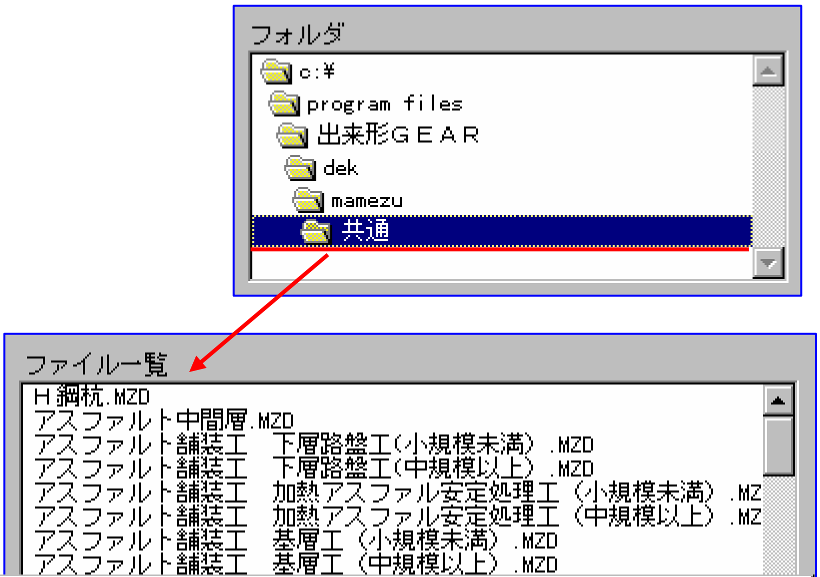
［略図］を選択（左クリック）します。

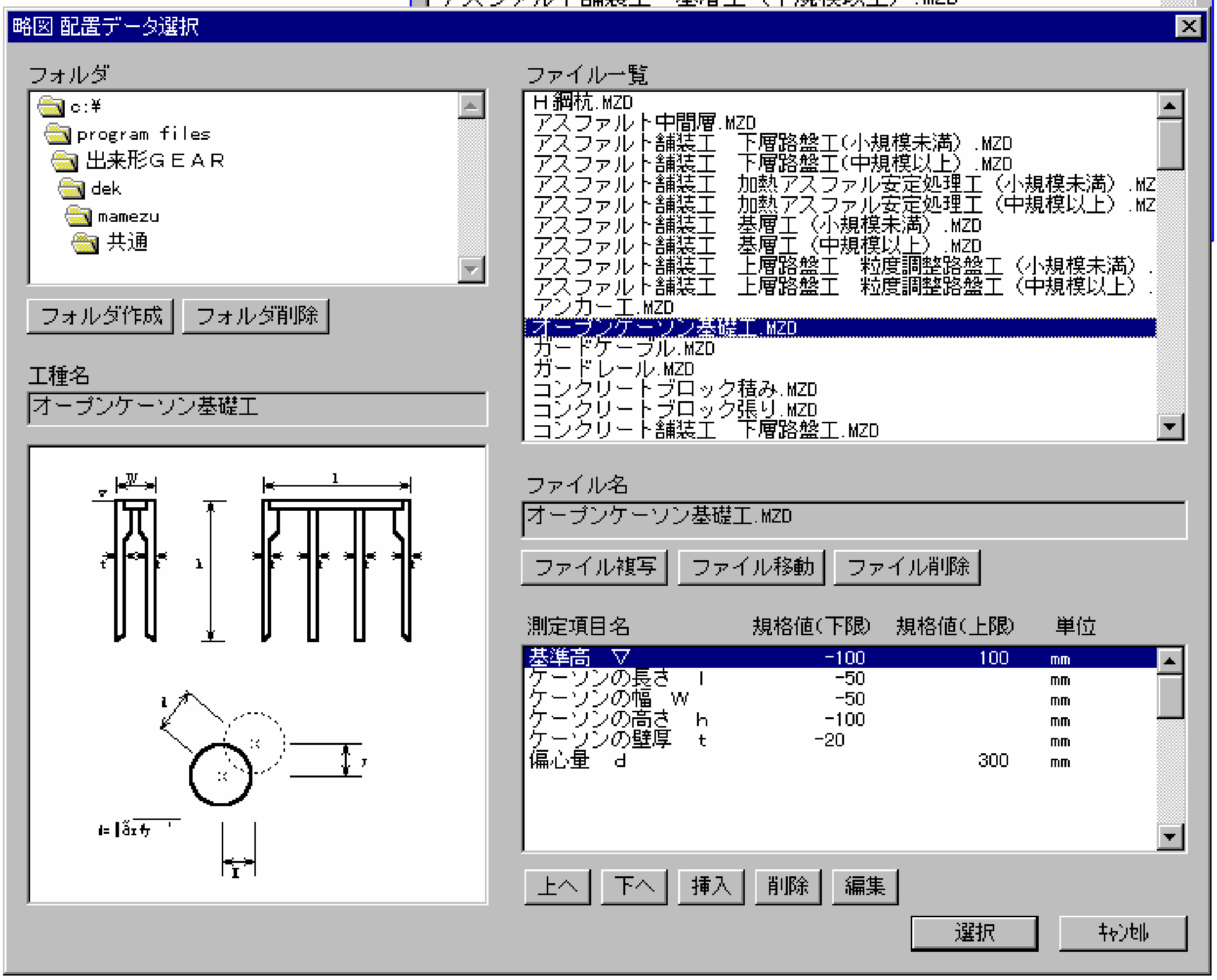
選択すると「豆図」の選択画面が表示されます。

① 「フォルダ」表示ウインドの［mamezu］を左ダブルクリックすると工事種別のフォルダが表示されますので、該当する工事種を左ダブルクリックします。



② 該当工事種を左ダブルクリックすると、「ファイル一覧」ウインドに選択した工事種の工種名が一覧表示されますので、該当工種を選択（左クリック）して下さい。
選択（左クリック）すると、選択した工種の豆図及び測定項目名がプレビュー表示されます。

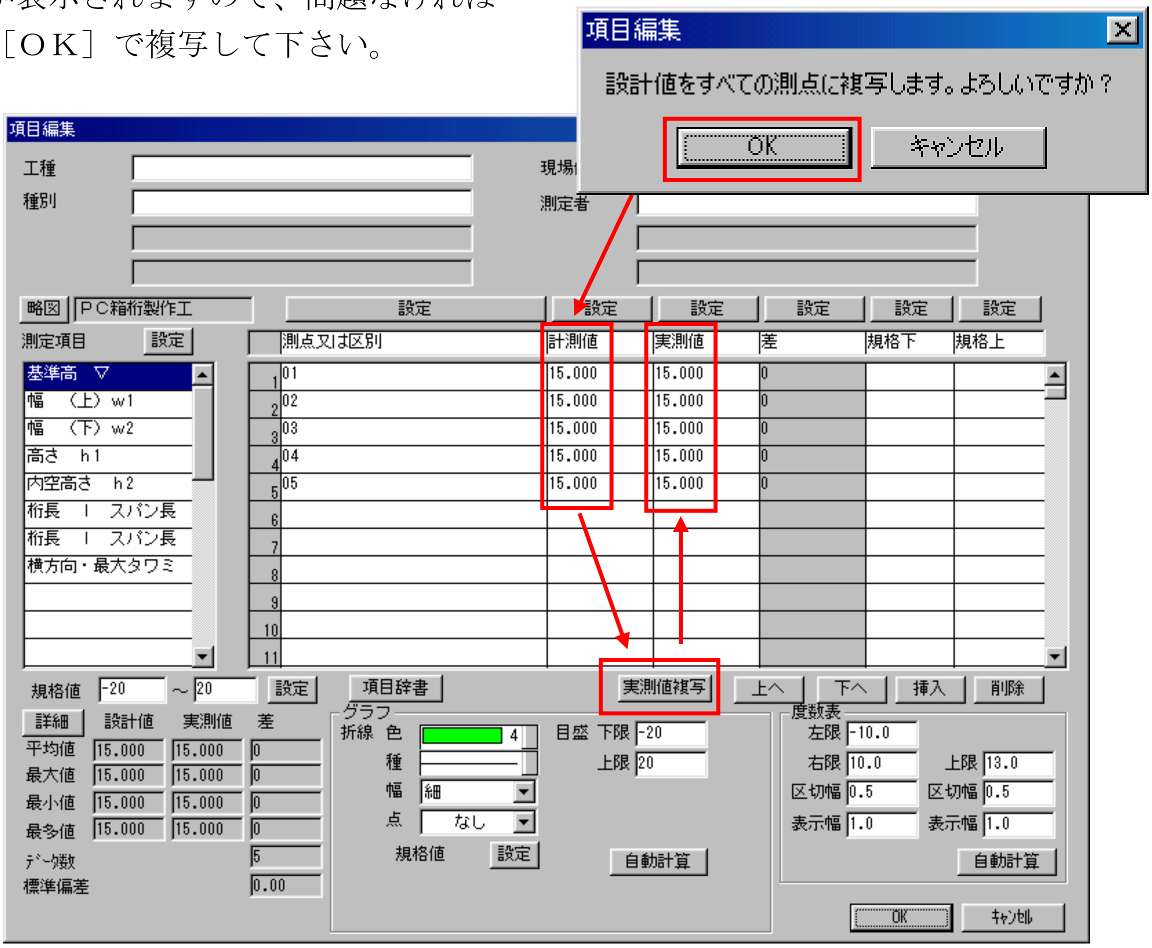




プレビュー表示された「豆図」で間違いなければ［選択］を、異なる場合は「ファイル一覧」の「工種名」を選択し直して下さい。

③　［選択］を左クリックすると、元の「項目編集」ウインドに「測定項目」が入力表示されますので、それぞれの「測定項目」毎の「測点又は区別」「計測値」「実測値」の入力をしてゆきます。

④　各「測定項目」で最初の「測点」に計測値を入力し【Enter】で「複写」ウインドが表示されますので、問題なければ［ＯＫ］で複写して下さい。



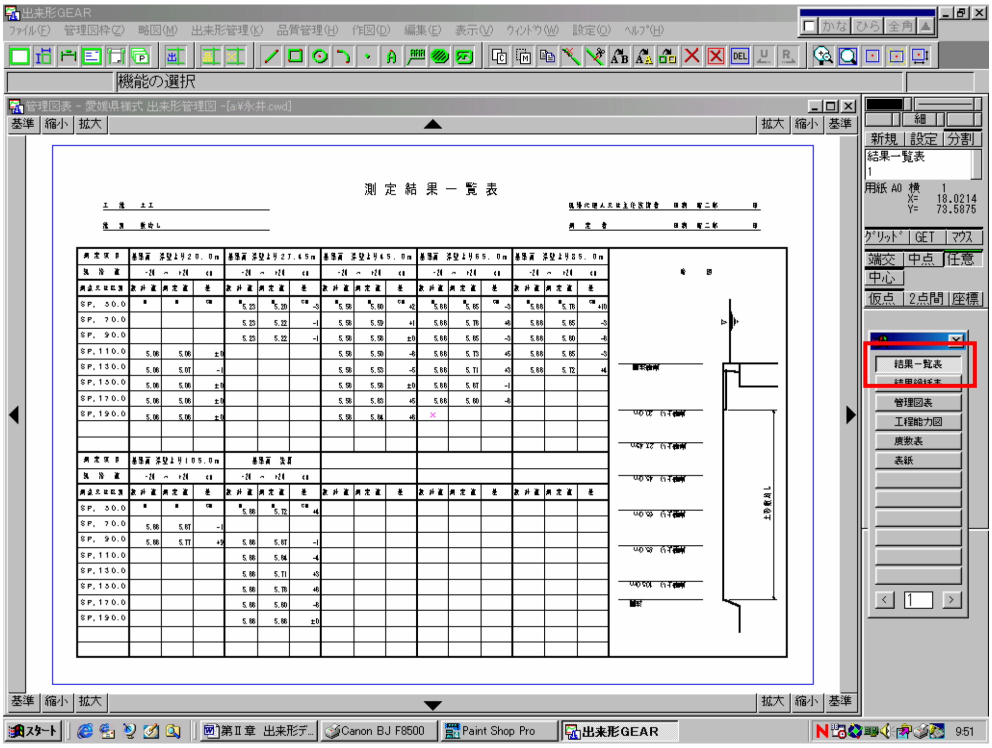
⑤［実測値複写］を左クリックすると、「計測値」がそのまま「実測値」として複写入力されますので、複写後変更箇所の訂正入力を行って下さい。

⑥全ての「測定項目」のデータ入力が終われば「グラフ」及び「度数表」の［自動計算］を選択（左クリック）した後、［ＯＫ］を左クリックして下さい。

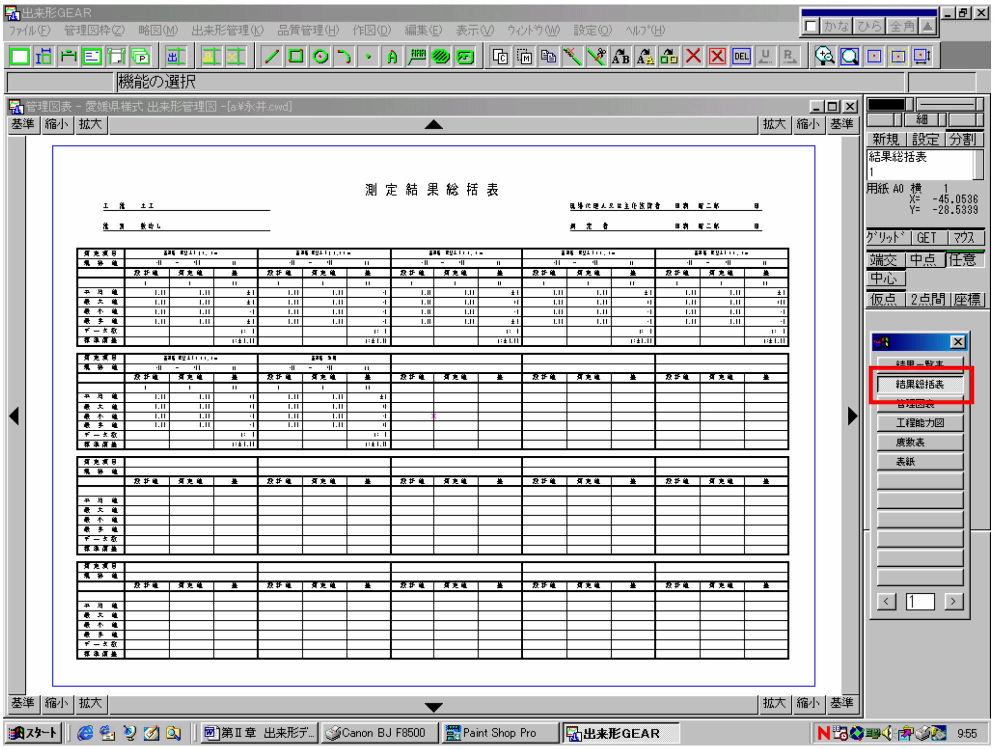
◆以上で出来高管理５表の作成が終了します。
　なお、グラフ表示の線種、色等変更したい場合は「グラフ」の条件選択ウインドで変更選択して下さい。

◆以上の要領で必要な工種の出来形管理５表を作成して下さい。

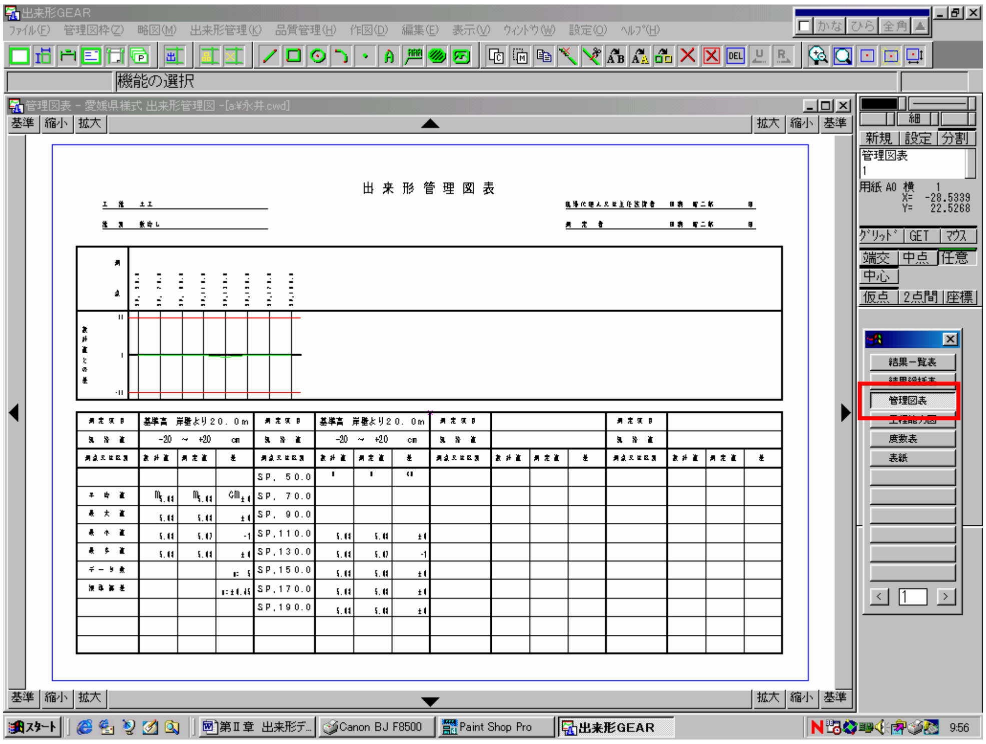
「測定結果一覧表」



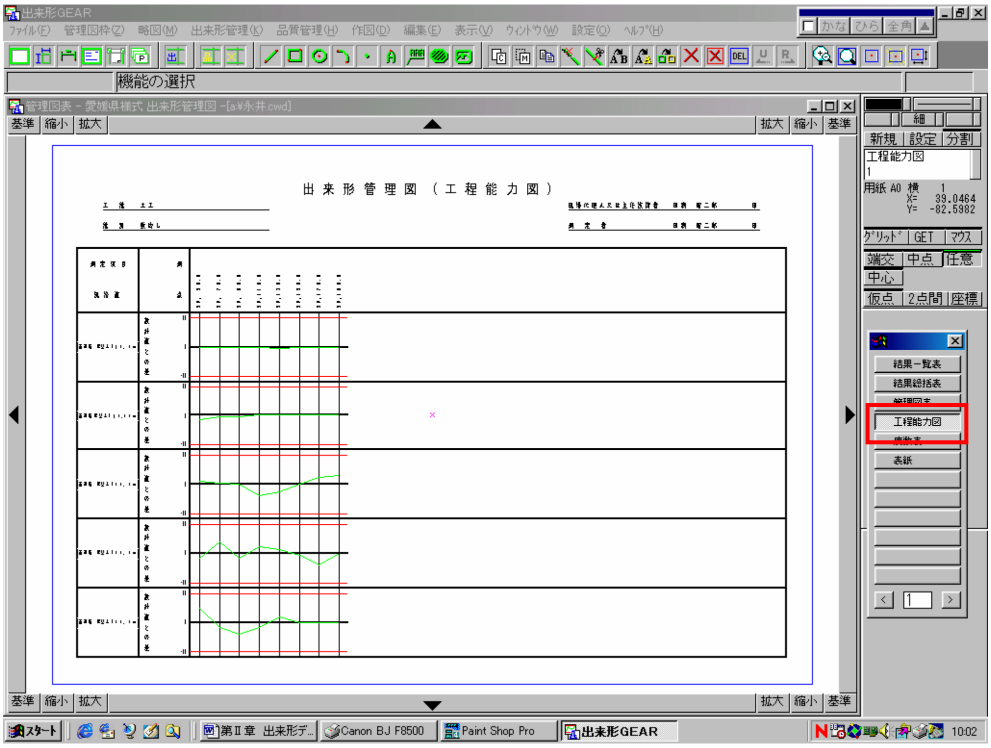
「測定結果総括表」



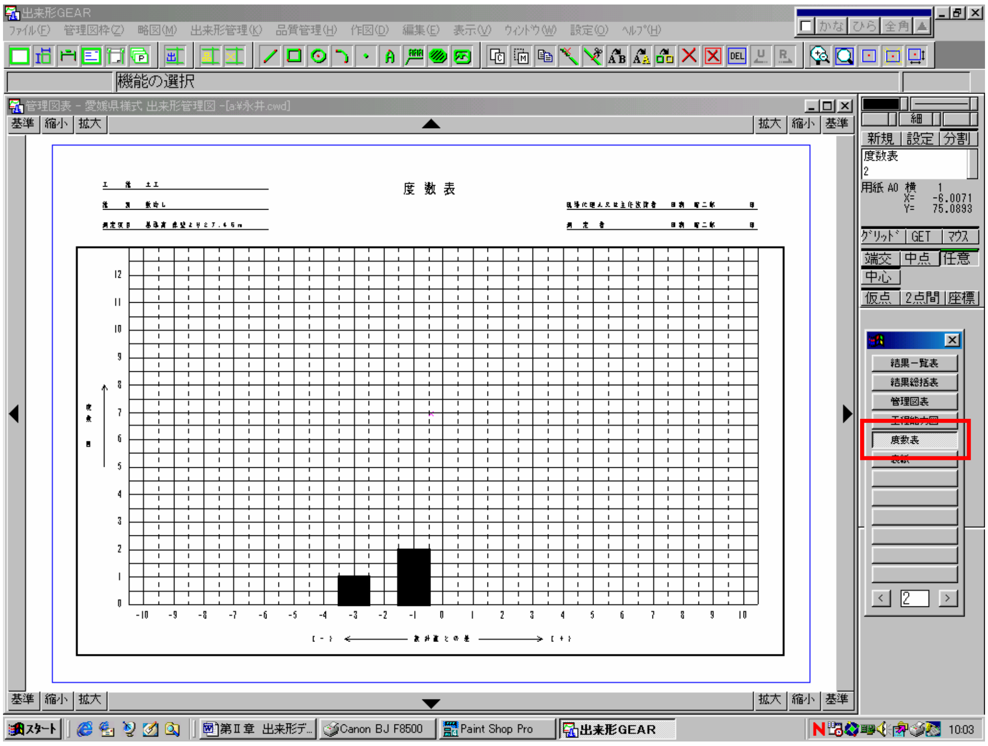
「出来形管理図表」



「出来形管理図」（工程能力図）



「度数表」

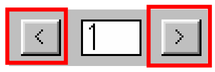


「表紙」



ポイント

●　ページ繰り

出来形５表それぞれ複数ページの作成が可能ですが、ページ繰りは  ボタンをクリックすることにより指定した帳表の指定ページが表示されます。

「出来形管理図表」「度数表」では「測定項目」１項目毎にページが作成され、その他の図表では「測点」の数（１ページ１０測点）によりページが作成されてゆきます。



●　データの登録

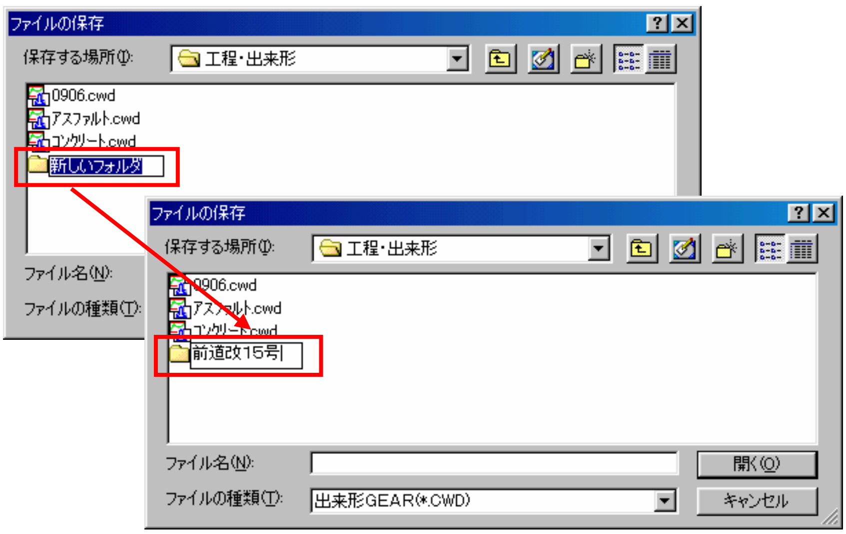
データの登録は以下の方法で行います。

１）メニューバーの［ファイル（F）］［名前をつけて保存（A）］を選択すると「ファイルの保存」ウインドが表示されます。

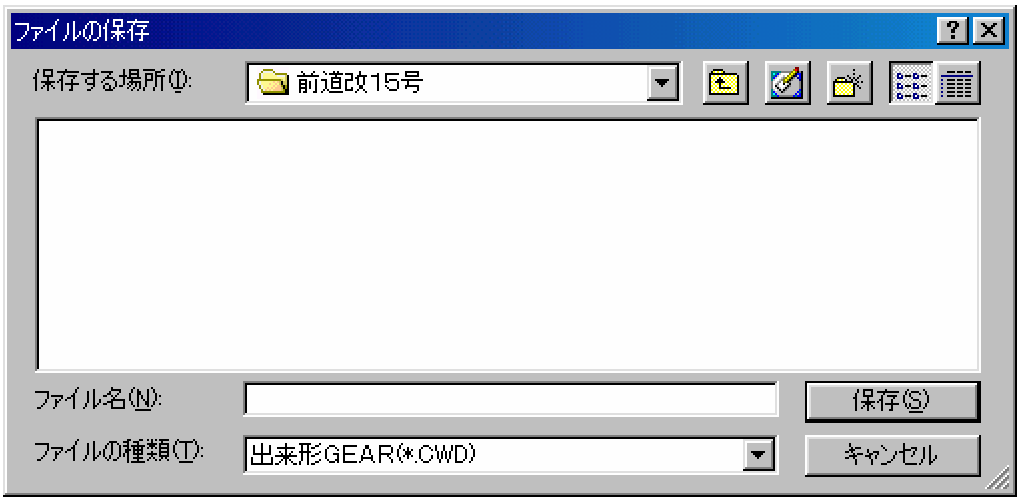


２）当社ではシステム納品時に、（C：）の中に「出来形」関連の名前で新規フォルダーを作成し、納品していますのでそのフォルダーを「保存する場所（I）」に選択表示させて下さい。

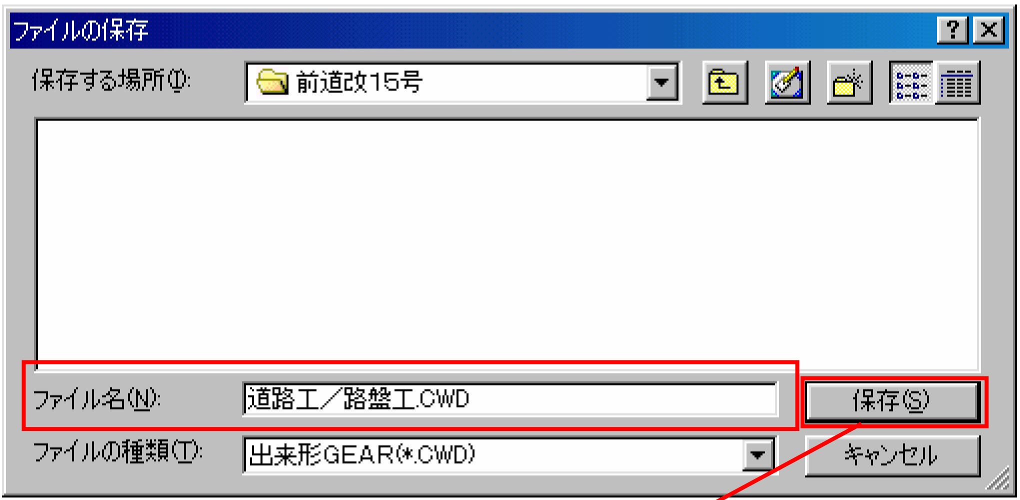
３）新規フォルダー作成アイコン  をクリックし  を作成、フォルダ名を「新しいフォルダ」から工事名（工事番号）に書き換えて下さい。

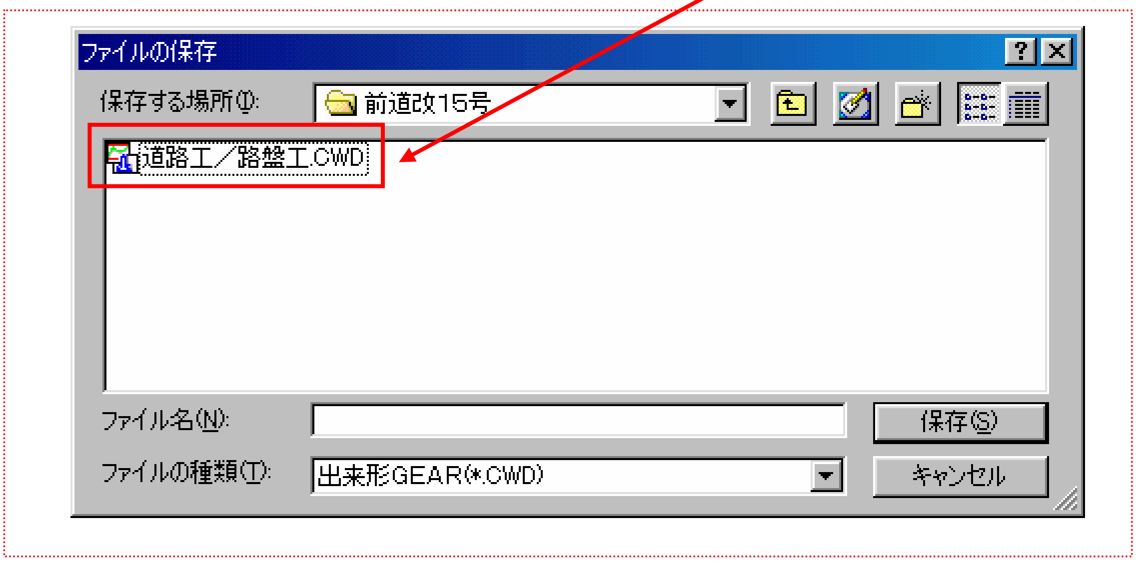


４）エンターで「保存する場所（Ｉ）」に書き換えたフォルダー名が表示されます。



５）「ファイル名（Ｎ）」に「工種／種別」を入力し【Enter】または［保存（Ｓ）］を左クリックする事により登録保存されます。



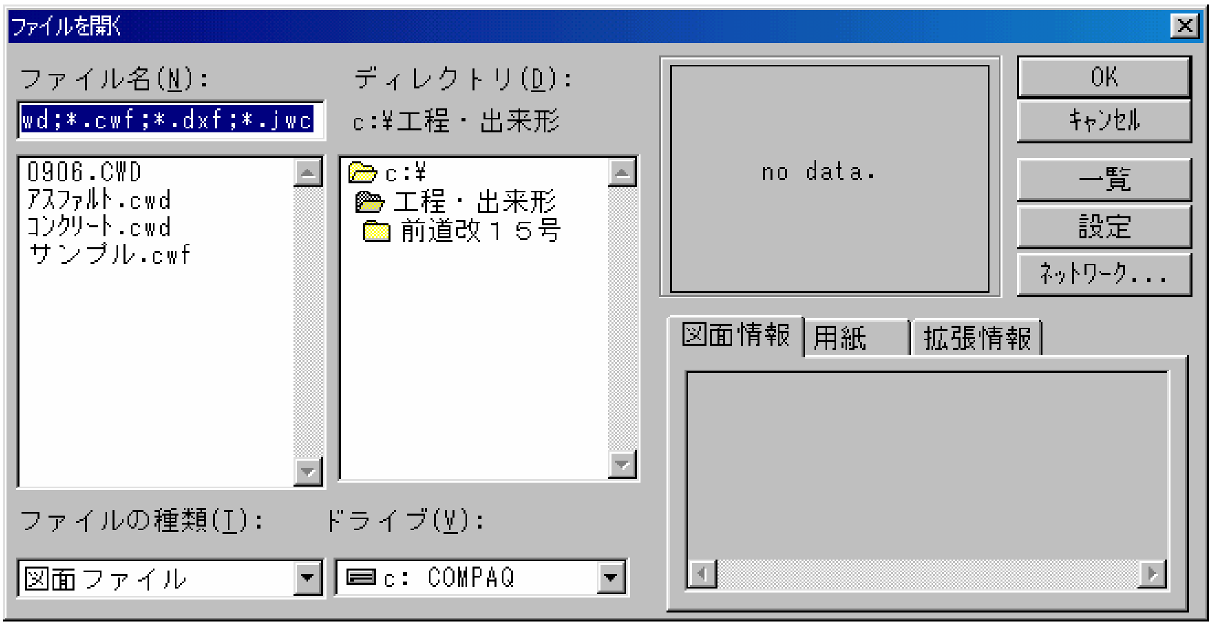


● 登録データの呼び出し

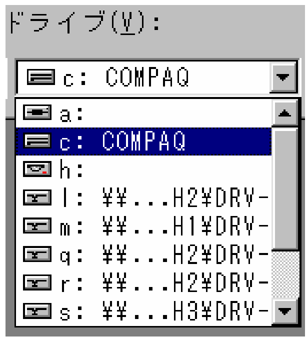
登録データの呼び出しには以下の手順で行います。

１）「出来形ギア」のソフトを立ち上げます。

２）［ファイル（F）］［開く（O）］を選択し「ファイルを開く」ウインドを表示します。



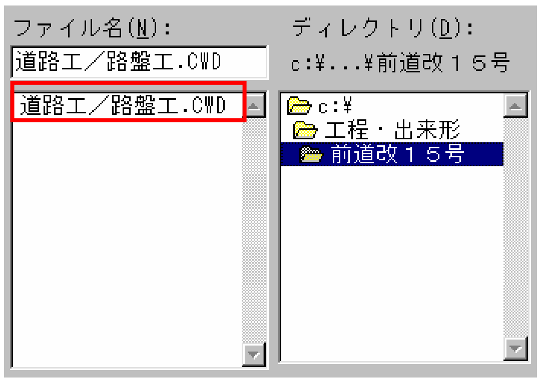
３）「ドライブ（V）」の▼マークを左クリックし、一覧表示の中からＣ：を選択します。



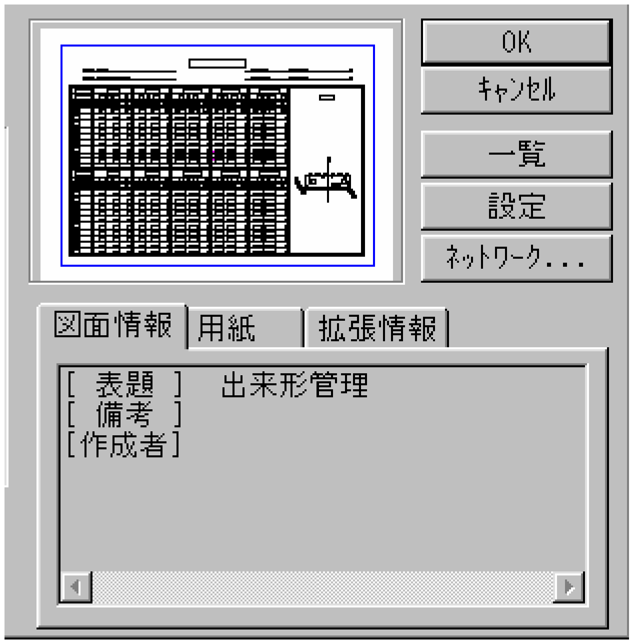
４）「ディレクトリ（D）」にＣ：の内容が表示されますので「出来形関連」名フォルダーを左ダブルクリックします。



５）再度、「工事名（工事番号）」フォルダーを左ダブルクリックスルト「ファイル名（N）」表示欄の下に「工種名／種別名」が一覧表示されますので該当名を左クリックすると「ファイル名」に選択したファイル名が表示されます。



６）呼び出すデータ（ファイル名）が確定したら【Enter】または［ＯＫ］を左クリックで、該当データの呼び出しが完了します。
其の際、「ファイルを開く」ウインドには「図表のイメージ」「図面情報」「用紙情報」「拡張情報」が表示されますので、参考にして下さい。

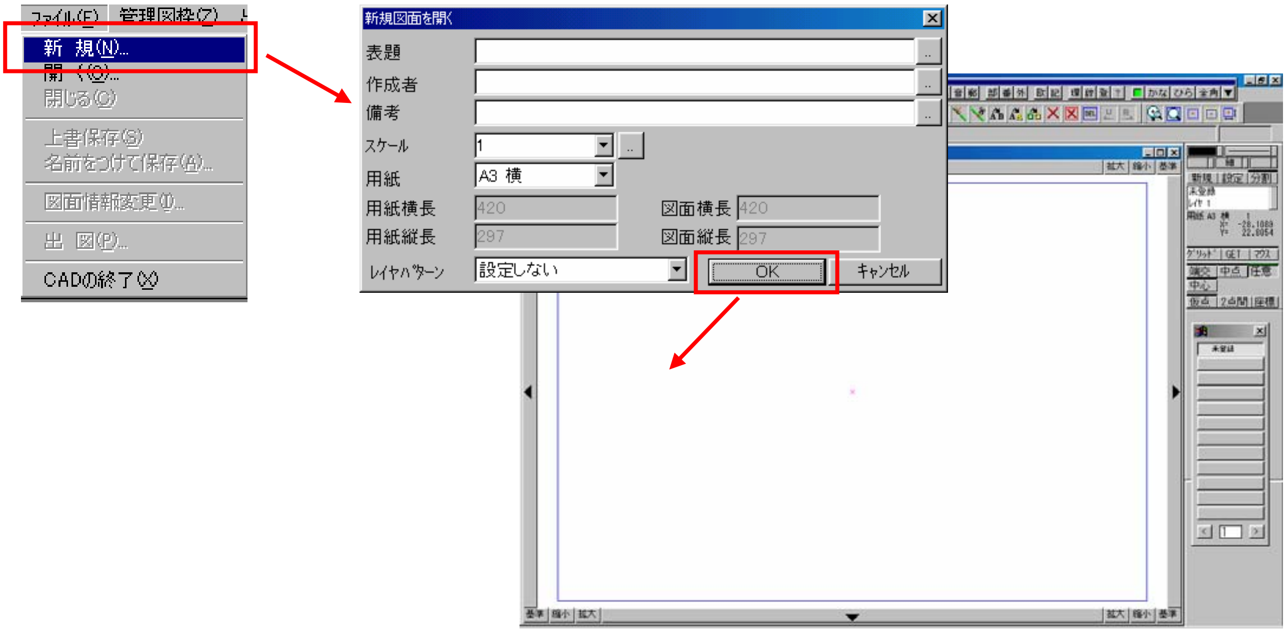


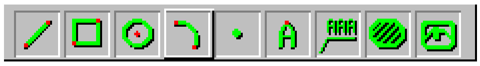
第Ⅲ章　豆図の登録等

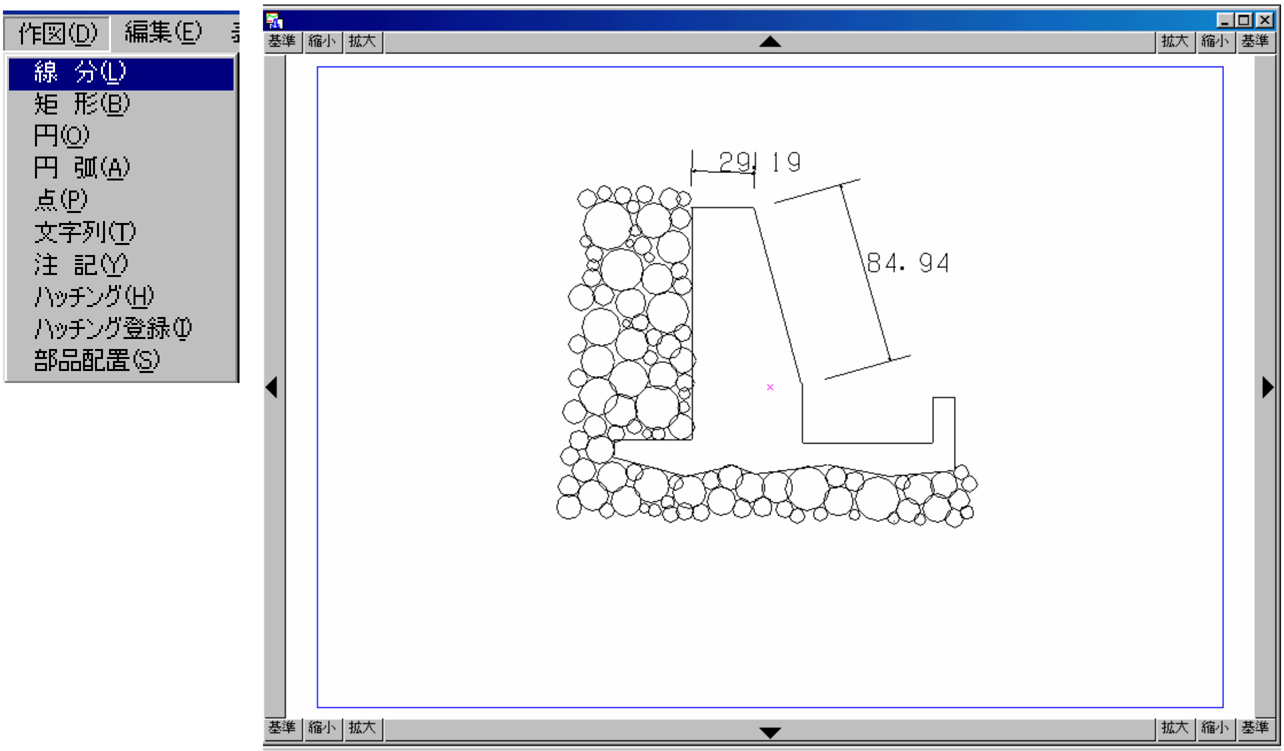
このシステムが持つＣＡＤ機能を利用して、豆図を作成・登録保存が簡単にできます。

Ⅲ－１　豆図の作成

１）「出来形ギア」を起動した最初の画面または、メニューバー［ファイル（F）］［新規（N）］で矩形枠を表示している画面を出します。

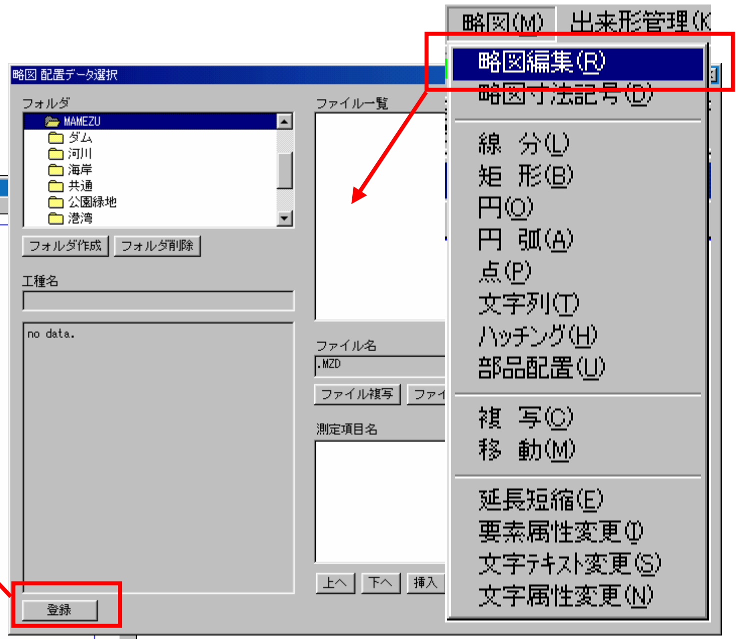


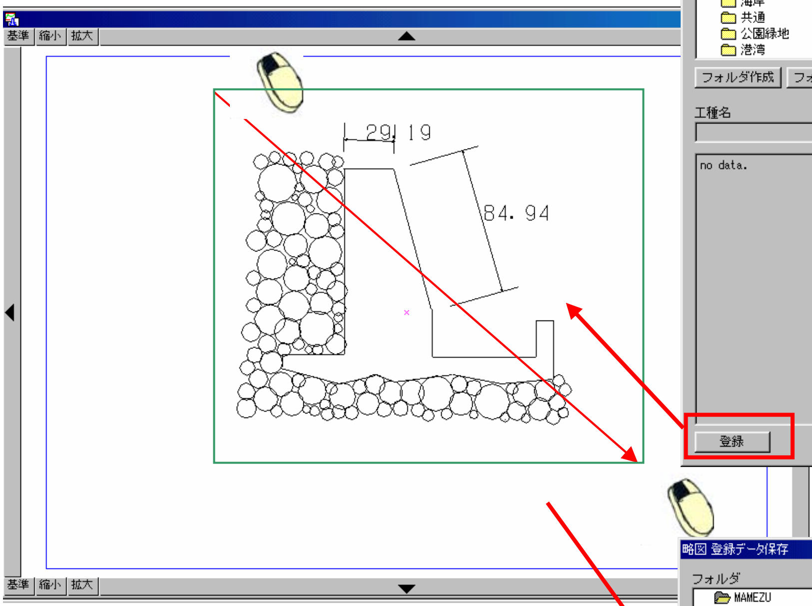
２）ＣＡＤ機能のアイコン（）又はメニューバー［作図（D）］のメニューを使って任意のサイズで作図します。



3）豆図の作成が完了したら、メニューバー［管理図枠（Z）］［略図編集（M）］を選択するか、アイコン　を左クリックし、「略図配置データ選択」ウインドを表示し［登録］ボタンを左クリックして下さい。

4）登録したい豆図範囲を矩形指します。

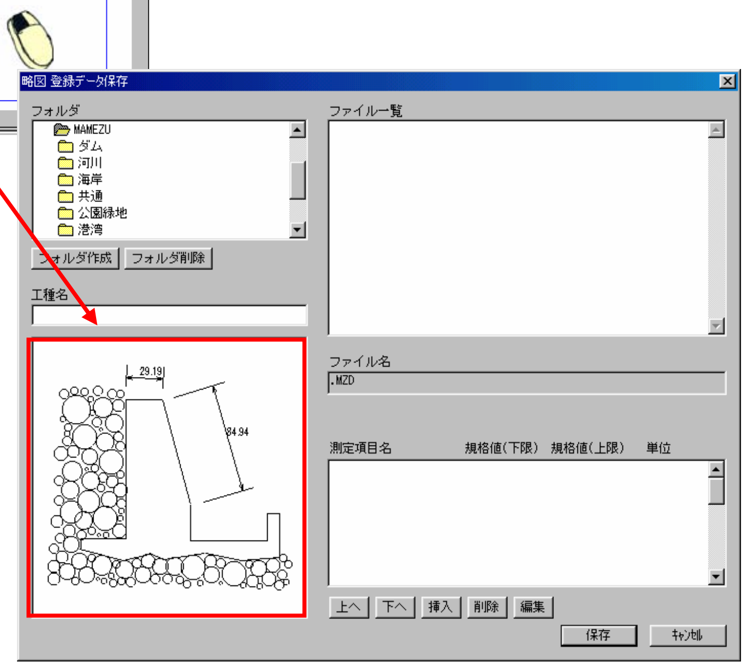




5）矩形指定した範囲が「略図配置データ選択」ウインドの中に取り込まれます。

6）取り込まれた豆図の「工種名」を入力し「測定項目名」等入力欄を左クリックしてから、［編集］ボタンを左クリックすると「測定項目設定」ウインドが表示されますので、必要事項を入力して下さい。

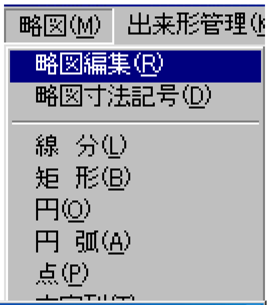
7）入力後、［ＯＫ］で「略図登録データ保存」ウインドの「測定項目名」等の欄に入力した事項が表示されますので、［保存］を左クリックして登録して下さい。





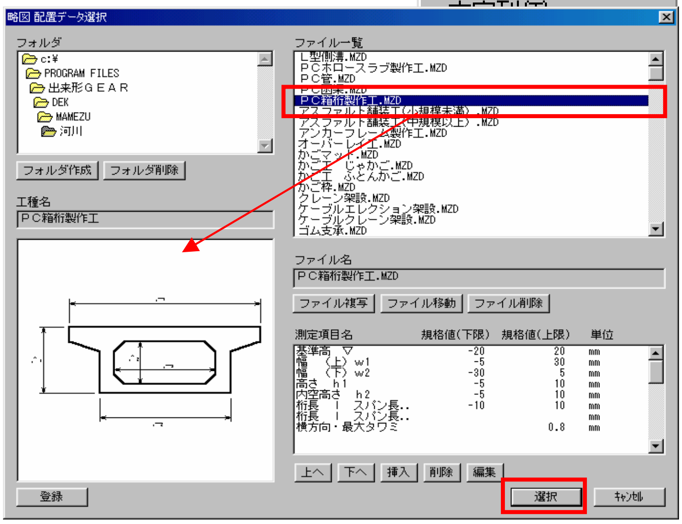
Ⅲ－２　豆図の修正

登録済の豆図を応用して他の豆図を作成し新規登録したり、登録済みの豆図を変更して再登録したりする作業です。

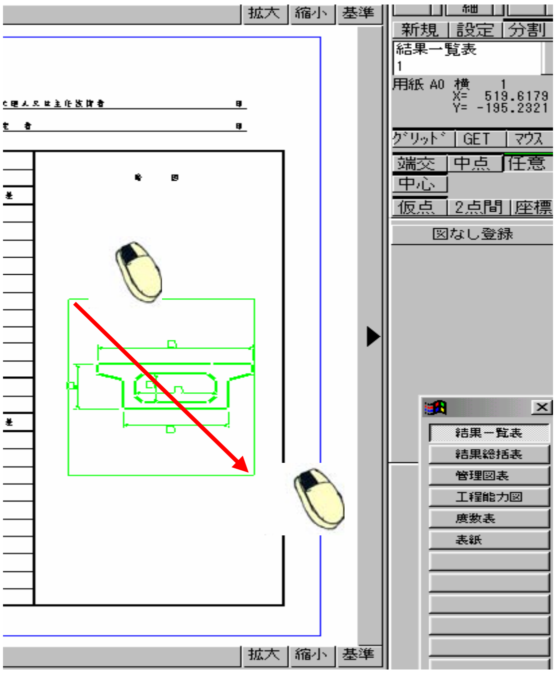


1）　（図・表枠作成）アイコンを選択し、「出来形管理図」を選択後、メニューバー［略図（M)］［略図編集（R)］を選択します。

2）「略図配置データ選択」ウインドが表示されますので、修正する豆図が登録されている「フォルダ」を左ダブルクリック「ファイル名」を左クリックし、表示された豆図で間違いなければ［選択］で次へ進んで下さい。



3）「管理図表」ウインドの略図入力欄内をマウスで矩形指定し、豆図を取込みます。



5）取込んだ豆図をＣＡＤ機能を使用して変更して下さい。

6）変更が終了すると、［略図（M)］［略図編集（R)］を選択し「略図配置データ選択」ウインドを表示し［登録］を選択します。

7）［登録］選択後「管理図表」の修正済み豆図をマウスで矩形指定すると、「略図配置データ選択」ウインドに取込まれます。

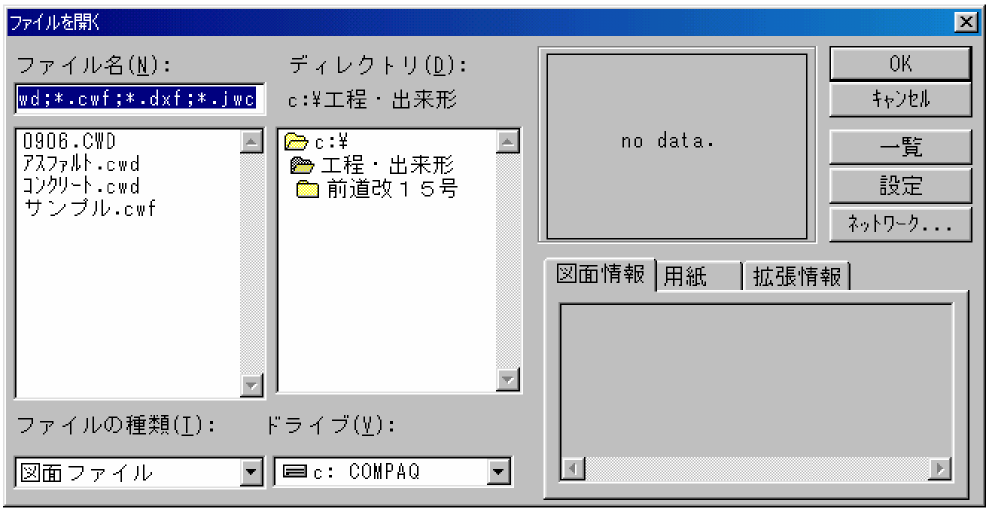
8）修正前のファイル名に更新登録する場合は、修正前のファイル名を左クリックし、［保存］を左クリックすると修正豆図が更新登録されます。

9）修正豆図を修正前の豆図と別の物として新規登録する場合は、そのまま「工種名」「測定項目名」等必要事項を入力し［保存］で登録して下さい。

Ⅲ－３　他のソフトからの豆図の取込み

他のＣＡＤ等で作成した図形を豆図しとして取込む処理です。

１）メニューバー［ファイル（F）］［開く（O）］を選択し「ファイルを開く」ウインドを表示します。



２）「ファイルの種類（T）」の▼マークを左クリックし、取込もうとするソフトの「ファイル種」を選択します。

３）選択した「ファイル種」で登録されている「ファイル名」一覧が上部に表示されますので、該当する「ファイル名」を左クリックし、画面に表示して下さい。

４）後は「Ⅲ－１　豆図の登録」同様の処理で登録して下さい。

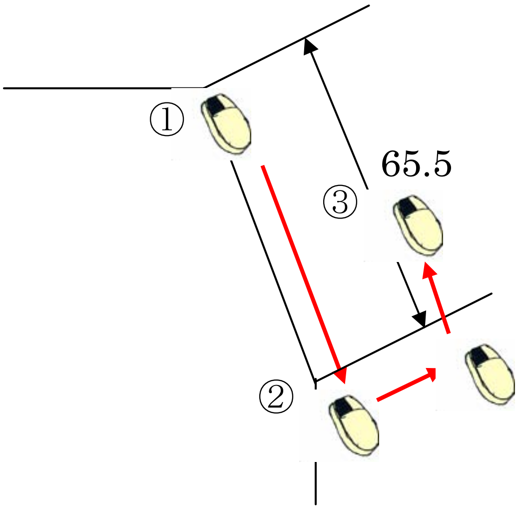
Ⅲ－４　略図記号の入力

豆図作成時に寸法線を入力する事ができます。



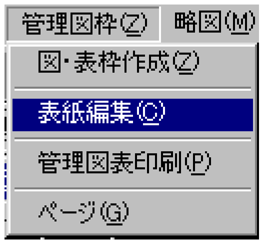
１）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［略図（M)］［略図記号（D)］を選択して下さい。

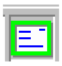
２）寸法線を引く片側で左クリック、もう一方の側で左クリック、寸法線を引く位置、数値を表示する位置までマウスを移動し左クリックし、入力します。



Ⅲ－５　表紙の編集

出来形管理図表の表紙を作成します。



１）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［管理図枠（Z)］［表紙編集（C)］を選択すると、表紙に記載する項目の入力ウインドが表示しますので、必要事項を入力して下さい。



２）表紙の編集は「図・表枠作成」後入力できます。

３）各入力項目毎に［設定］を左クリックすると、文字種（フォント）、文字色、文字サイズ（高さ）等の選択設定が可能です。



４）必要項目全ての入力が終了したら［ＯＫ］を左クリックで登録して下さい。

表紙は出来形５表の印刷画面で印刷することができます。

第Ⅳ章　出来形管理５表の印刷

「項目編集」でデータ入力が終了したら、図表の印刷をします。

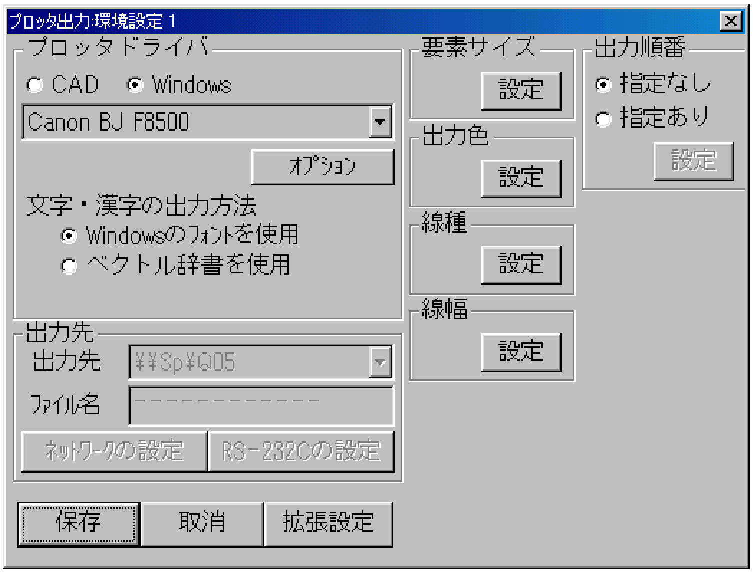
Ⅳ－１　印刷

１）アイコン を左クリックするか、メニューバー［管理図枠（Z）］［管理図表印刷（P）］を選択すると出力ウインドが表示されます。





２）印刷の前に、「接続先」の選択等「環境設定」をしなくてはなりません。
［環境設定］を左クリックすると「環境設定」ウインドが表示されます。



① プロッタドライバの選択をします。
ＣＡＤまたはＷｉｎｄｏｗｓの選択をしますが、通常はＷｉｎｄｏｗｓの○印しを左クリックで選択して下さい。

② ドライバの選択の下にプリンタ及びプロッタの機種名表示欄がありますので、表示欄右の▼マークを左クリックし、接続プリンタの一覧表を表示、該当プリンタ（プロッタ）を左クリックで選択します。

ポイント！

ここでの選択は、パソコンに登録している、プリンタドライバの選択を意味しています。プリンタが接続されていても、そのプリンタのドライバがインストールされていなければ印刷することが出来ません。
プリンタドライバのインストール方法はＷｉｎｄｏｗｓの取り扱い説明書またはプリンタの取り扱い説明書をご参照下さい。
また、プリンタドライバ等は通常バージョンアップされて行き、その情報はインターネットを利用してご自分で探さないと、どこからも案内はありません。
インターネットはこの様な利用法もありますので、まだ始められていない場合はぜひ始められることをお進め致します。

③ プリンタ（プロッタ）の選択をしたら［オプション］を左クリックし、選択したプリンタ（プロッタ）のプロパティウインドを表示します。
ここでは、プリンタメーカーにより表示方法がことなりますが、用紙サイズ、印刷枚数等､印刷に関係した詳細設定をします。
他のＷｉｎｄｏｗｓソフトで印刷する要領で設定して下さい。
プロッターを使用して印刷する場合は､一部特殊な設定が有る場合がありますので､購入時によく説明を受けて下さい。
全ての選択が終了したら［ＯＫ］を左クリック､「環境設定」ウインドにお戻り下さい。

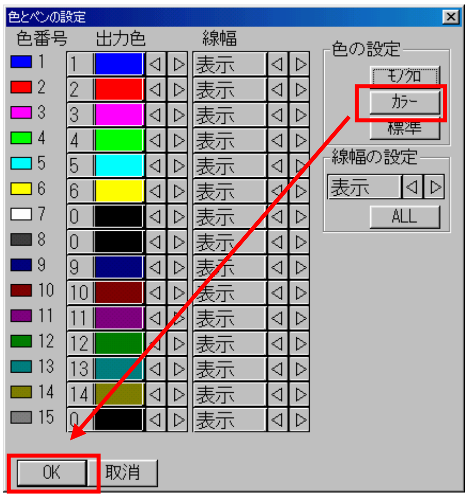


④　「文字・漢字の出力方法」の選択をします。
　　通常は「Ｗｉｎｄｏｗｓのフォントを使用」を選択して下さい。

⑤　「出力先」は通常無視して下さい。

⑥　「要素サイズ」は通常設定のままご使用下さい。
　　変更の必要がある場合は［設定］を左クリック、必要な要素の設定を変更、［ＯＫ］で「環境設定」ウインドに戻って下さい。

⑦　「出力色」は通常設定のままご使用下さい。
　　ただし、カラープリンタ（カラープロッタ）を使用して図表印刷を行った場合に不自然な色で印刷をする場合には、［設定］を左クリック「色とペンの設定」ウインドを表示し、「色の設定」で［カラー］を左クリックで選択し、［ＯＫ］で「環境設定」ウインドに戻って下さい。
　　（本システムご購入当初に設定が必要な場合が有りますのでご注意下さい。）



⑧　「線種」「線幅」は通常設定のままご使用下さい。
　　変更の必要がある場合は［設定］を左クリック、必要な要素の設定を変更、［ＯＫ］で「環境設定」ウインドに戻って下さい。

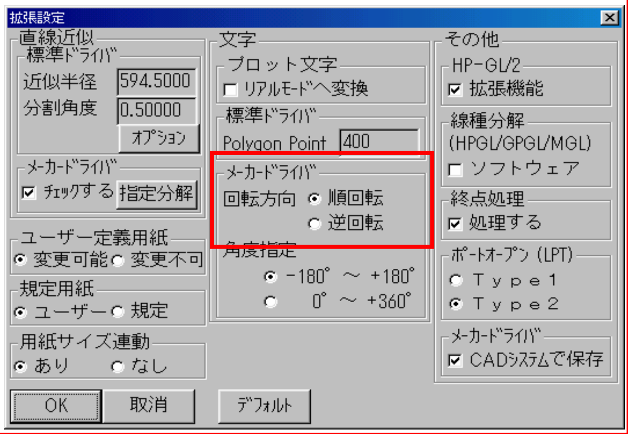
⑨　「出力順番」は通常「指定なし」を選択して下さい。

⑩　全ての選択・設定が完了したら、［保存］を左クリックてで選択して下さい、設定は登録され最初の「印刷設定」ウインドに戻ります。
　　（以後、同じ設定で印刷する場合はこのままの条件が採用されます。）

ご注意！

プロッター使用時や、プリンタメーカーにより「拡張設定」が必要な場合がありますのでシステムご購入時によく説明をしてもらって下さい。

［拡張設定］をクリックすると「拡張設定」ウインドが表示されます。
通常必要となる設定は「メーカードライバ」の項目です。
設定後は［ＯＫ］を左クリックで「環境設定」に戻［保存］で最初の「印刷設定」ウインドに戻って下さい。

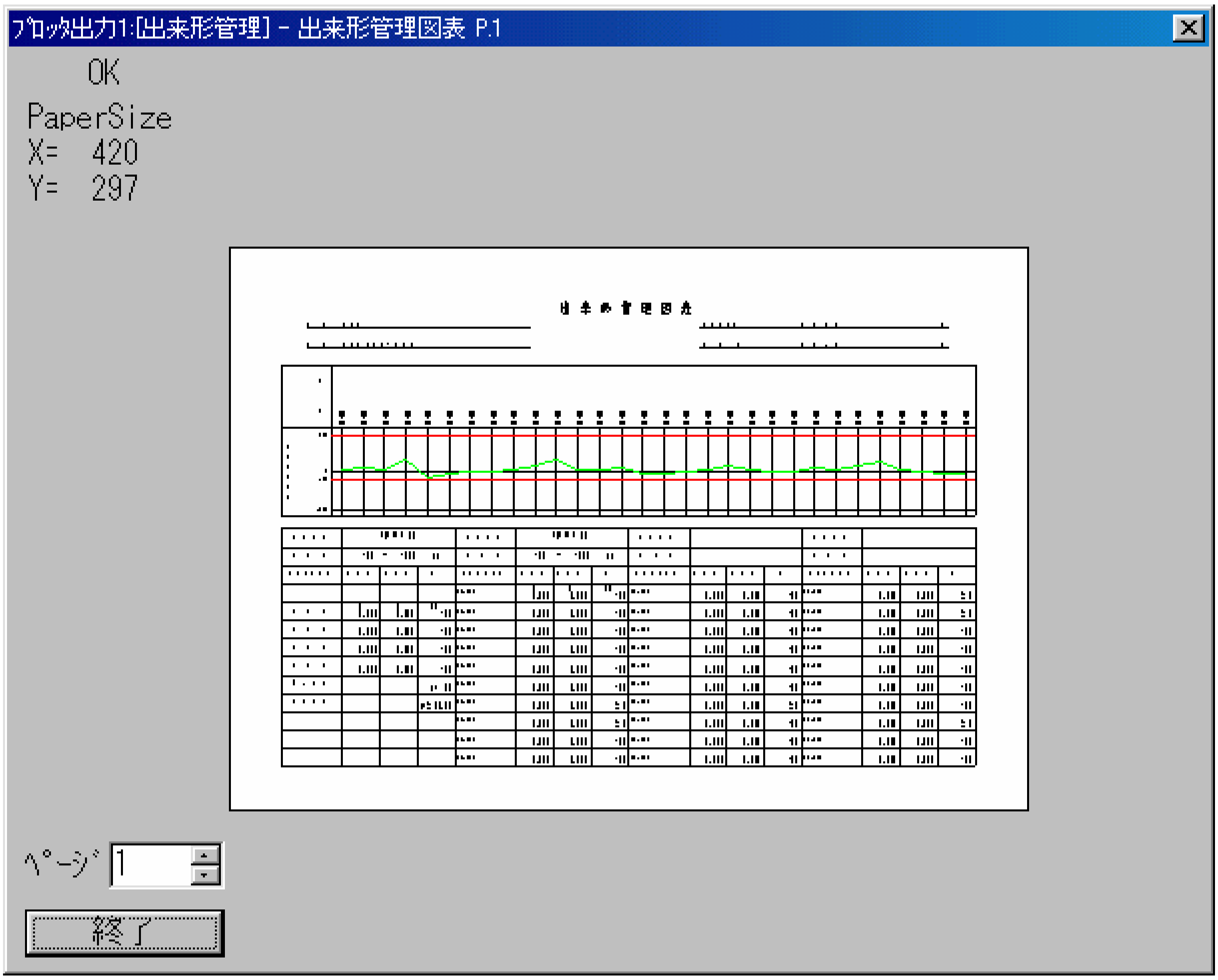


３）図表の印刷は「出力種別」欄で選択した図表のみ印刷されます。
「日報付」を選択しておくと、「打設日報」が加わります。

① 複数のページにわたっている図表で、一部のページのみ印刷する場合は［ページ指定］を選択し、▲▼マークを左クリックし、印刷ページを指定して下さい。
② 図表を選択し［出力］を左クリックして印刷をして下さい。
③ 複数の図表を印刷する場合は、引き続き該当図表を選択［出力］で印刷して下さい。
④ 印刷終了時には［取消］でプリンタ選択ウインドを終了して下さい。

４）印刷まえに「プレビュー」画面でおおよその印刷イメージの確認ができます。

① 印刷する図表を選択します。
② ［プレビュー］を左クリックすると印刷イメージが表示されます。

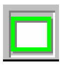


③ 確認が終了したら［終了］を左クリック「印刷設定」ウインドに戻り［印刷］を初めて下さい。
印刷イメージが不自然な場合は、「印刷設定」ウインドに戻り、「余白補正」に適度な数値を入力し、調整して下さい。
「余白補正」は通常「自動縮尺」の□マークを左クリックしチェックマークを付けた状態でご利用下さい。

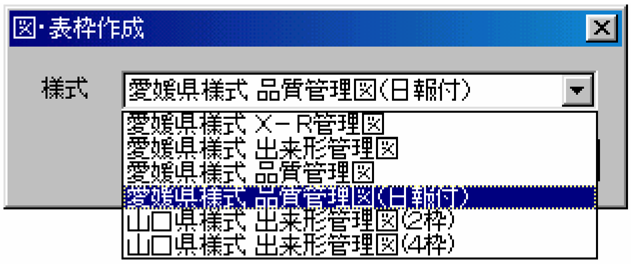
第Ｖ章　品質管理

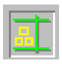
土木施工管理の中の品質管理に関する図表を作成する機能です。

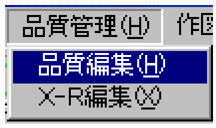
Ｖ－１　品質編集

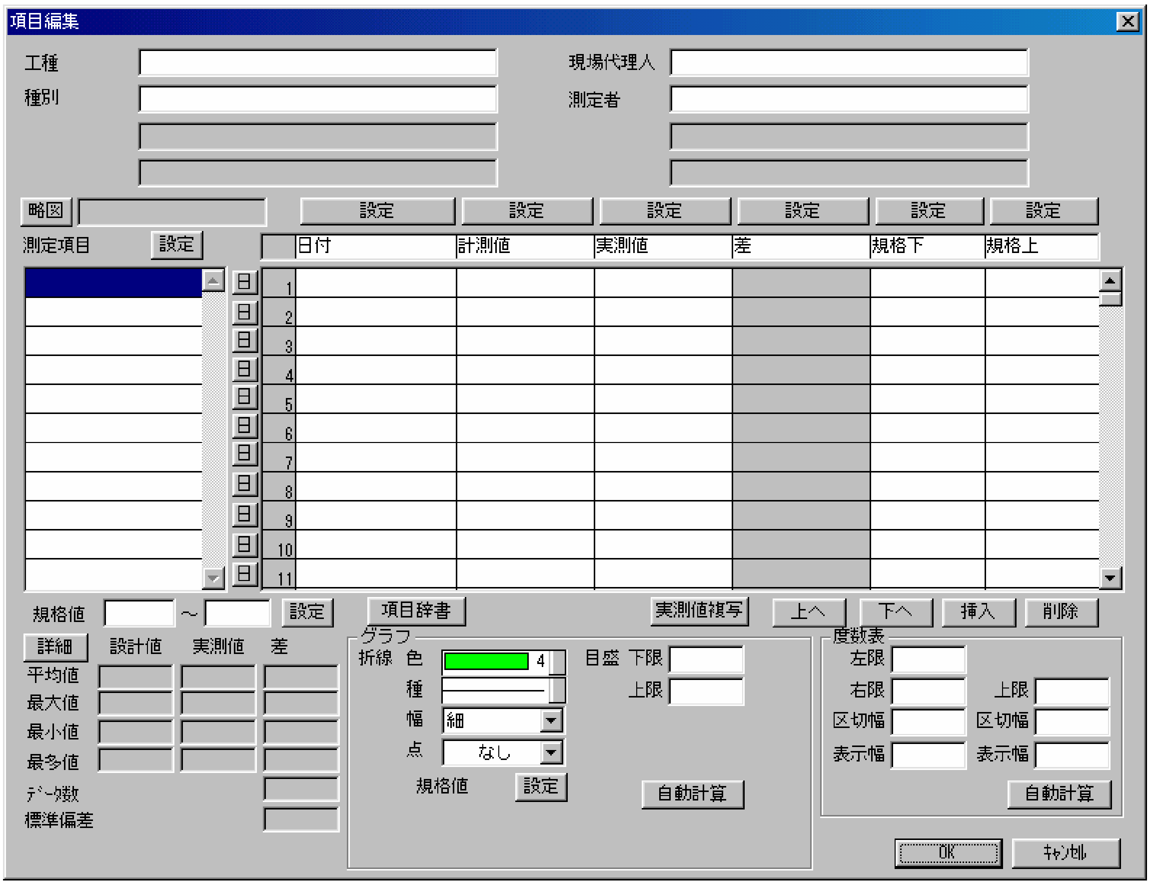
1）アイコン  を左クリックします。

2）「図・表枠作成」ウインドが表示されますので、「〇〇県様式品質管理図（日報付）」を選択します。



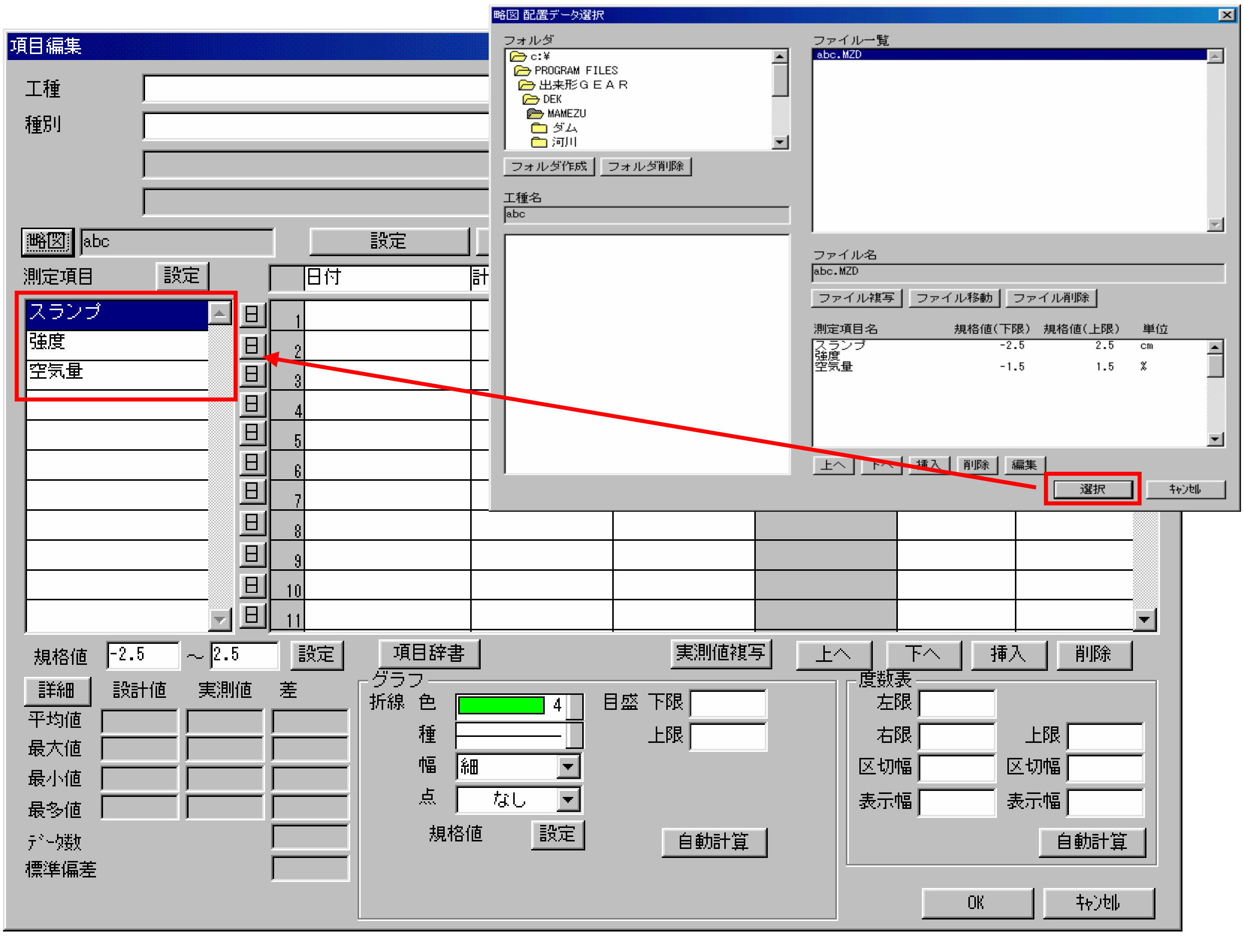
3）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［品質管理（H)］［品質編集（H)］を選択して下さい、「項目編集」ウインドが表示されますので、出来形管理同様に入力して下さい。





4）「工種」「種別」「現場代理人」「測定者」を入力して下さい。

５）「略図」を選択し、予め設定している「品質管理用項目」を選択するか、「測定項目」に直接入力して下さい。



６）入力する「測定項目」を左クリックし、［日付］入力欄を左ダブルクリックすると「日選択」ウインドが表示されます。

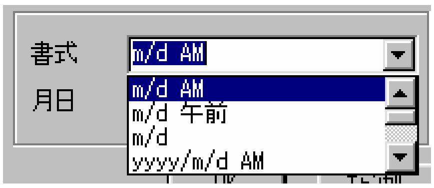
① ▼マークを左クリックし打設年月を選択設定して下さい。

② カレンダーの打設該当日を左クリックして選択して下さい。

③ 打設時間が「午前」「午後」かを選択します。

④ 「書式」の▼マークを左クリックし、該当書式を選択して下さい。

⑤ 「月日」に選択したものが表示されますので［ＯＫ］を左クリックして終了して下さい。





◇以上の操作を繰り返し、すべての測点を設定・入力して下さい。

7）［設計値］を入力します。

設計値を入力し、［Ent］で、ウインドが表示されますので［ＯＫ］または［キャンセル］を選択して下さい。

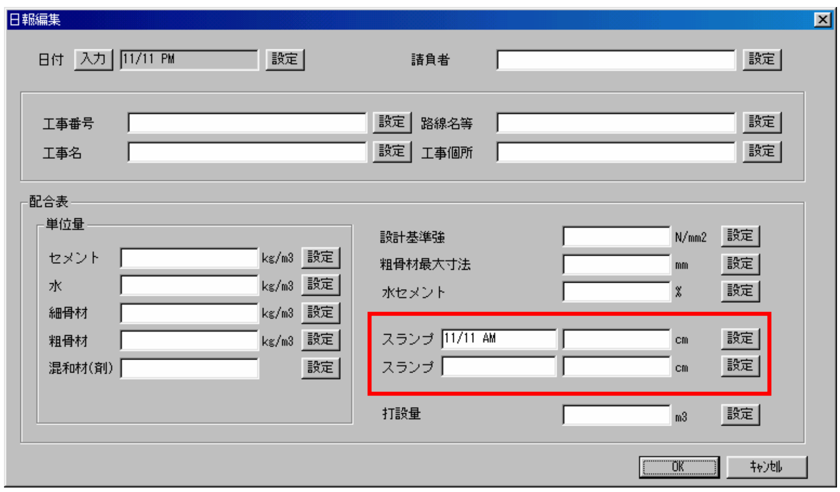


8）「日報付」を選択した場合は、日付入力行の左に 日 が表示されていますので、それを左クリックし「日報編集」ウインドを表示させます。

①「請負者」「工事番号」「工事名」「路線名等」「工事箇所」を入力します。

②「配合表」の中の「単位量」「設計基準強」「粗骨材最大寸法」「水セメント」の該当項目を入力します。

③「スランプ」欄は午前と午後の入力欄となっていますので実測値を入力して下さい。



④「打設量」を入力後［ＯＫ］を選択すると、元の「項目編集」ウインドに戻り、実測値が入力されます。

◇ 全ての測点で同様の「日報編集」を行います。

◇ 其の際「スランプ」の入力値以外は前回入力値が複写されていますので、問題なければそのままご利用下さい。

9）全ての「測定項目」および「測点」についての入力が終了したら、「グラフ」「度数表」とも［自動計算］を左クリック、表示されたウインドの［ＯＫ］を選択、「項目編集」の［ＯＫ］を選択すると「品質編集」のの入力が終わります。



◆ ［入力項目］欄に［設定］ボタンが設定されている場合は、入力データの印刷時の書式（フォント、色、サイズ等）を指定することができます。

◆ データとして残しておく場合や、後で印刷をする場合は、「第Ⅱ章　出来形データ入力」「**ポイント／●　データの登録**」での説明の要領で、入力データを登録保存して下さい。

◆ 画面上に表示されている「品質管理図表一覧」ウインドで選択指定された図表が画面表示されます。

また、＞（＜）マークを左クリックすると次ページ（前ページ）の図表が表示されます。

アイコン  を左クリックすることによりページ繰りすることもできます。

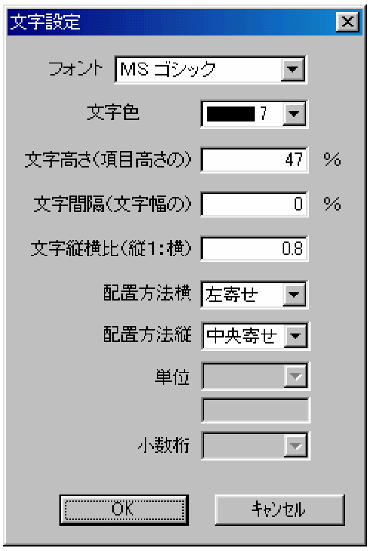


ポイント

［設定］

各入力欄に［設定］キーがついている場合は、其の欄の印刷書式の設定ができるようになっています。

◆「文字入力」欄



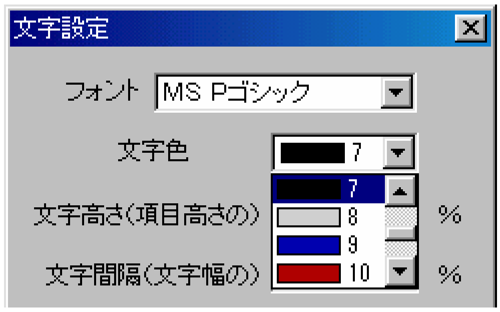
「フォント」

▼マークを左クリックすると、ご利用しているパソコンで使用可能な文字の書体（フォント）一覧表が表示されますので、該当する書体を左クリックで選択して下さい。



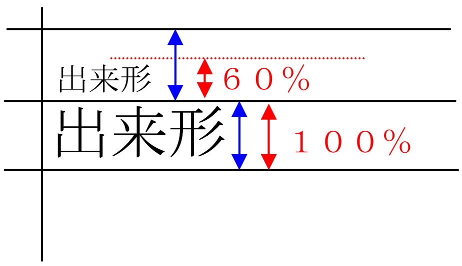
「文字色」

▼マークを左クリックすると文字色一覧表が表示されますので該当色を左クリックで選択して下さい。



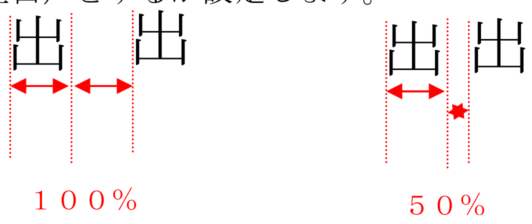
「文字高さ」

文字が入力される欄の高さのなん％を占める文字にするか数値で設定します。



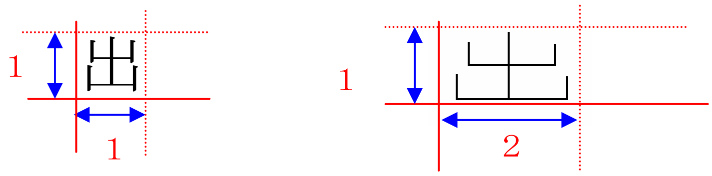
「文字間隔」

１文字の文字幅（次の文字の縦横比で決定）を１としてそのなん%を文字間（文字と文字の間の空白）とするか設定します。



「文字縦横比」

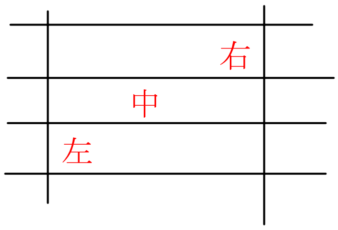
文字の高さを１として横をいくらにするか数値を入力します。

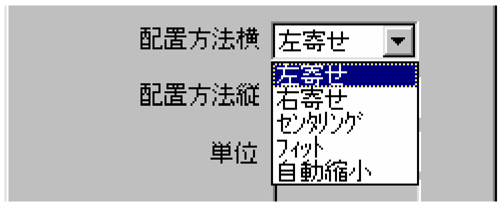


「配置方法横」

入力欄に対してどの場所に文字を置くかの選択をします。

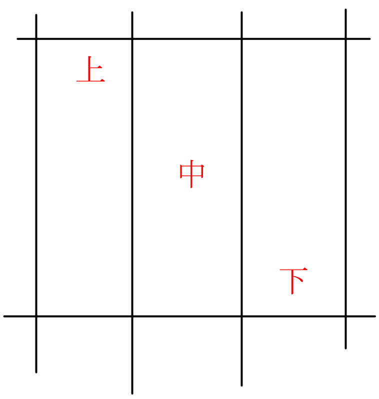
▼マークを左クリックすると配置方法の一覧表が表示されますので左クリックで選択して下さい。





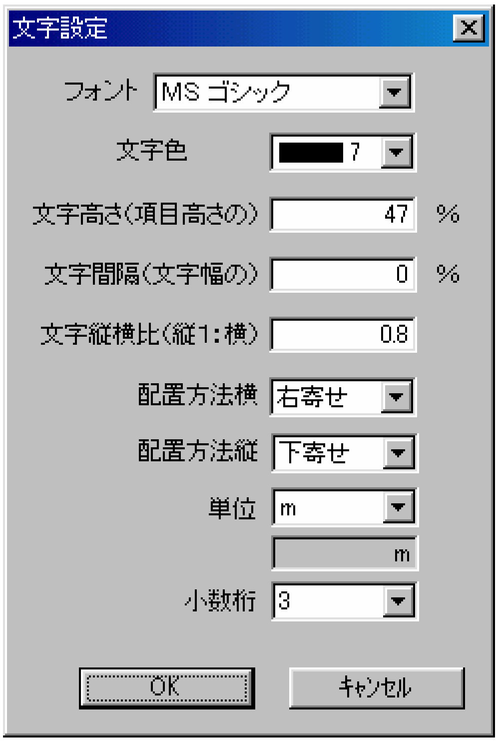
「配置方法縦」

「配置方法横」同様入力欄に対しての文字位置の設定です。





◆「数値入力」欄



「フォント」～「配置方法縦」までは「文字入力」欄の説明と同じ方法で選択して下さい。

「単位」

▼マークを左クリックすると、単位一覧表が表示されますので、該当する単位を左クリックで選択して下さい。



「小数桁」

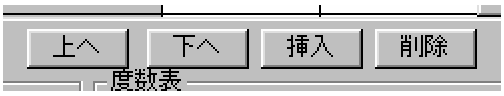
小数点以下の桁数設定をします。

▼マークを左クリックすると、桁数一覧表が表示されますので、該当桁数を左クリックで選択して下さい。



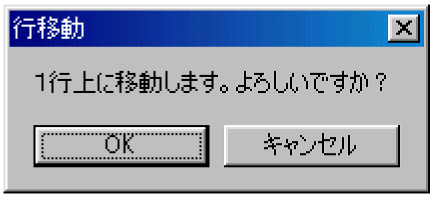
「制御」キー

「項目編集」画面には右の様なキーが表示されています。



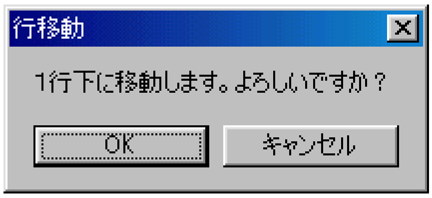
［上へ］

現在カーソルが表示している行から一つ上の行にカーソルが移動します。
その場合「確認」ウインドが表示されますので、［ＯＫ］を左クリックで選択して下さい。



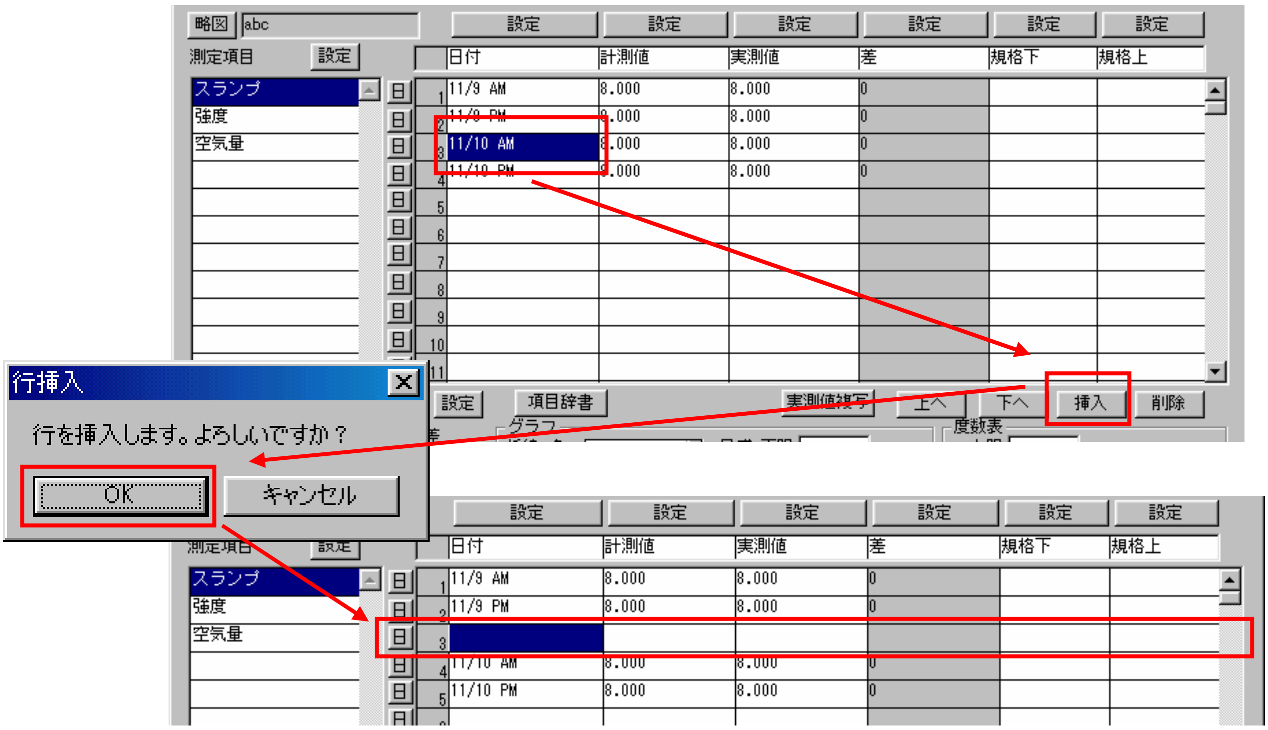
［下へ］

現在カーソルが表示している行から一つ下の行にカーソルが移動します。
その場合「確認」ウインドが表示されますので、［ＯＫ］を左クリックで選択して下さい。



［挿入］

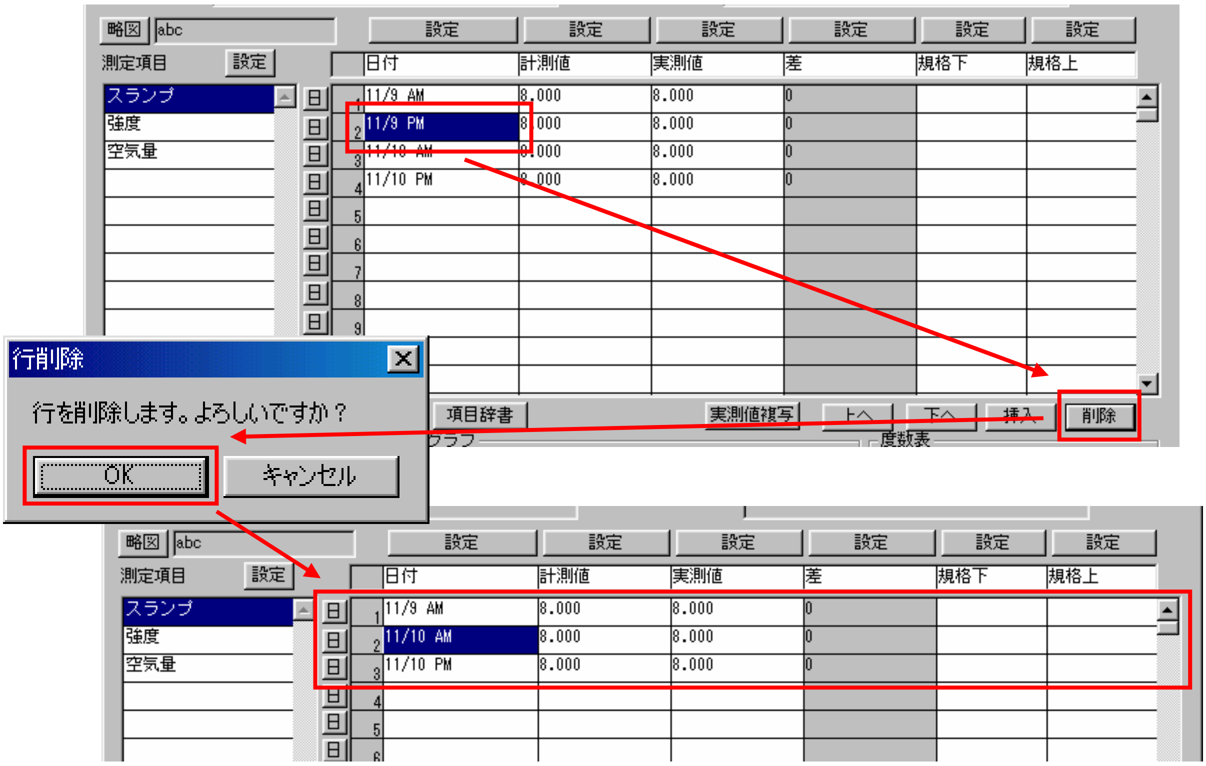
現在カーソルが表示している行の直前に新たな行を作成（挿入）します。
その場合「確認」ウインドが表示されますので、［ＯＫ］を左クリックで選択して下さい。



［削除］

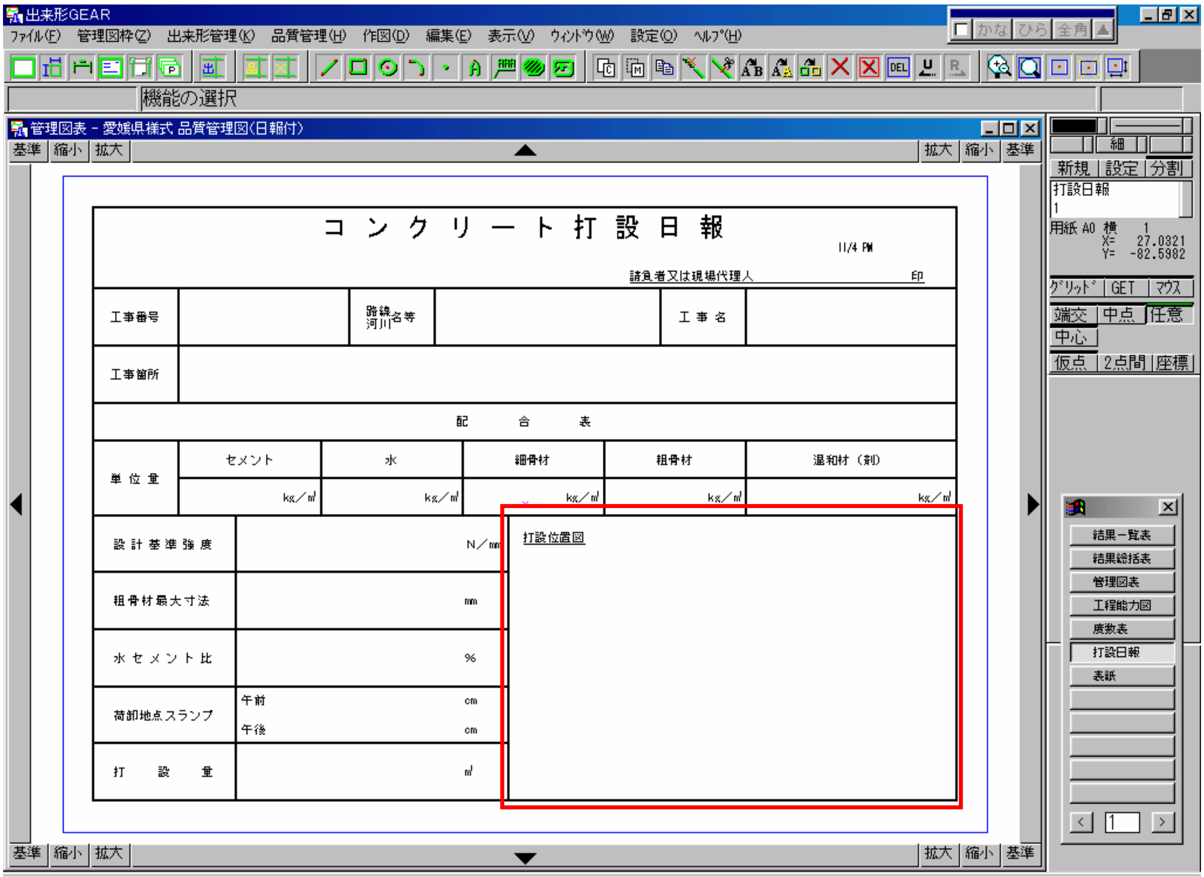
現在カーソルが表示している行を消去（削除）します。

その場合「確認」ウインドドが表示されますので、［ＯＫ］を左クリックで選択して下さい。



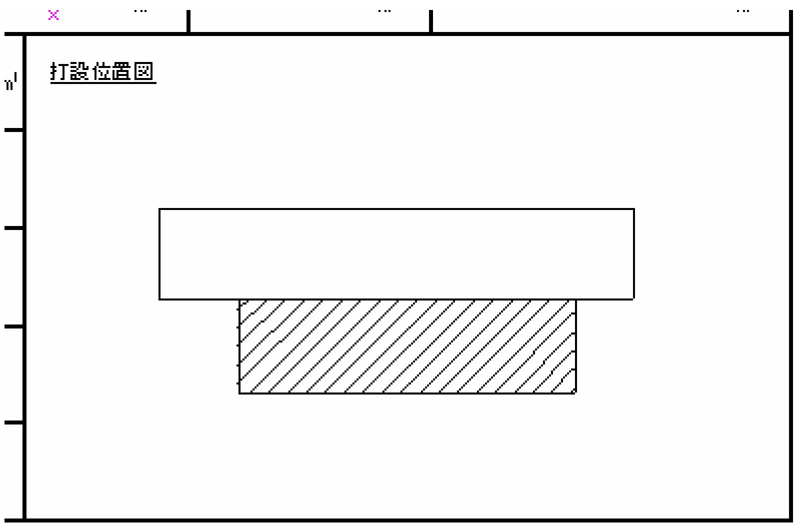
Ｖ－２　打設位置図

品質管理図表「打設日報」に「打設位置図」の入力欄があります。

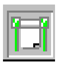


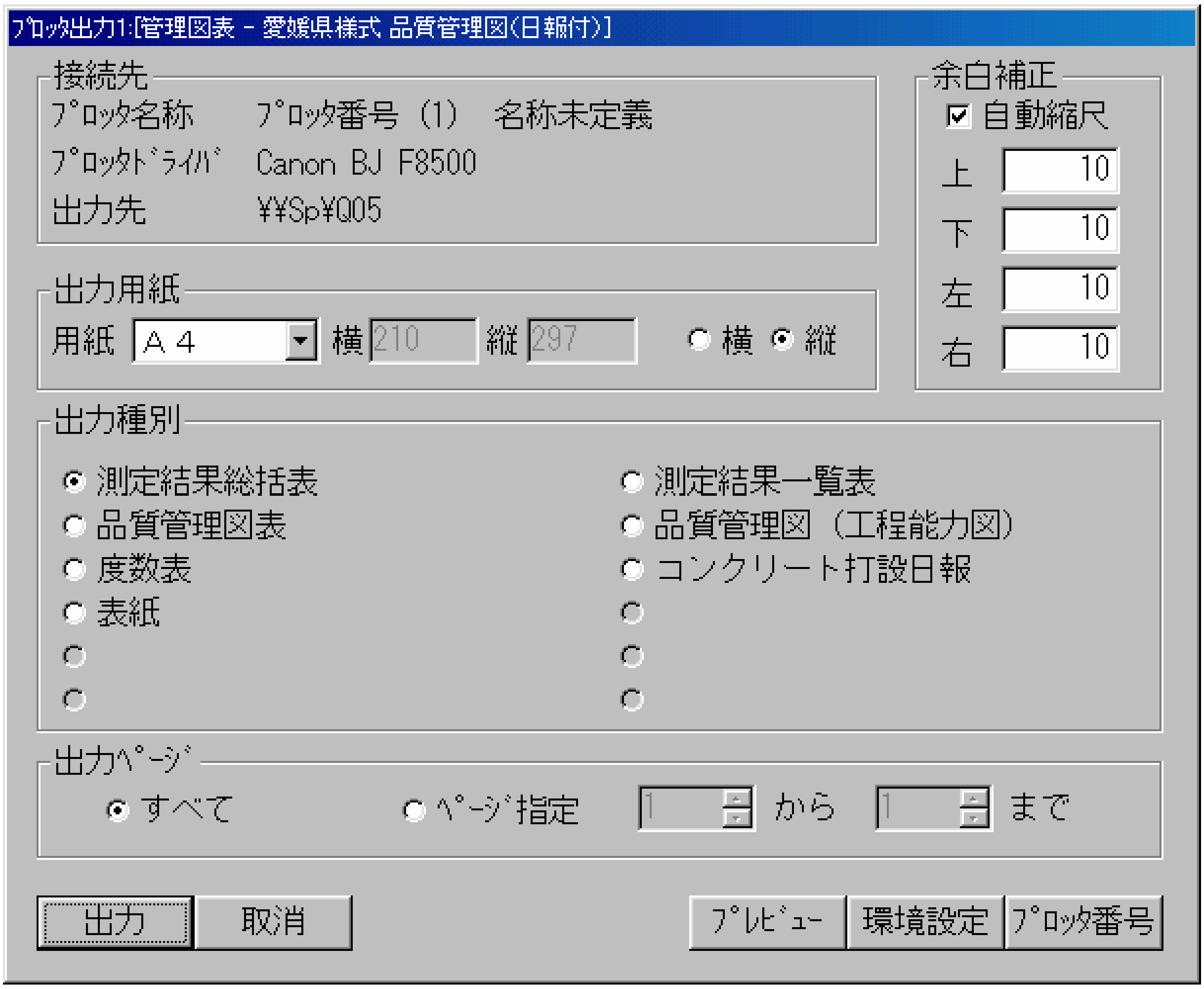
◆打設位置図は、当システムのＣＡＤ機能（本取説の第Ⅵ章、第Ⅶ章を参照）で作図して下さい。

◆作図した打設位置図は、複写機能で異なるページに複写できます。



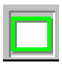
Ｖ－３　品質管理図表の印刷

アイコン  を左クリックすると「印刷」ウインドが表示されます。

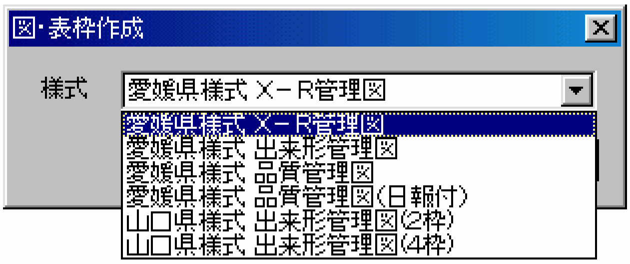


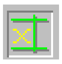
◆図表の印刷は「出力種別」欄で選択した図表のみ印刷されます。
◆「日報付」を選択しておくと、「打設日報」が加わります。
◆その他の設定は、出来形管理図表の印刷同様に設定して下さい。
◆複数のページにわたっている図表で、一部のページのみ印刷する場合は［ページ指定］を選択し、▲▼マークを左クリックし、印刷ページを指定して下さい。

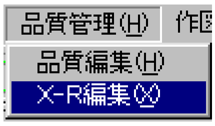
Ｖ－４　Ｘ－Ｒ編集

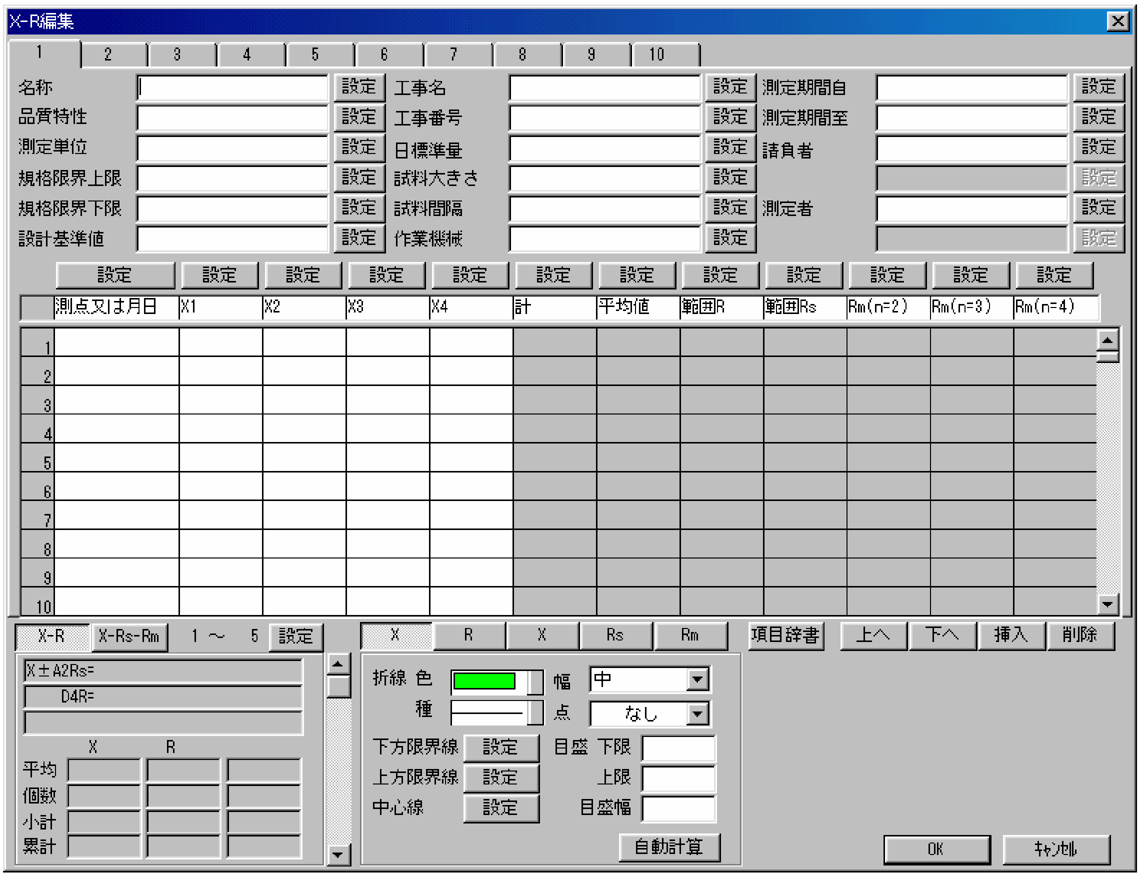
1）アイコン  を左クリックします。

2）「図・表枠作成」ウインドが表示されますので、「○○県様式Ｘ－Ｒ管理図」を選択します。



3）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［品質管理（H）］［Ｘ－Ｒ編集（X）］を選択して下さい、「項目編集」ウインドが表示されますので、該当項目を入力して下さい。

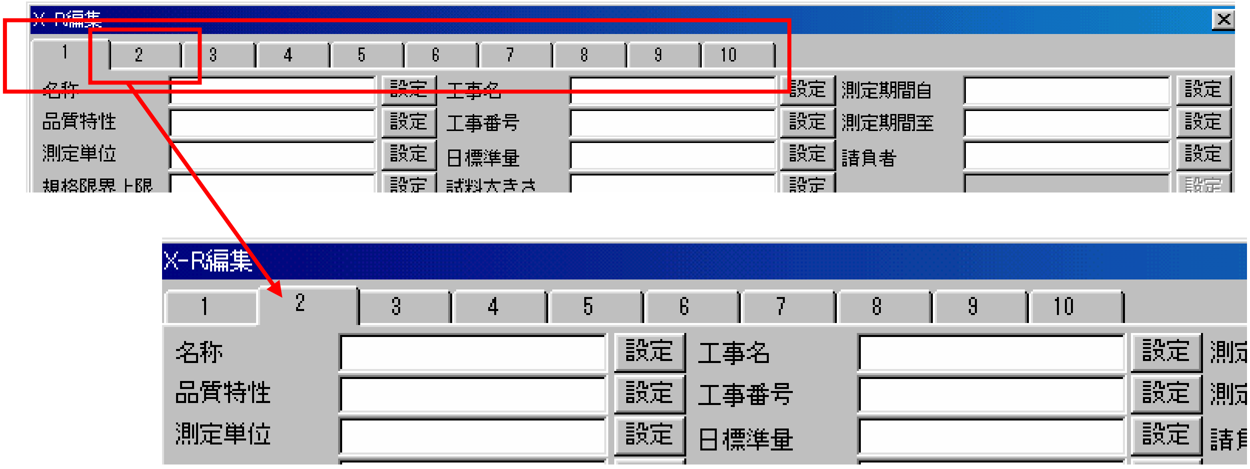




4）「名称」～「測定者」まで必要項目の入力を行って下さい。

ご注意！

同一名称で「品質特性」が異なる場合は、画面上部に表示されているフォルダ番号を左クリックし、別途入力して下さい。



5）測点又は月日及び、データを入力して下さい。

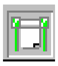
ポイント！

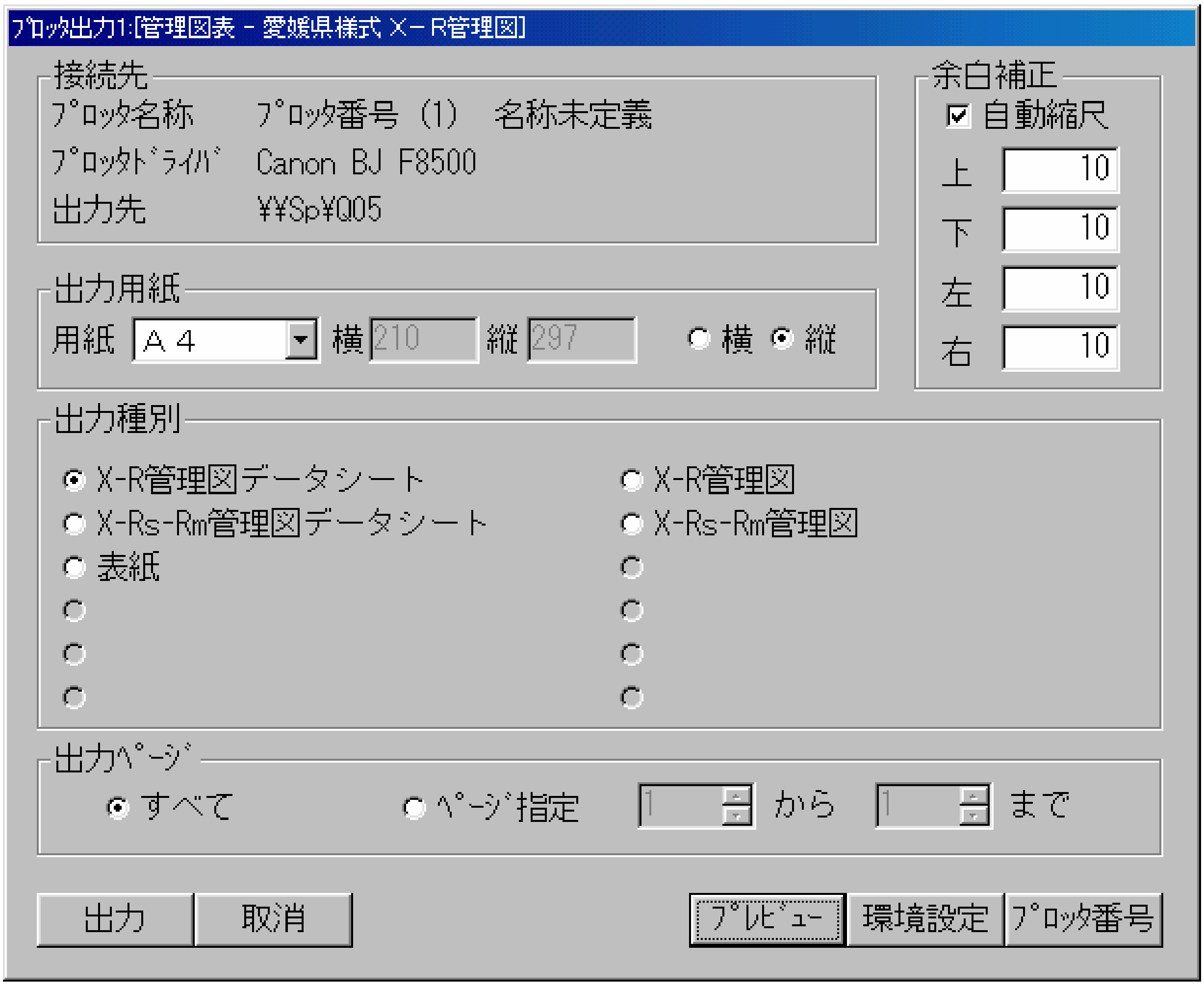
「測点又は月日」の入力は続けて入力して下さい。
実際に図表の印刷をする際には、規定通りの様式で、空白行を挿入した印刷をします。

6）必要なデータを入力後、［自動計算］を左クリック、［ＯＫ］で「Ｘ－Ｒ編集」を終了します。
7）画面の表示及び図表の印刷は「品質管理」同様に行って下さい。

◆データとして残しておく場合や、後で印刷をする場合は、「第Ⅱ章　出来形データ入力」「**ポイント／●　データの登録**」での説明の要領で、入力データを登録保存して下さい。

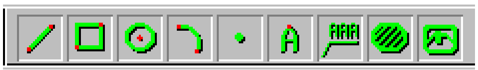
Ｖ－５　Ｘ－Ｒ図表の印刷

アイコン  を左クリックすると「印刷」ウインドが表示されます。

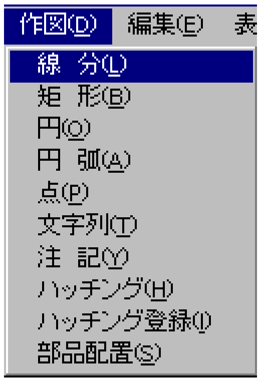


◆ 図表の印刷は「出力種別」欄で選択した図表のみ印刷されます。
◆「日報付」を選択しておくと、「打設日報」が加わります。
◆ その他の設定は、出来形管理図表の印刷同様に設定して下さい。
◆複数のページにわたっている図表で、一部のページのみ印刷する場合は［ページ指定］を選択し、▲▼マークを左クリックし、印刷ページを指定して下さい。

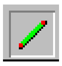
第Ⅵ章　ＣＡＤ機能、作図のしかた

ここでは、アイコン  を選択することで出来るＣＡＤの作図機能について説明します。

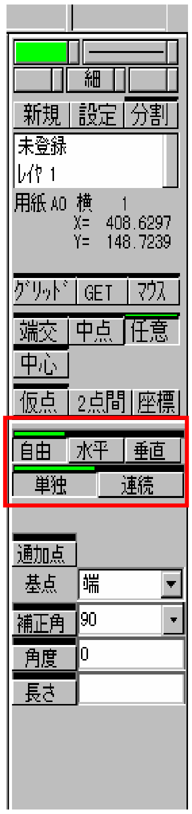
Ⅵ－１　線を引く

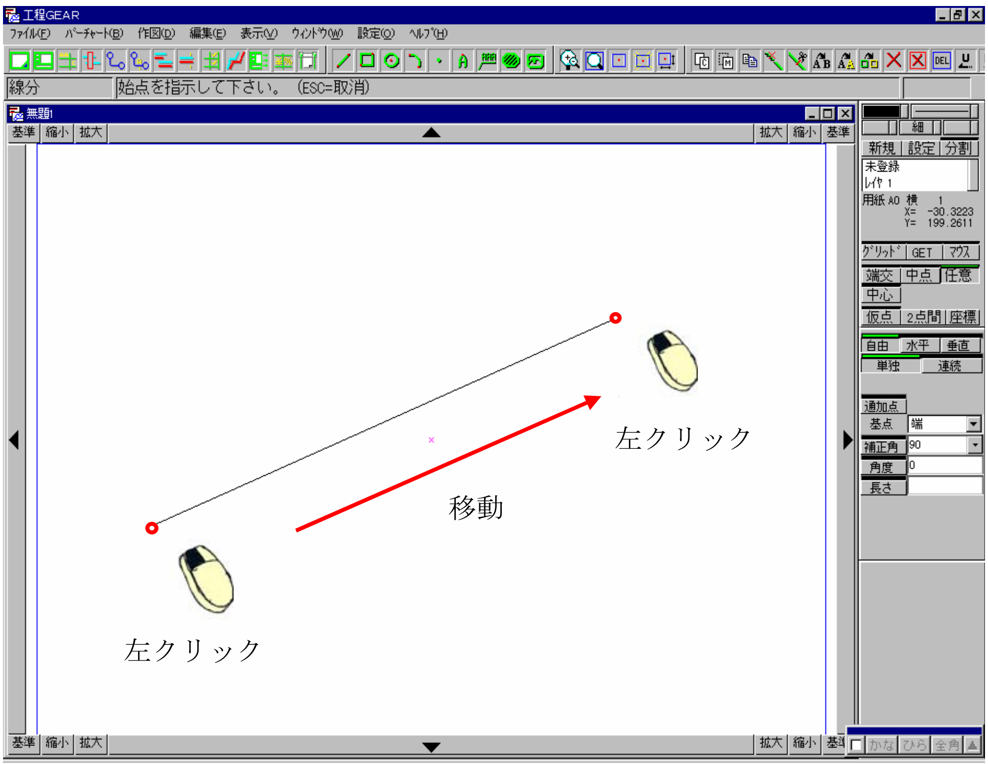


A．直線を引く

1）アイコンの  を左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［線分（L）］を選択（左クリック）します。
2）画面右に表示されているコマンドパネルから［自由］線［水平］線［垂直］線の中から該当する線分（線）を選択します。
3）［自由］線を選択した場合は［単独］で引くか、［連続］で引くかも選択します。
4）選択すると、それぞれのバー表示が「緑表示」となります。
5）線を引く場合［基点］の選択は、通常「端」を選択して下さい。
6）マウスでカーソルを、線を引き始る位置（開始位置）に持って行き左クリック、引き続き線を引き終わる位置（終了位置）にカーソルを持って行き左クリックして線を確定します。

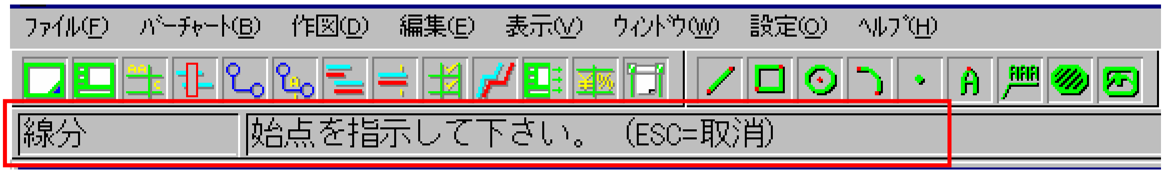


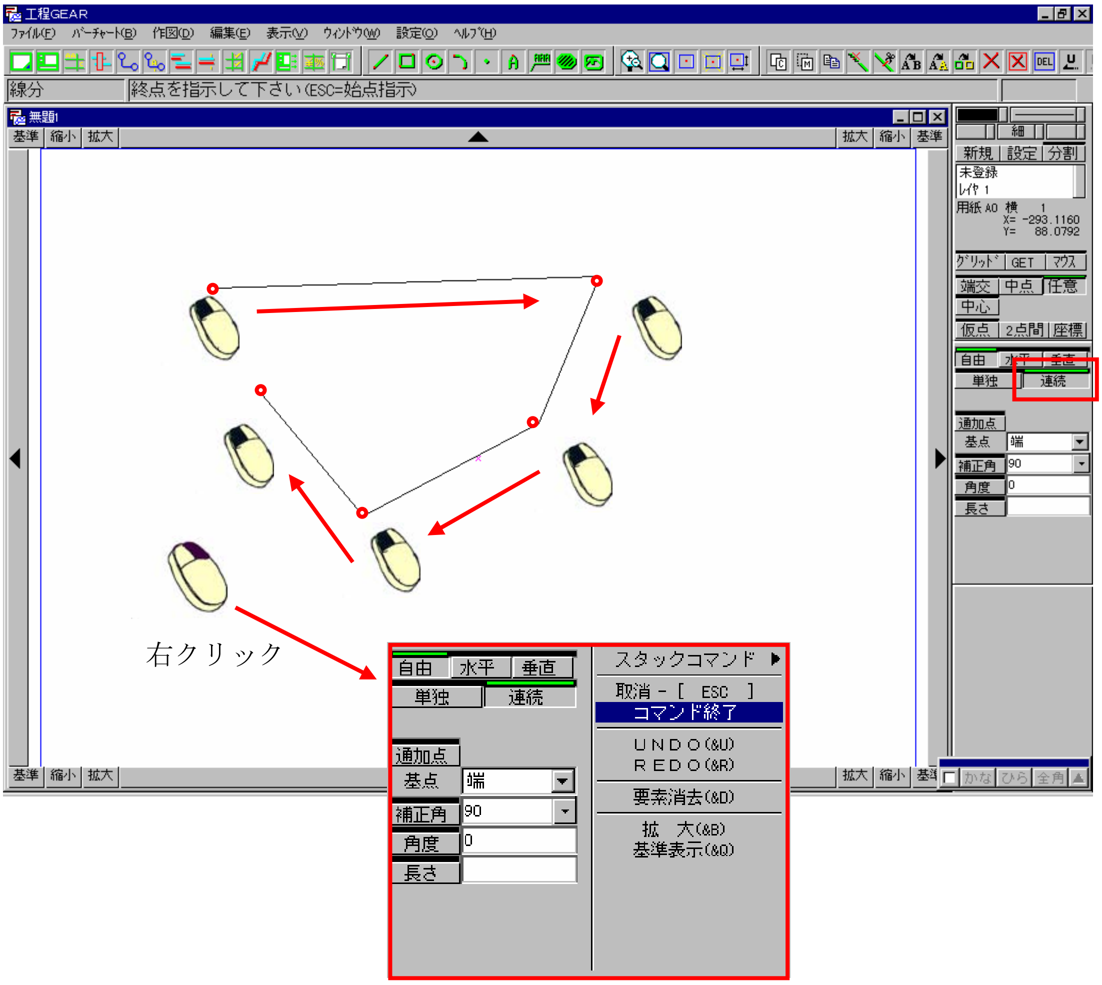




7）［自由］［連続］を選択している場合は次、次と終了位置にカーソルを移動し、左クリックで確定してゆき、引き終わると【Esc】キーを押すか、右クリックし作業ウインドを表示、［コマンドの終了］を選択して線分入力処理を終了して下さい。

8）なお、線分入力を選択すると、メッセージバーには「線分／始点を指示して下さい。（ESC=取消）」等の作業指示が表示されますので、指示に従って処理して下さい。
このメッセージは他の図形の作図時にも必ず表示されます。



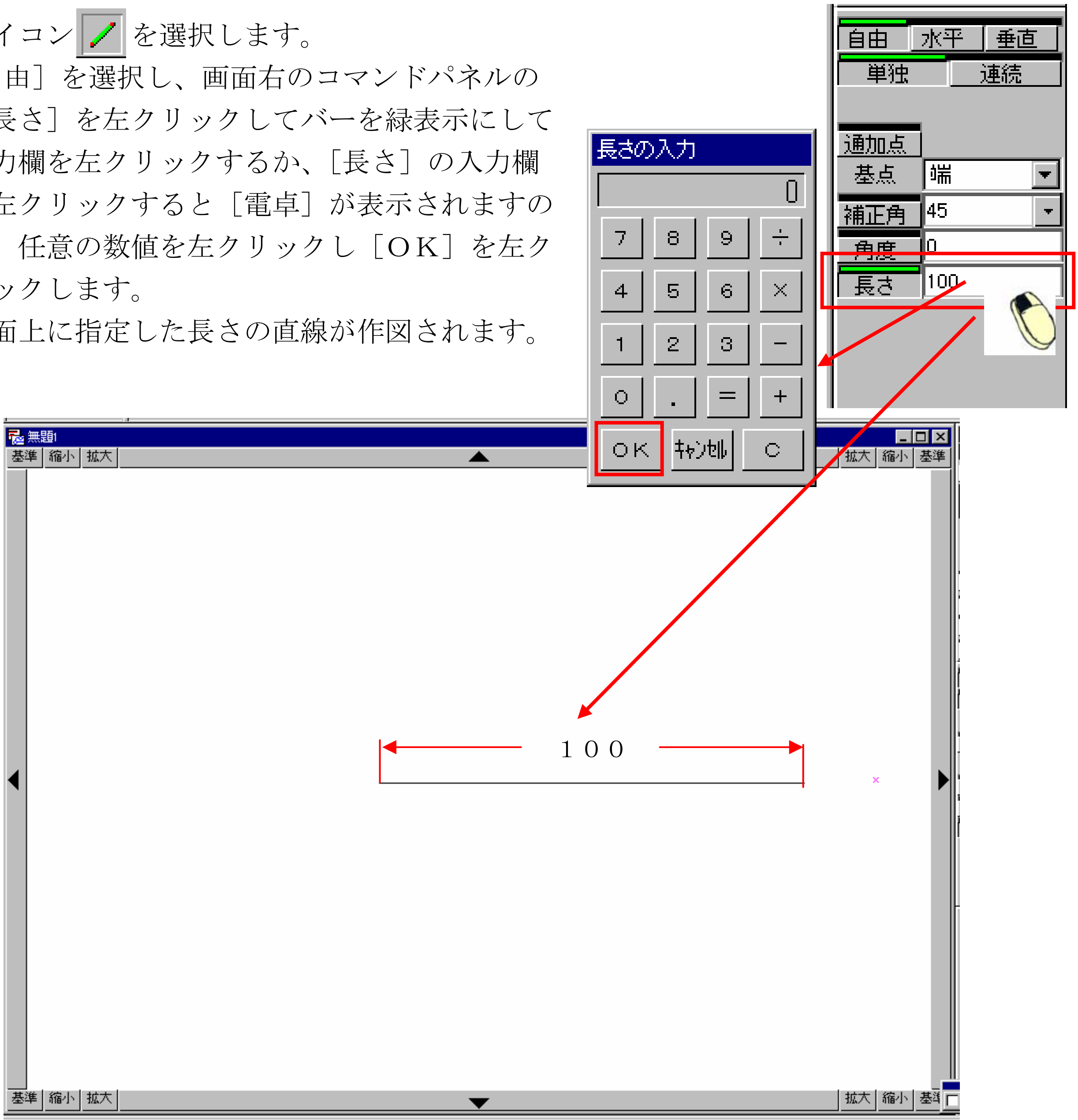


Ｂ．長さを指定して直線を引く

１）アイコン を選択します。

２）［自由］を選択し、画面右のコマンドパネルの［長さ］を左クリックしてバーを緑表示にして入力欄を左クリックするか、［長さ］の入力欄を左クリックすると［電卓］が表示されますので、任意の数値を左クリックし［ＯＫ］を左クリックします。

２）画面上に指定した長さの直線が作図されます。

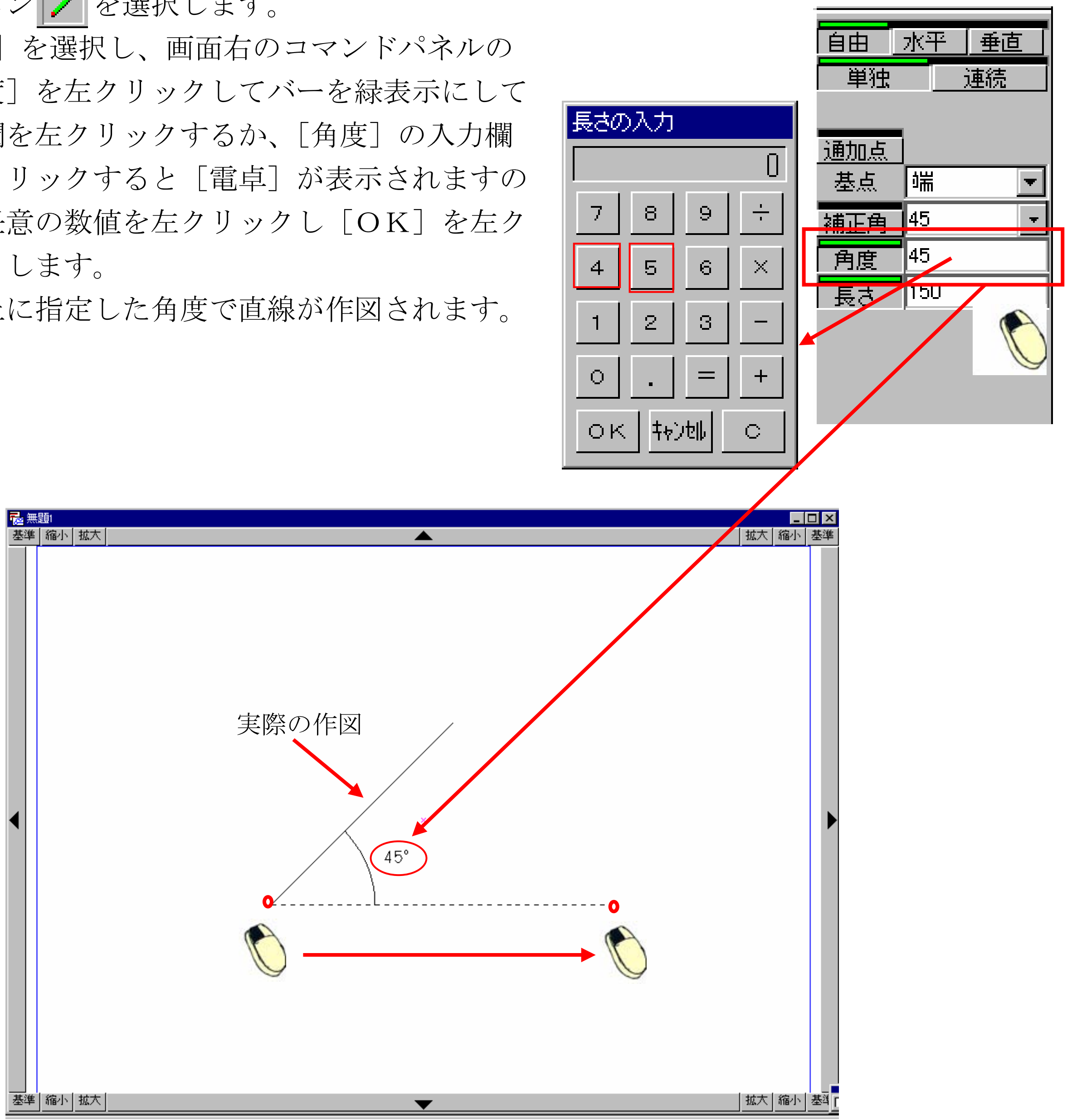


Ｃ．角度を指定して直線を引く

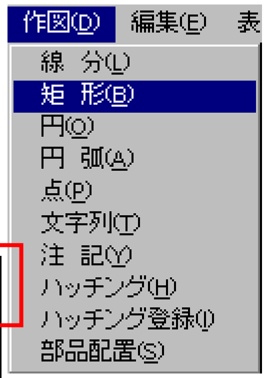
1）アイコン　を選択します。

2）［自由］を選択し、画面右のコマンドパネルの［角度］を左クリックしてバーを緑表示にして入力欄を左クリックするか、［角度］の入力欄を左クリックすると［電卓］が表示されますので、任意の数値を左クリックし［ＯＫ］を左クリックします。

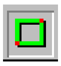
2）画面上に指定した角度で直線が作図されます。



Ⅵ－２　矩形を描く

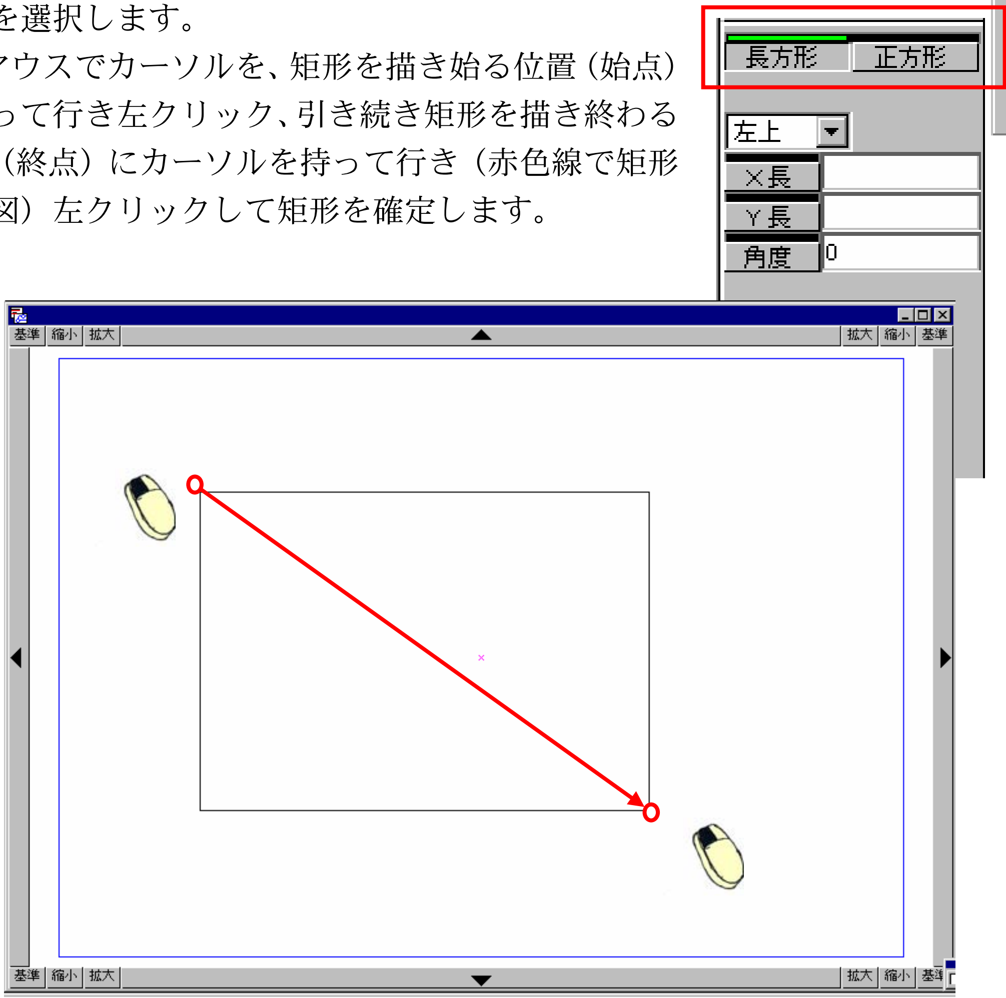


Ａ．マウスで描く

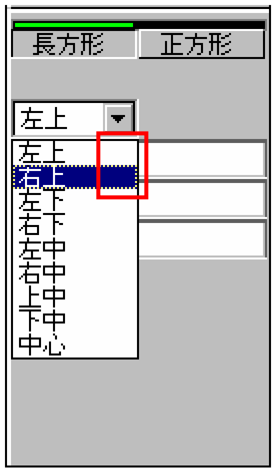
１）アイコンの  を左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［矩形（B)］を選択（左クリック）します。

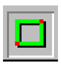
２）画面右に表示されているコマンドパネルから［長方形］または［正方形］を選択します。

３）マウスでカーソルを、矩形を描き始る位置（始点）に持って行き左クリック、引き続き矩形を描き終わる位置（終点）にカーソルを持って行き（赤色線で矩形を作図）左クリックして矩形を確定します。



Ｂ．数値を入力して矩形を描く



１）アイコンの  を左クリックします。

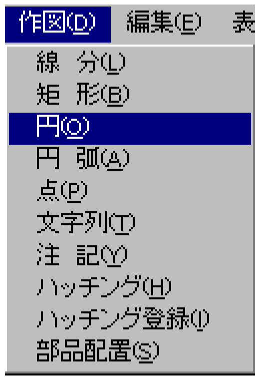
２）画面右に表示されているコマンドパネルから［長方形］または［正方形］を選択します。

３）［始点］の［▼］を左クリックして始点を選択します。

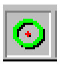
４）［Ｘ長］［Ｙ長］［角度］にそれぞれ任意の数値を電卓表示から入力します。

５）入力した数値に沿った矩形が画面上に作図されます。

Ⅵ－３　円を描く



A．円をマウスで描く

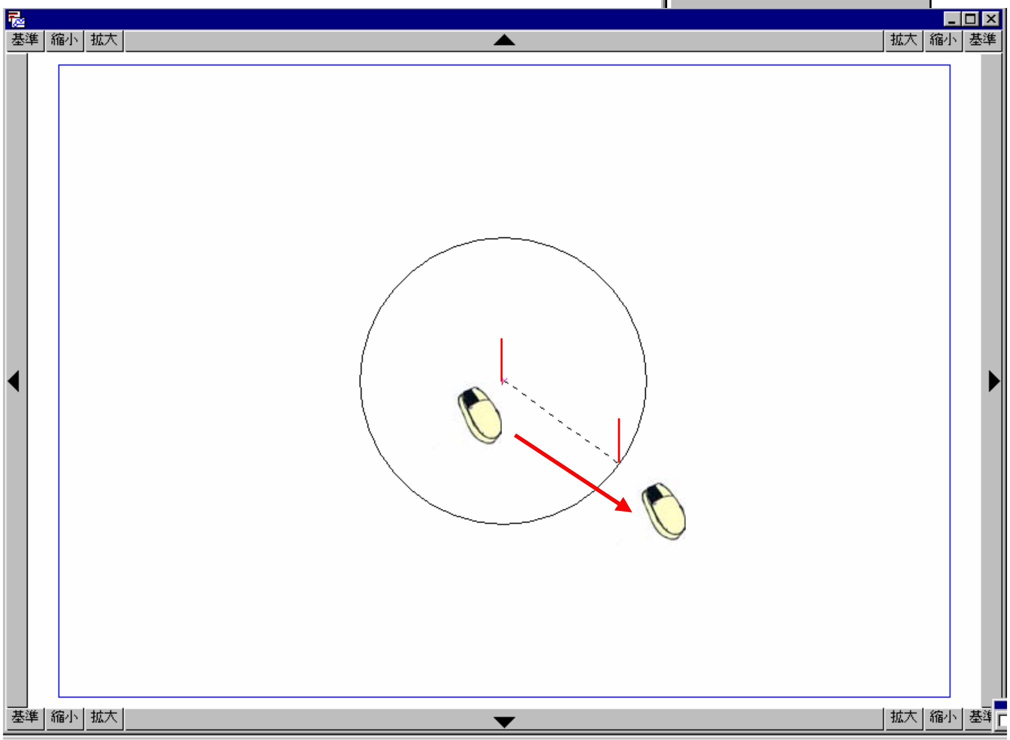
1）アイコンのを左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［円（O)］を選択（左クリック）します。

2）画面右に表示されているコマンドパネルから［円］を選択します。

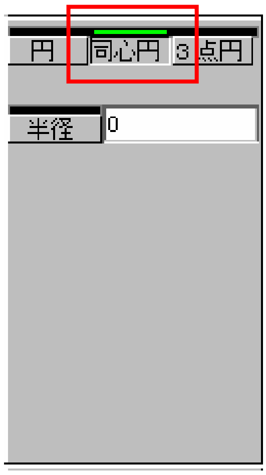
3）マウスでカーソルを、円を描き始る位置（始点）に持って行き左クリック、引き続き円を描き終わる位置（終点）にカーソルを持って行き（赤色線で円を作図）左クリックして円を確定します。

4）始点から終点までのカーソルの動きが、描かれた円の半径となります。

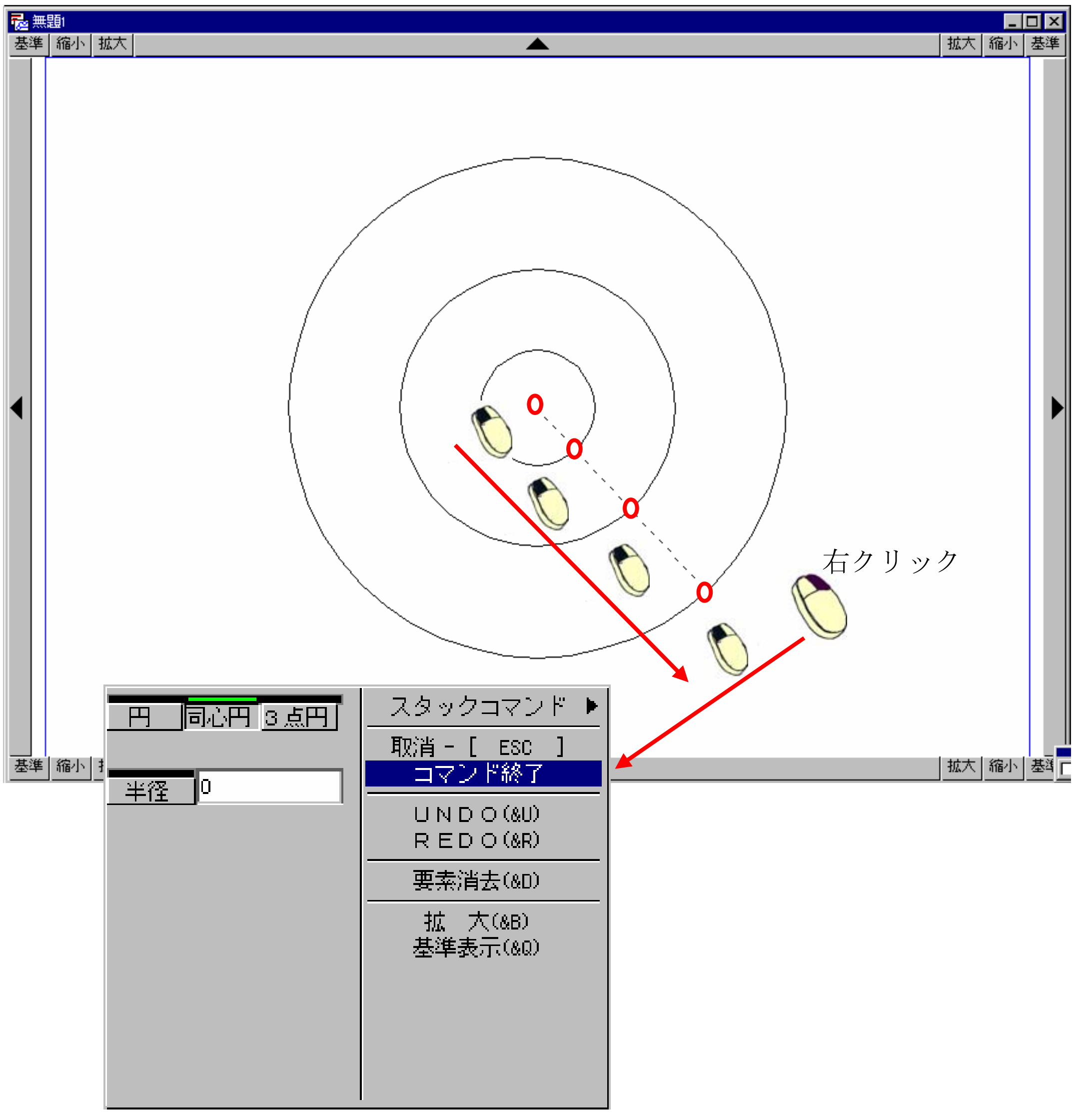




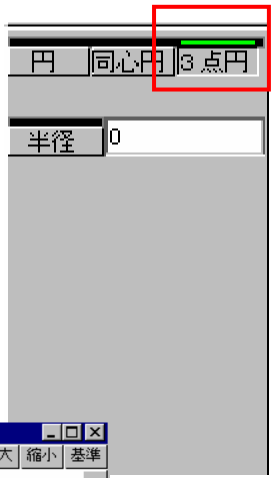
Ｂ．同心円を描く

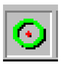


1）アイコンの　を左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［円（O)］を選択（左クリック）します。
2）画面右に表示されているコマンドパネルから［同心円］を選択します。
3）マウスでカーソルを、円を描き始る位置（始点）に持って行き左クリック、引き続き円を描き終わる位置（終点）にカーソルを持って行き（赤色線で円を作図）左クリックして円を確定します。
4）引き続きカーソルを移動し左クリックで円が作図され、同じ作業の繰り返しでいくつもの同心円を作図することが出来ます。
5）同心円の作図を終わるには【Esc】キーを押すか、右クリックで処理メニューウインドを表示させ［コマンド終了］で終了して下さい。



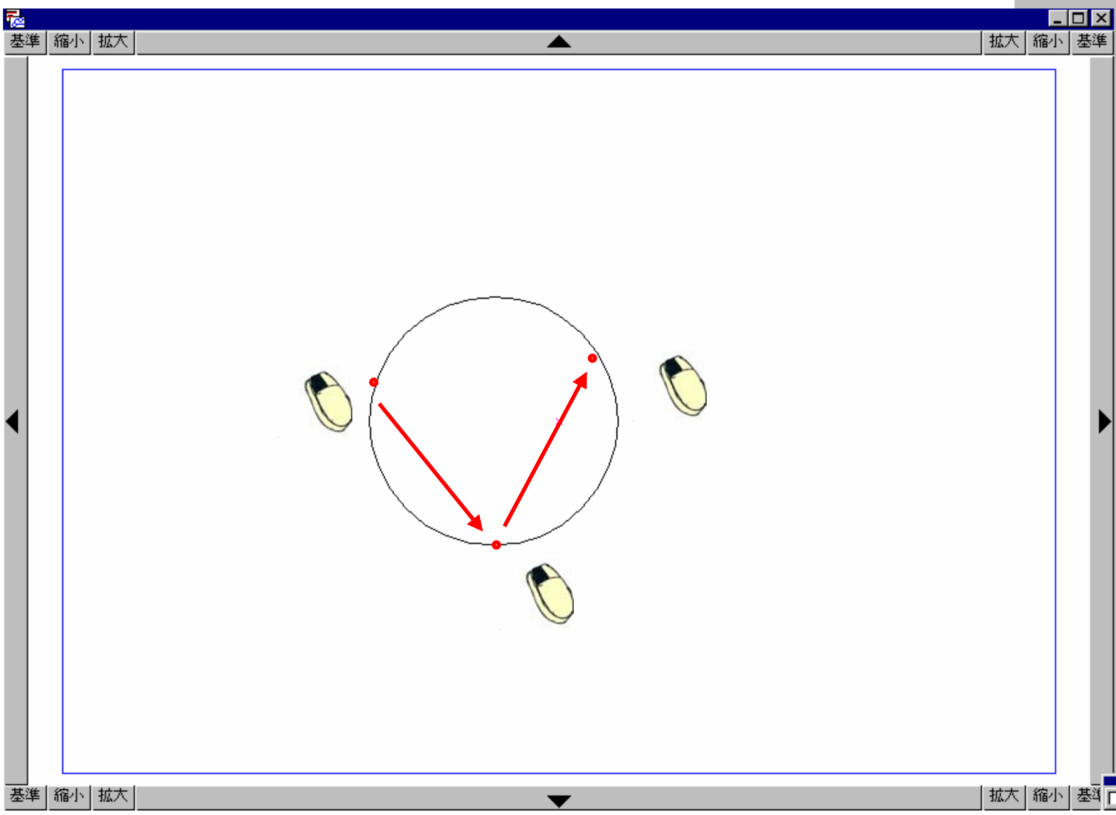
Ｃ．３点円を描く



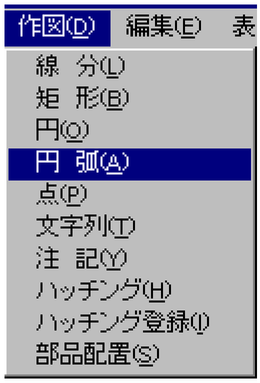
1）アイコンのを左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［円（O)］を選択（左クリック）します。

2）画面右に表示されているコマンドパネルから［３点円］を選択します。

3）任意の３点を左クリックすると、３点全てにかかる円が作図されます。



Ⅵ－４　円弧を描く



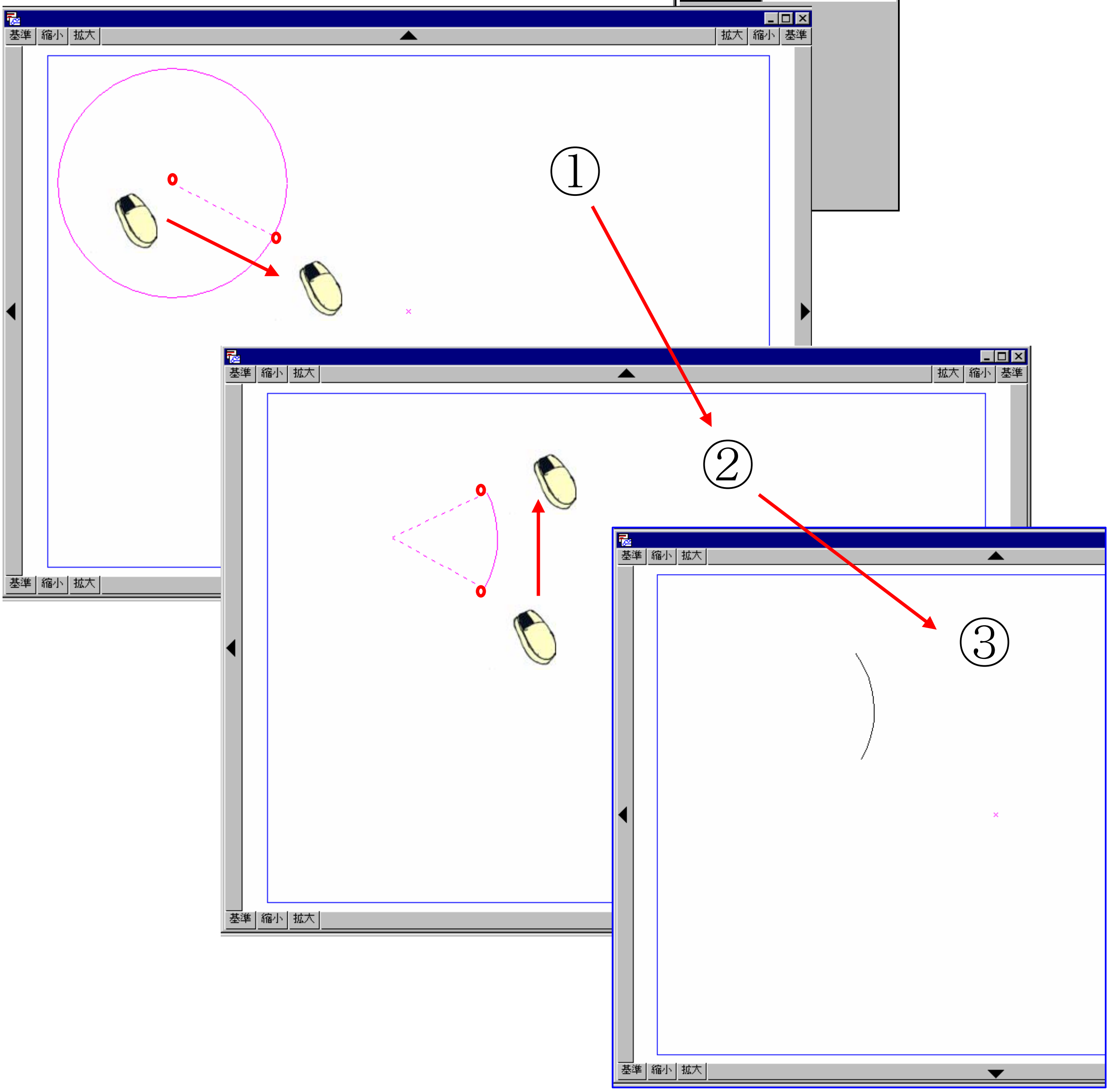
A．円弧をマウスで描く

1）アイコンの を左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［円弧（A)］を選択（左クリック）します。

2）画面右に表示されているコマンドパネルから［円弧］を選択します。

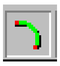
3）まず円を描く要領で必要な円弧の大きさの円（赤色線円）を描き左クリックし、次に円弧として必要な部分だけカーソルを移動し円弧を赤色線表示させ左クリックで確定させます。





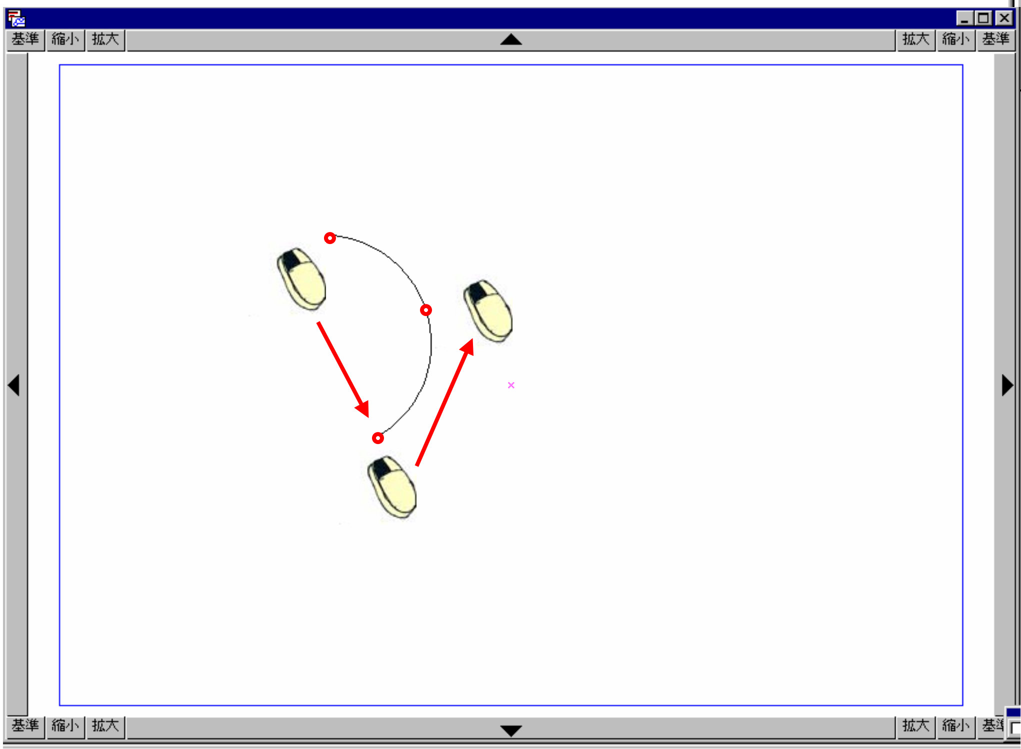
Ｂ．３点円弧を描く



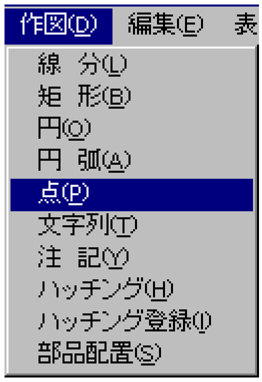
1）アイコンのを左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［円弧（A)］を選択（左クリック）します。

2）画面右に表示されているコマンドパネルから［３点円弧］を選択します。

3）まず円弧の両端で左クリック、カーソルを移動し円弧の丸みを設定、左クリックで確定して下さい。

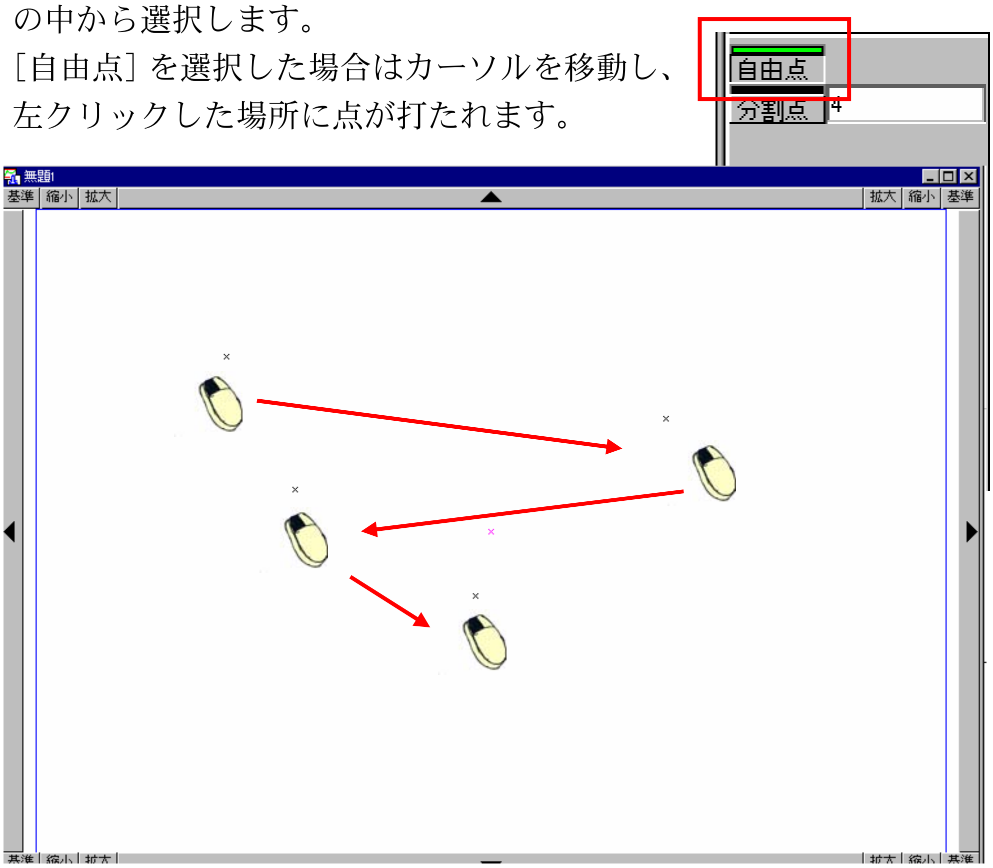


Ⅵ－５　点を打つ



Ａ．自由な場所に点を打つ

1）アイコンの　を左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［点（P）］を選択（左クリック）します。
2）画面右に表示されているコマンドパネルから［自由点］［分割点］の中から選択します。
3）［自由点］を選択した場合はカーソルを移動し、左クリックした場所に点が打たれます。



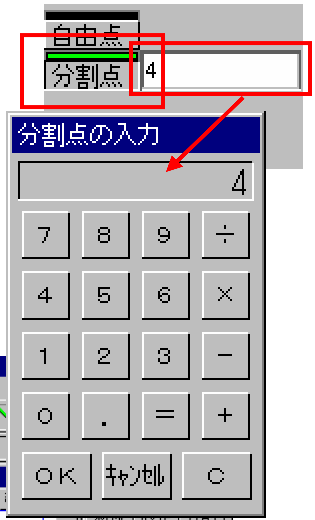
B．分割点を打つ

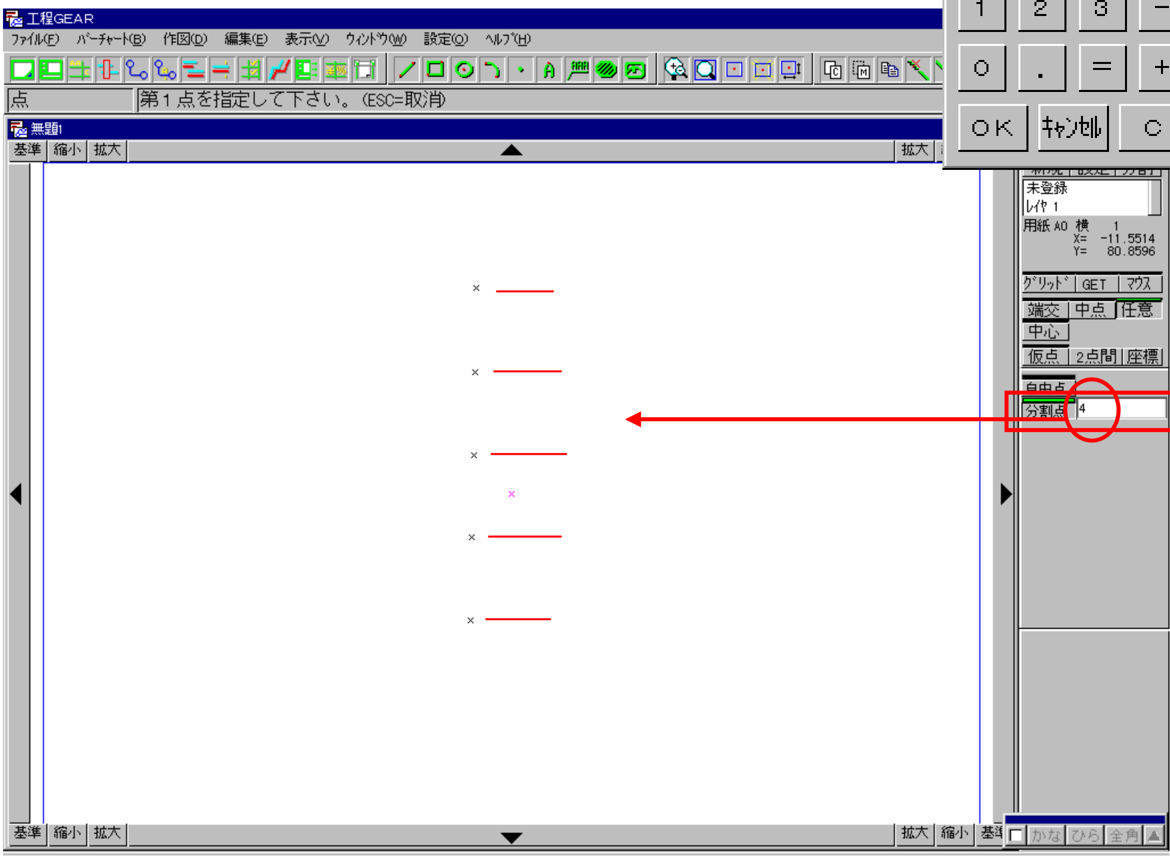
1）アイコンの　を左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［点（P）］を選択（左クリック）します。

2）画面右に表示されているコマンドパネルから［分割点］を選択します。

3）［分割点］を選択した場合は分割数の入力欄で左クリックし、電卓表示させ、分割数を入力します。

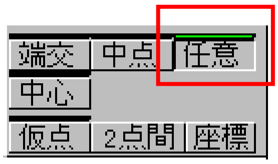
4）画面上の任意の２点を左クリックすると、その間を等間隔に指定した数に分割するように点が打たれます。



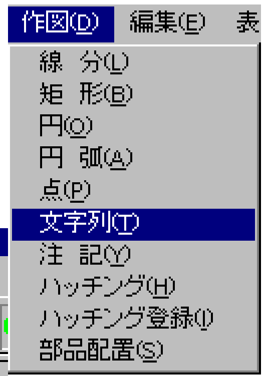


VI－６　文字（文字列）を書く

Ａ．自由な場所に文字を書く

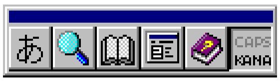


１）文字を入力する前に、画面右に表示されているコマンドパネルの［端交］［中点］［任意］［中心］の中から文字の入力体系を選択しますが、線とのからみがある場合とか、特別な場合を除き通常は［任意］を選択しておいて下さい。

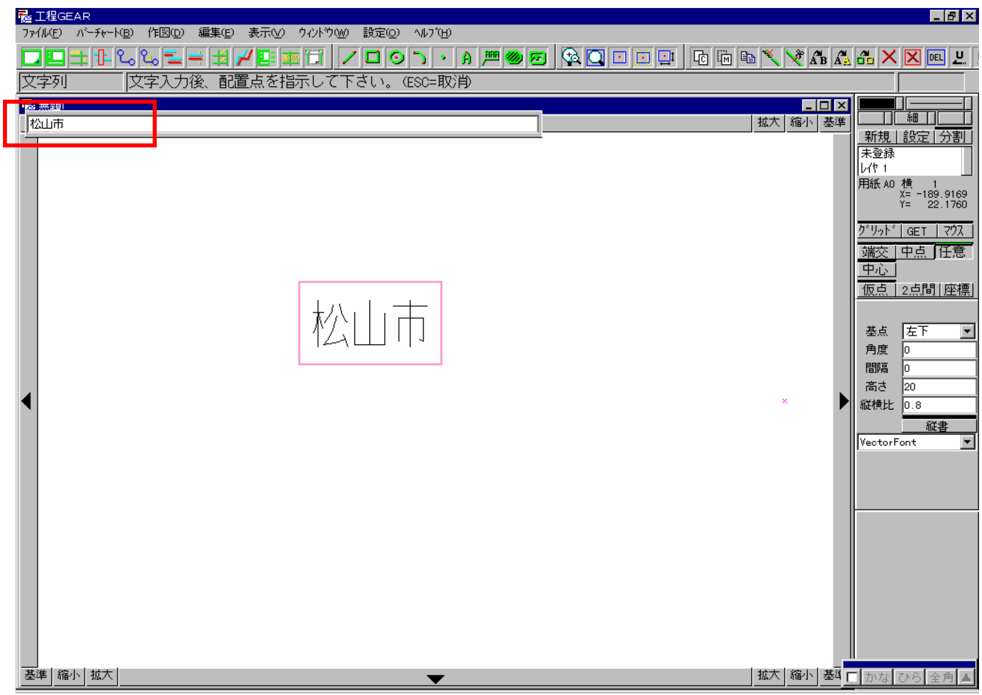


２）アイコンの A を左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［文字列（T）］を選択（左クリック）すると、画面メッセージバーの下に、文字入力枠が表示されます。



３）キーボードの【Alt】＋【半角／全角】（漢字）で日本語入力モードにします。
画面上には、  が表示（点灯状態）されます。

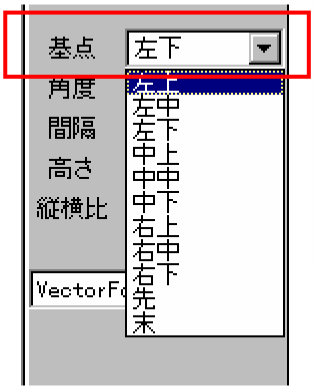
４）任意の文字を入力してゆきます。
５）入力終了後【Enter】で確定、【Enter】でカーソルの位置に文字が表示されます。



Ｂ．文字を書く場合の詳細設定

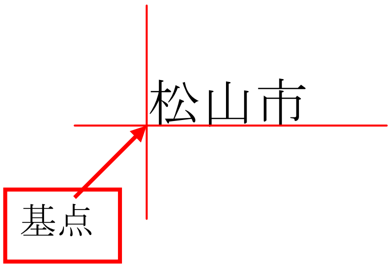


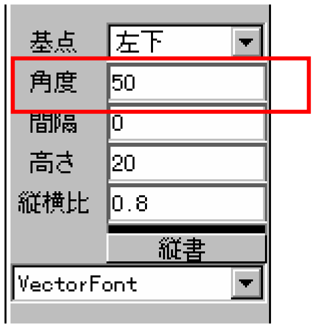
１）文字を入力する前に、画面右に表示されているコマンドパネルの詳細設定を設定しておくと便利です。



基点：▼マークを左クリックすると基点となる項目が表示されますので該当項目を選択して下さい。

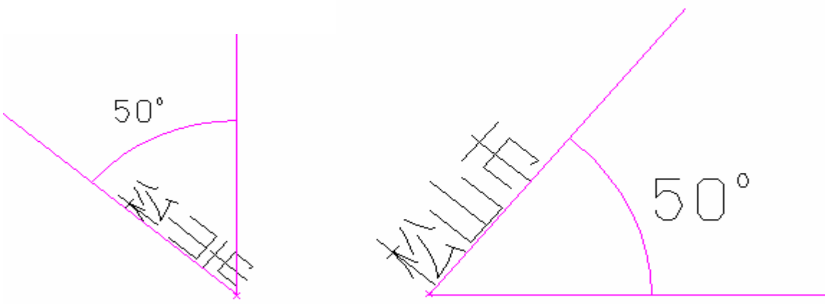
例）左下の場合



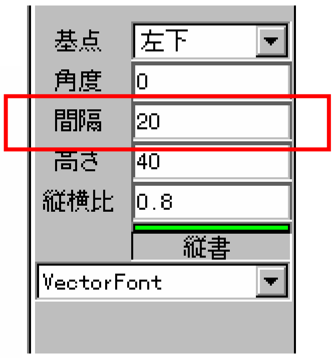


角度：文字入力時の文字の傾きを角度で入力します。
角度は基点を回転軸として、時計回りに設定されます。

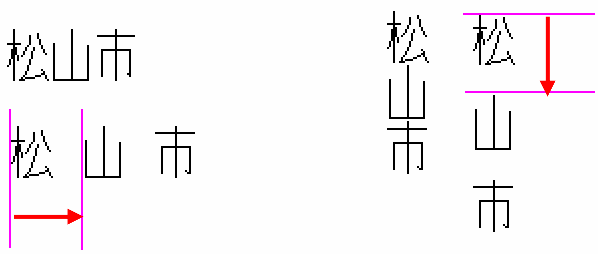
例）５０の場合



間隔：文字と文字の間の調整です。

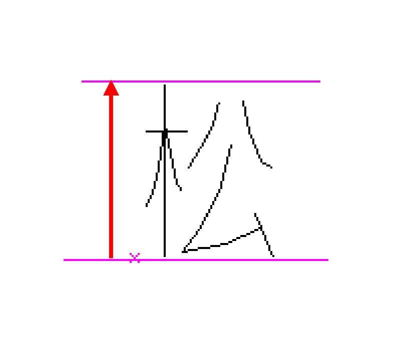


例）２０の場合



高さ：文字の縦方向の長さを指定できます。

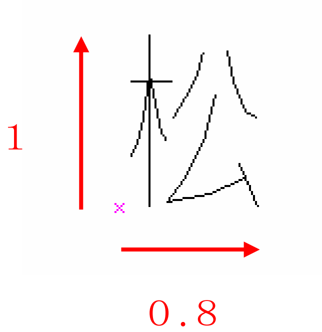
例）１３０の場合





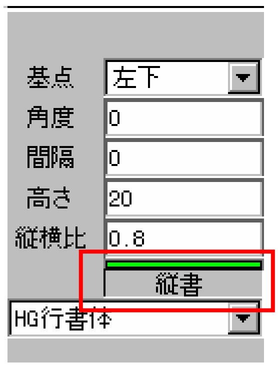
縦横比：文字の高さを１として、横の幅を指定できます。

例）０.８の場合





縦書（横書）：縦書、横書の切替スイッチです。
［縦書］を左クリックして、バー表示を緑色にすると縦書きとなり、緑色を消すと、横書きとなります。

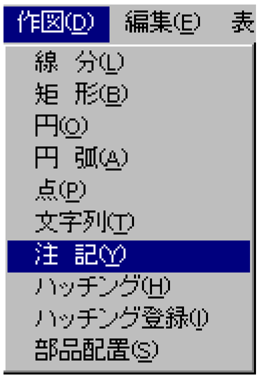


フォント：書体の選択をします。
▼マークを左クリックすると、お客様のパソコンで使用できる書体が一覧表示されますので、該当書体を選択して下さい。



VI－７　注記を書く

A．注記の詳細設定



1）アイコンの を左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［注記（Y)］を選択（左クリック）します。



2）画面右に表示されているコマンドパネルの［用語選択］欄に注記する言葉を入力します。

3）［高さ］文字のサイズを選択します。

4）縦書、横書の選択をします。

5）フォントの選択をします。

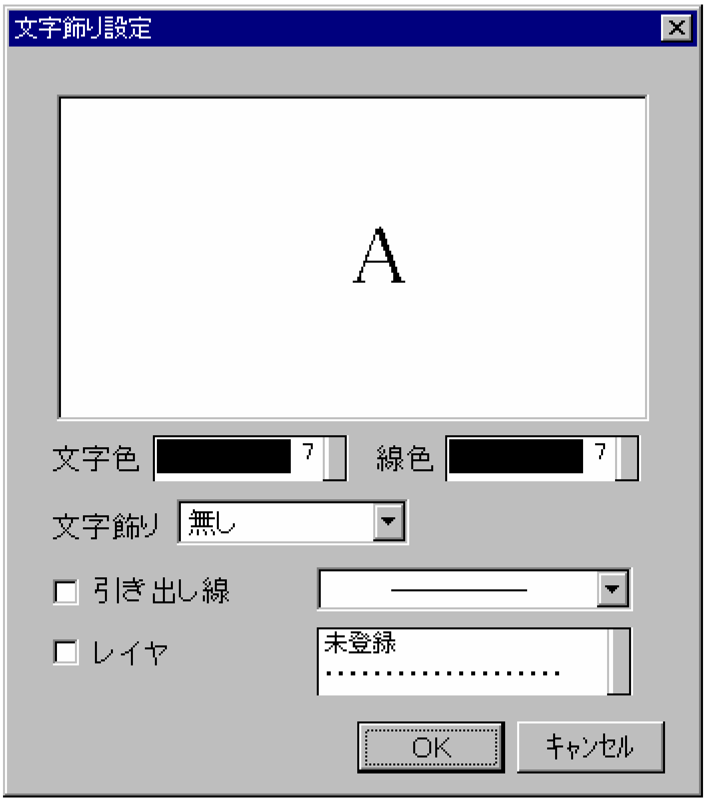
6）グループの選択をします。

グループを選択（緑色表示）すると、注記として作図（書き入れる）する線及び文字が一つの要素として取扱われますので、後での消去等の場合に便利になります。

グループ指定しない場合は、引き出し線、下線、文字等それぞれ別の物として取扱われます。

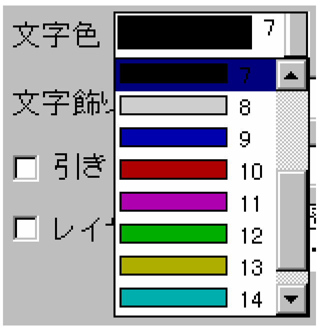
7）［飾り指定］を選択します。

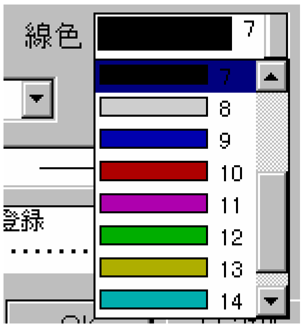
「文字飾り設定」ウインドが表示されます。



①［文字色］: 注記の文字色を選択します。

入力欄を左クリックすると色の一覧が表示されますので該当する文字色を選択して下さい。

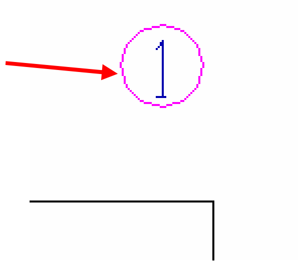




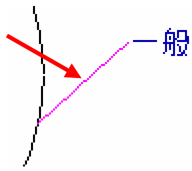
②［線色］：注記の引き出し線や下線等の色を選択します。
入力欄を左クリックすると、色の一覧が表示されますので該当する線色を選択して下さい。

③［文字飾り］：文字飾りの選択をします。
入力欄または▼マークを左クリックすると、文字飾りの一覧ウインドが表示されますので、該当する文字飾りを選択して下さい。

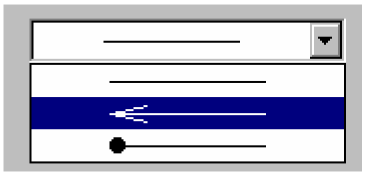




④［引き出し線］：引き出し線の有無を選択します。
引き出し線が必要な場合は、入力欄を左クリックし、チェックマークを表示して下さい。



⑤［線種］：引き出し線、下線等の線種を選択します。
▼マークを左クリックすると線種一覧がウインド表示されますので、該当線種を選択して下さい。



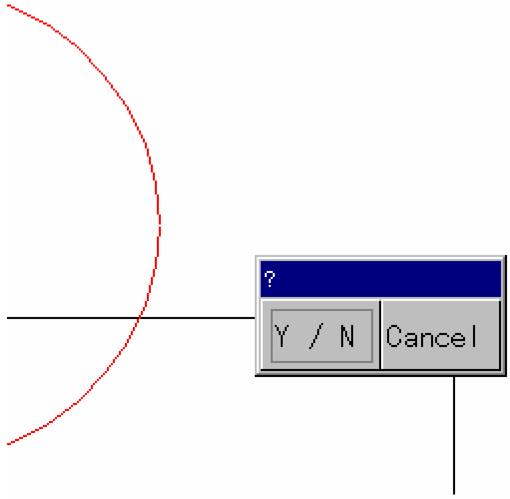
⑦［レイヤ］

以上の選択が終了したら［ＯＫ］を左クリックして下さい。
注記を記入することができます。

Ｂ．注記を書く

１）注記を書く図形要素の注記を書きたい（引き出し線を引き出す）場所を左クリックで指定します。

２）Ｙ／Ｎ Cancel ウインドが表示されますが、それは複数の作画要素が重なり合っている場合、赤色表示の要素でいいのか、悪いのかを聞いていますので、良ければ左クリック、悪ければ右クリック、あるいは Cancel を選択してください。

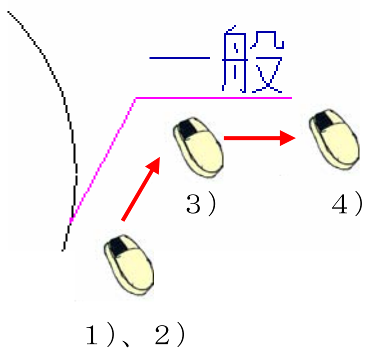


３）次に、マウスを移動し、引き出し線の角度、長さ等を指定し左クリックします。

４）今度は、文字や下線を右方向あるいは左方向に記入するか、マウスの移動で方向付けします。

５）場所が定まれば左ダブルクリックで確定してください。

６）引き続き、同じ内容の注記を書く場合は、以上の処理を繰り返して下さい。



７）注記の詳細変更や、注記の書き込みを終了する場合は、右クリックで作業ウインドを表示し該当作業を選択、処理して下さい。



C. 用語の登録

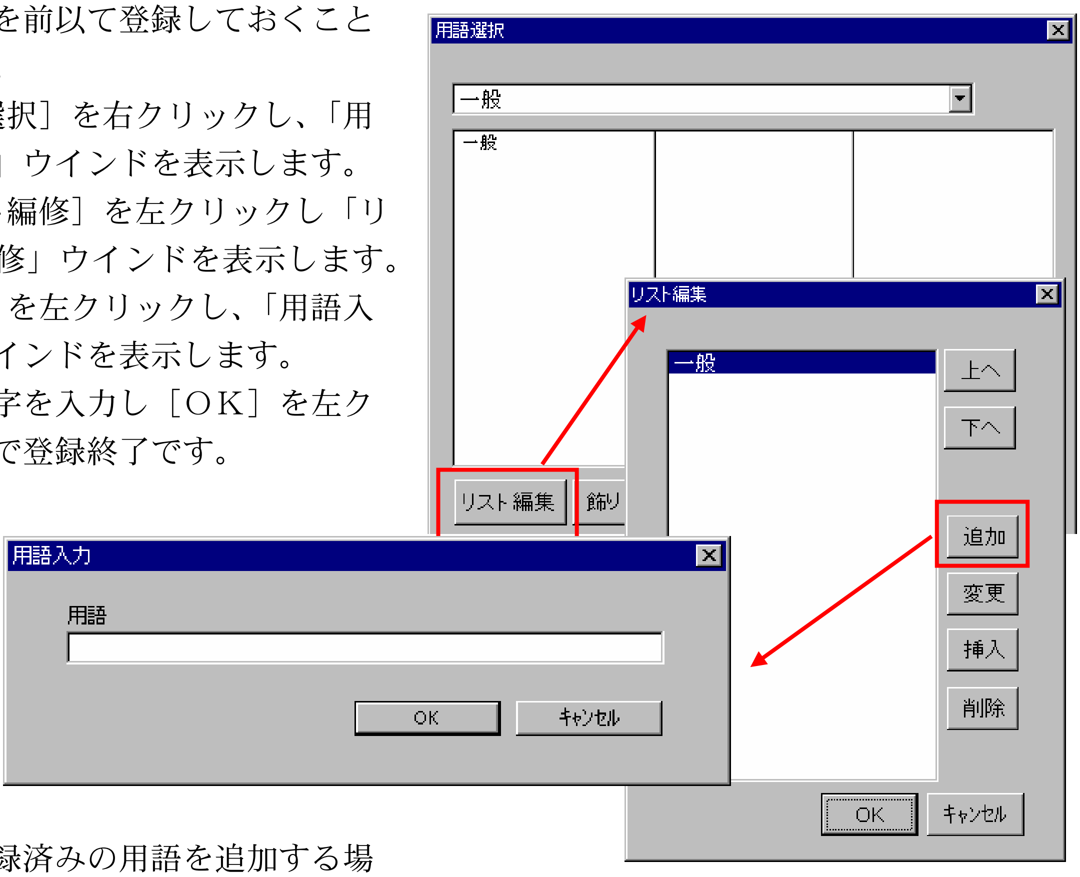
注記の用語を前以て登録しておくことが可能です。

1）［用語選択］を右クリックし、「用語一覧」ウインドを表示します。

2）［リスト編修］を左クリックし「リスト編修」ウインドを表示します。

3）［追加］を左クリックし、「用語入力」ウインドを表示します。

4）登録文字を入力し［ＯＫ］を左クリックで登録終了です。

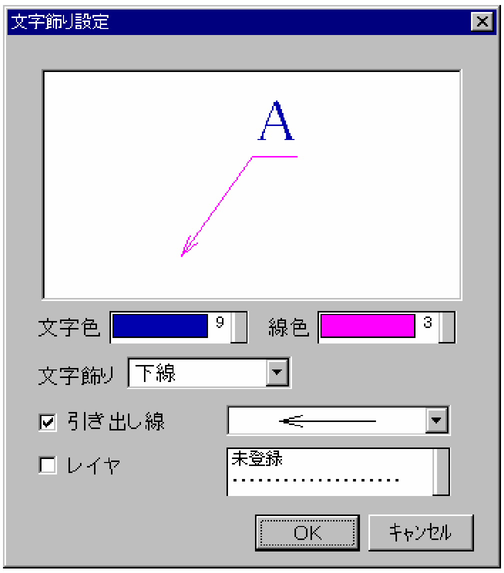


5）既に登録済みの用語を追加する場合は［挿入］を左クリック、訂正する場合は、訂正したい用語にカーソルを合わせ［変更］を左クリック、削除する場合は削除する用語にカーソルを合わせ［削除］を左クリックして下さい。

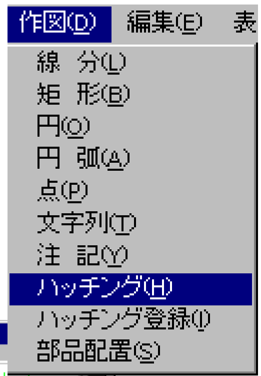
6）登録処理が終了したら「リスト編修」ウインドで［ＯＫ］を左クリックして下さい。

7）登録した用語の「飾り設定」の登録をします。「飾り設定」の登録をする「用語」にカーソルを合わせ、［飾り設定］を左クリック「文字飾り設定」ウインドを表示し、該当条件を選択・設定して［ＯＫ］を左クリックして下さい。

8）「文字飾り設定」登録が終了したら［ＯＫ］を左クリックし、登録作業を終了して下さい。



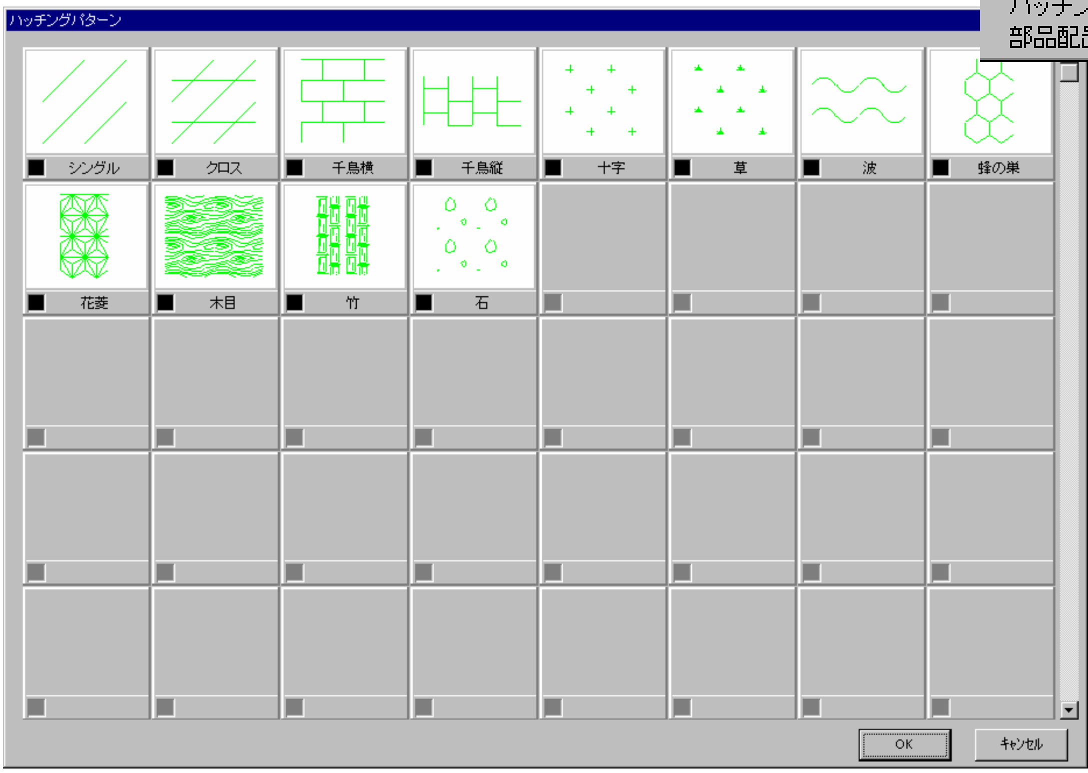
Ⅵ－８　ハッチング



A．ハッチング（模様）の詳細設定

1）アイコンの を左クリックするか、メニューバー［作図（D)］の［ハッチング（H)］を選択（左クリック）します。

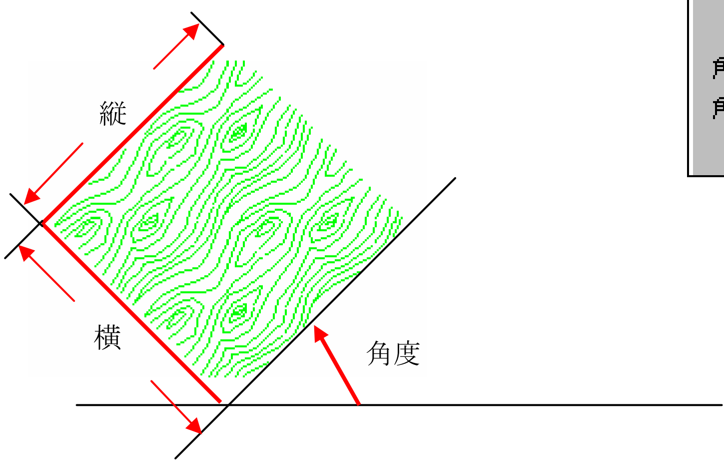
2）画面右に表示されているコマンドパネルの［種別］を左クリックすると「ハッチングパターン」ウインドが表示されます。



3）該当するハッチングパターンを左クリックし［ＯＫ］を左クリックして選択します。

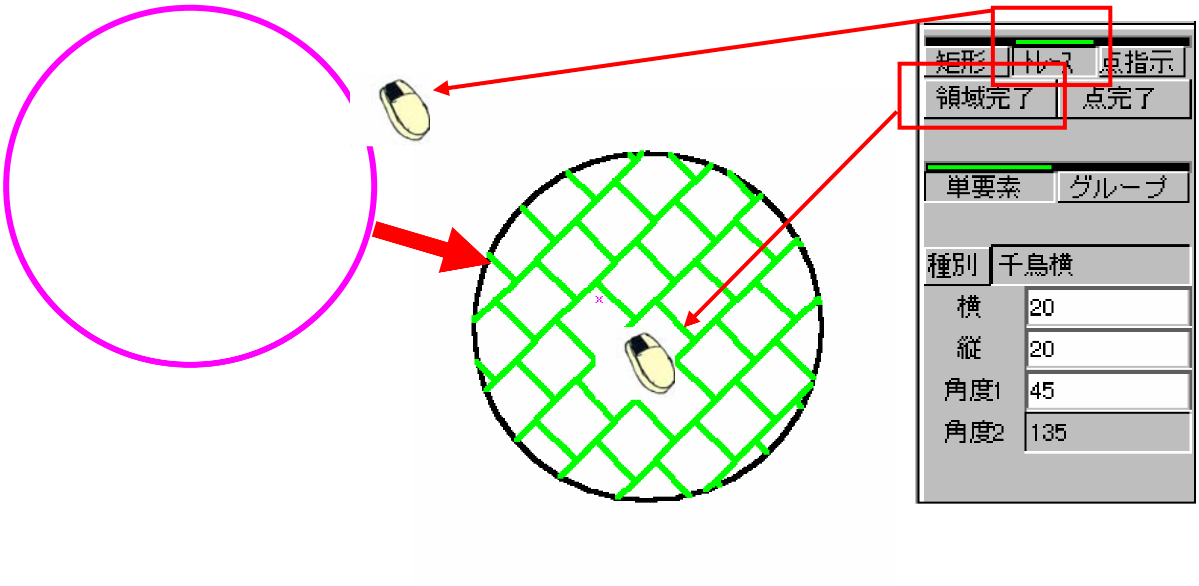
4）引き続き、ハッチングパターンのブロック（縦・横）サイズ、作図するときのハッチングの傾きを任意設定します。





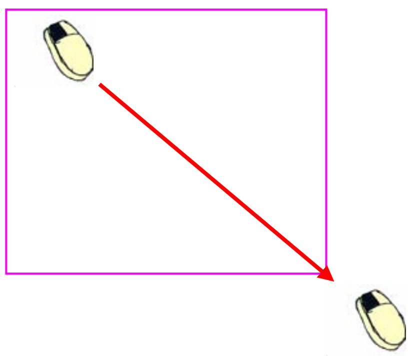
B．作図されている要素をハッチング（模様で塗りつぶす）

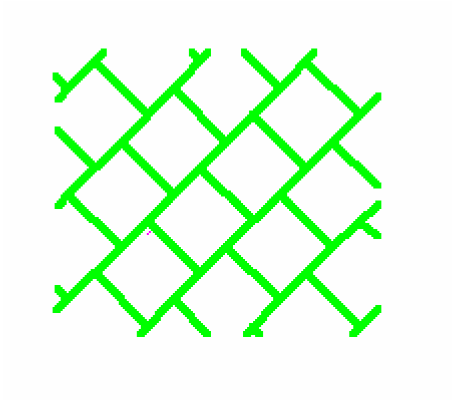
1）画面右に表示されているコマンドパネルの［トレース］を左クリックします。
2）ハッチングする、作図要素を左クリック。
3）コマンドパネルの［領域完了］を左クリックすると、カーソルがハッチングパターンを連れてきますので、作図要素のハッチング（塗りつぶし）領域内で左クリックすると、領域内が選択したハッチングパターンで塗りつぶされます。

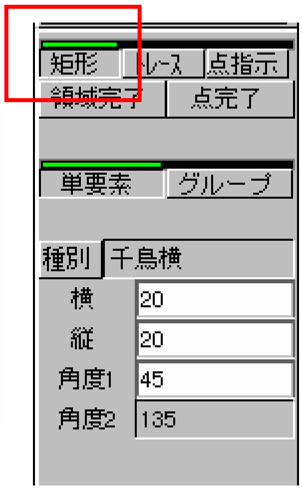


C．任意の矩形領域をハッチング

１）画面右に表示されているコマンドパネルの［矩形］を左クリックします。
２）マウスを動かせ、矩形を書くように２点で左クリックしピンク表示の矩形を作画します。
３）コマンドパネルの［領域完了］を左クリックすると、カーソルがハッチングパターンを連れてきますので、作図要素のハッチング（塗りつぶし）領域内で左クリックすると、領域内が選択したハッチングパターンで塗りつぶされます。





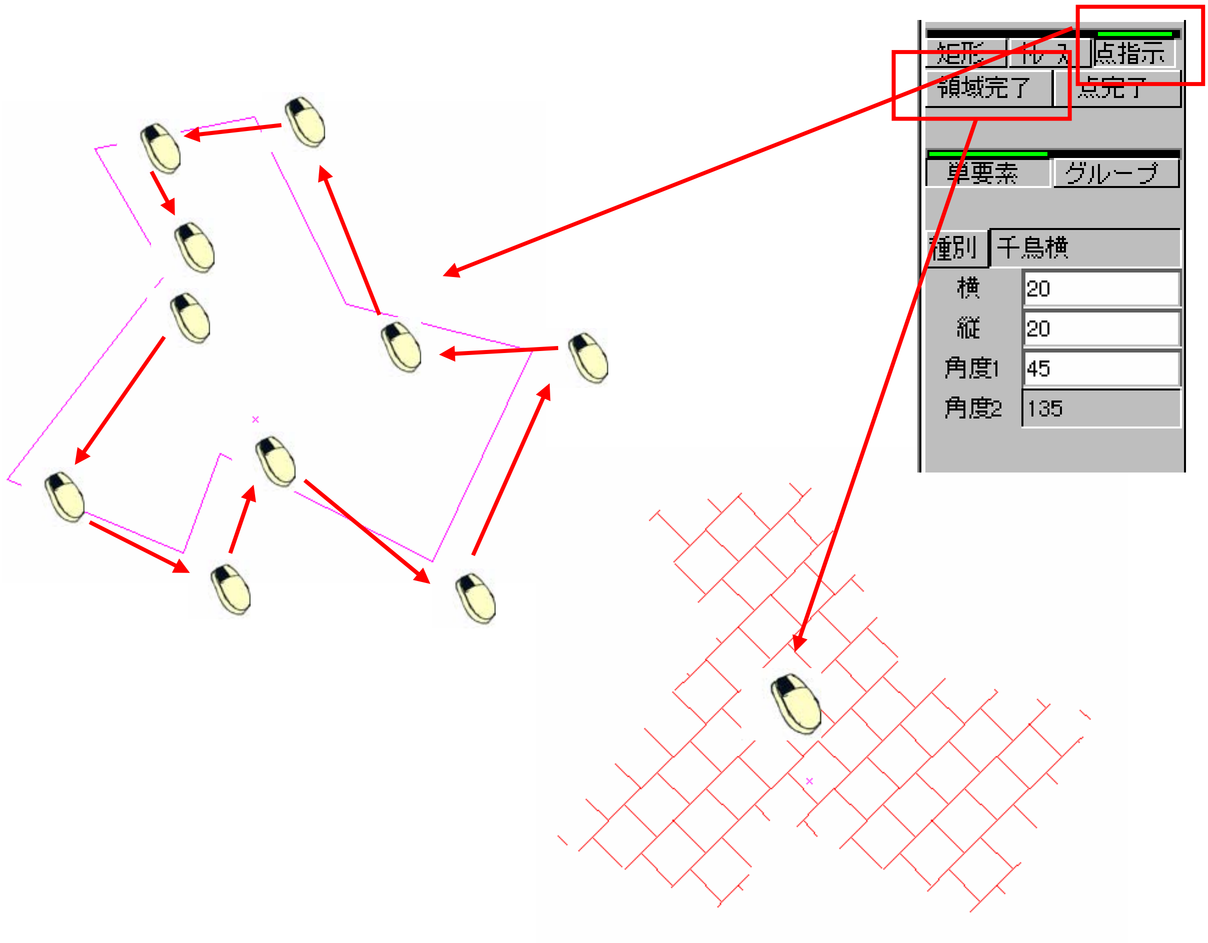


D. 任意の領域をハッチング（模様で塗りつぶす）

１）画面右に表示されているコマンドパネルの［点指示］を左クリックします。

２）角毎に左クリックし任意の形を作画します。

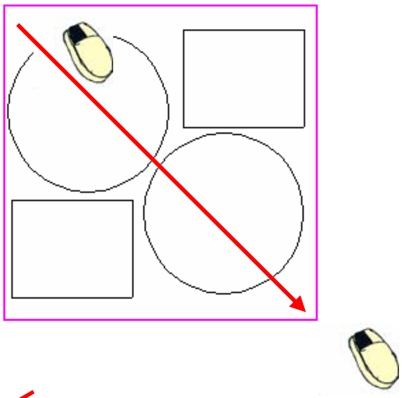
３）コマンドパネルの［領域完了］を左クリックすると、カーソルがハッチングパターンを連れてきますので、作図要素のハッチング（塗りつぶし）領域内で左クリックすると、領域内が選択したハッチングパターンで塗りつぶされます。



Ⅵ－９　ハッチングの登録

ハッチングの種別一覧ウインドに新たなハッチングパターンを登録する方法です。

Ａ．ハッチング（模様）の作成登録

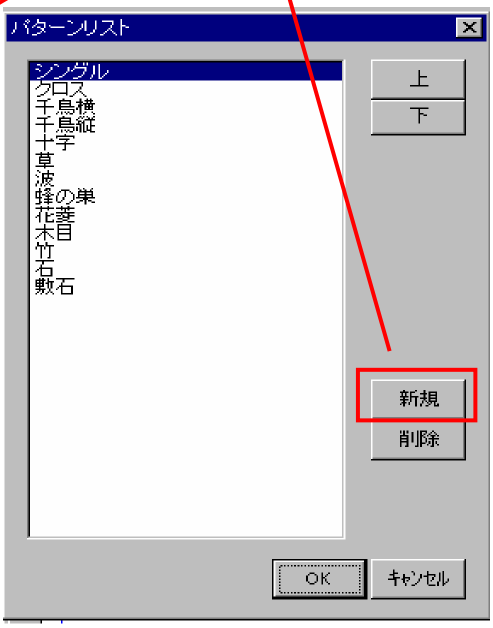


１）ＣＡＤの作図機能を使用して登録したい模様を作成します。
　　大きめに作成して下さい。

２）メニューバー［作図（D）］［ハッチングの登録（I）］を選択（左クリック）すると「パターンリスト」ウインドが表示されます。

３）［新規］を選択し、登録する模様パターンをカーソルで矩形指定すると、「パターン登録」ウインドが表示されます。

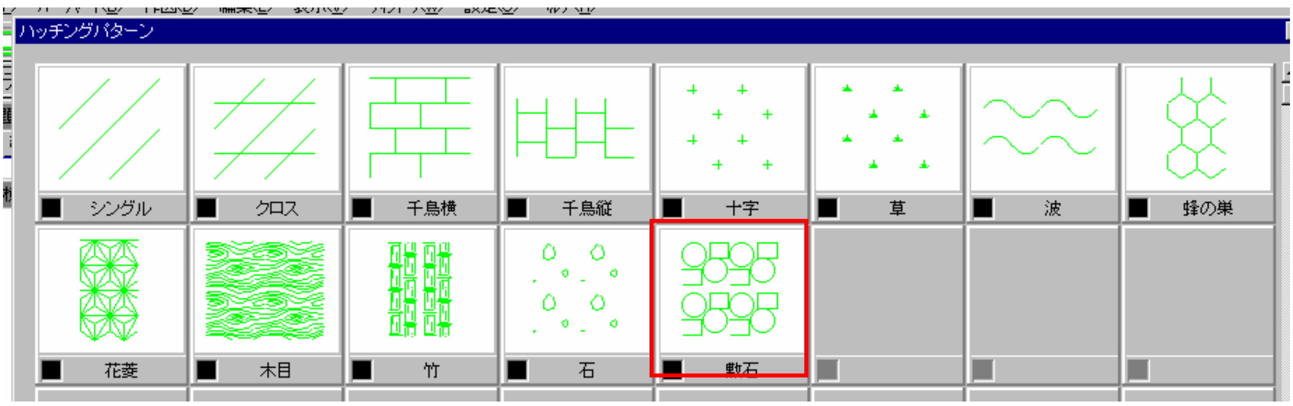
４）登録パターンの登録名を入力し［ＯＫ］で新規登録されます。





５）「パターンリスト」ウインドが表示されますので、
　　［ＯＫ］を選択し終了して下さい。

６）「ハッチングパターン」ウインドに追加登録されます。



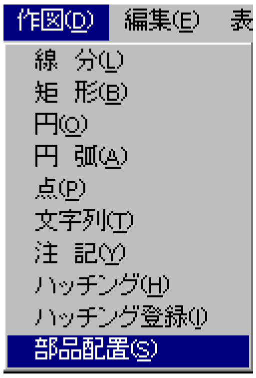
Ⅵ－１０　部品配置

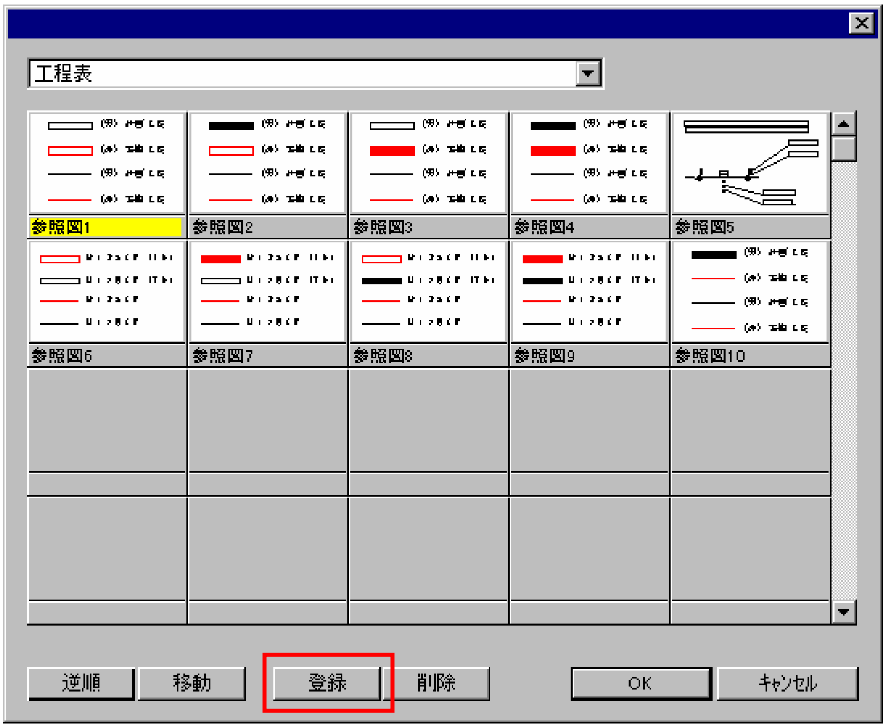
日常繰り返し使用する図形や文字列を部品として登録しておくことができます。

A．部品の作成と登録

1）部品として登録する図形または文字列を作成しておきます。

2）アイコンの を左クリックするか、メニューバー［作図（D）］の［部品配置（S）］を選択（左クリック）し「参照図」一覧ウインド表示します。

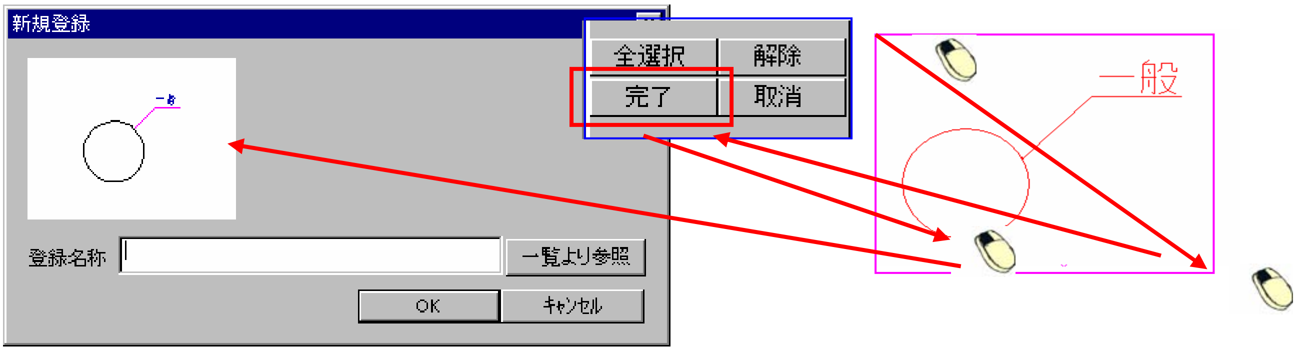




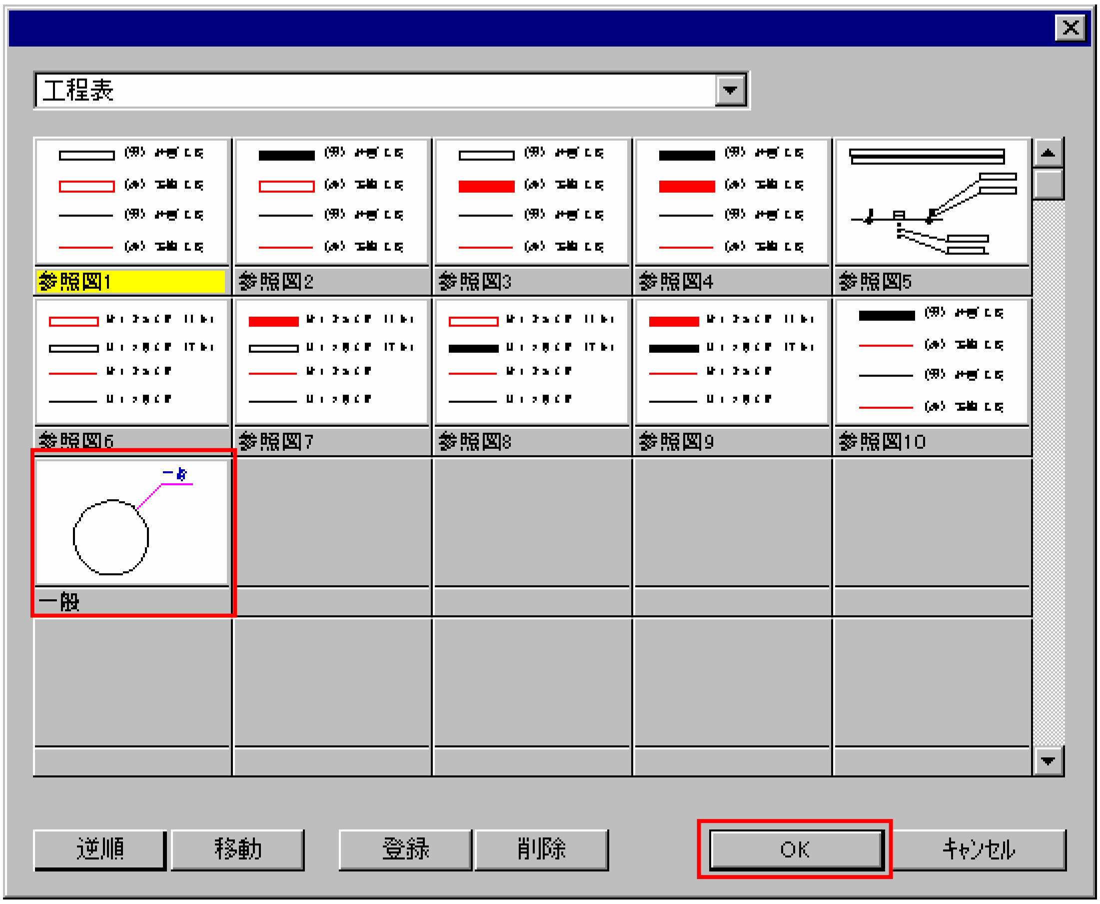
3）［登録］を左クリックすると「シンボル登録」メッセージウインドが表示されますので［ＯＫ］を左クリックして下さい。



4）登録する図形または文字列をカーソルで矩形指定し、コマンドパネルの［完了］を選択した後、原点になる位置を左クリックで指定すると「新規登録」ウインが表示され矩形指定した図形・文字列が取込まれます。



5）登録名称を入力し、［ＯＫ］で一覧ウインド表示に追加されたのを確認し再度［ＯＫ］で終了して下さい。

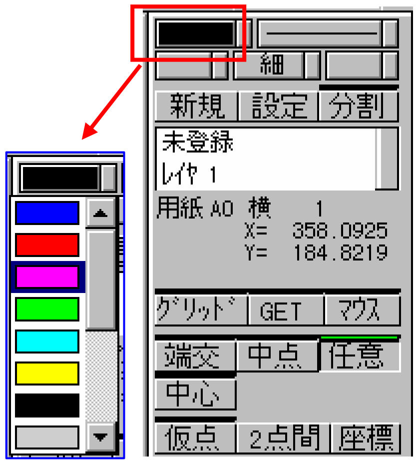


第Ⅶ章　ＣＡＤ機能、制御機能

Ⅶ－１　システムパネル（色・線種・線幅等）の指定

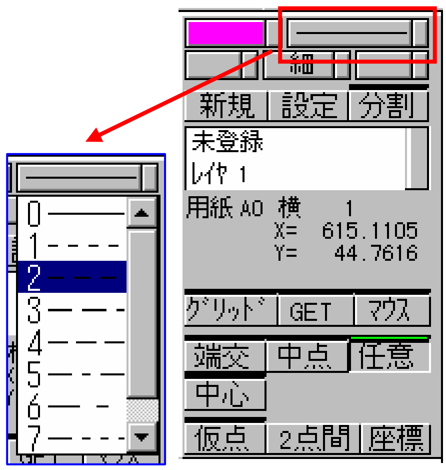
A．図形・文字列の色の選択指定

図形・文字列の作図色の選択指定ができます。
システムパネルの［色表示］を左クリックし、カラー見本を表示、該当色を選択して下さい。



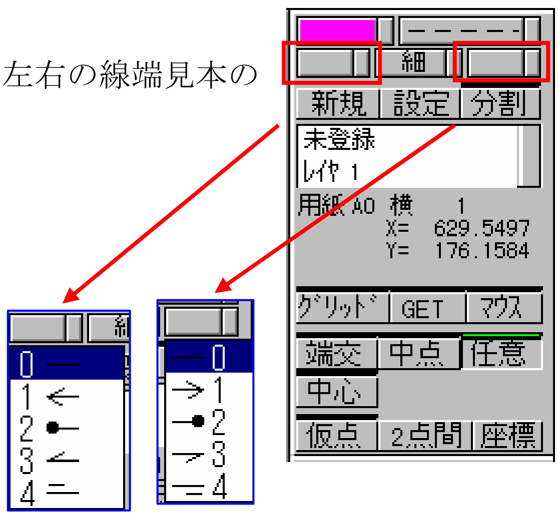
B．線種の選択

システムパネルの［線種］を左クリックし、線種見本の中から該当する線種を選択して下さい。



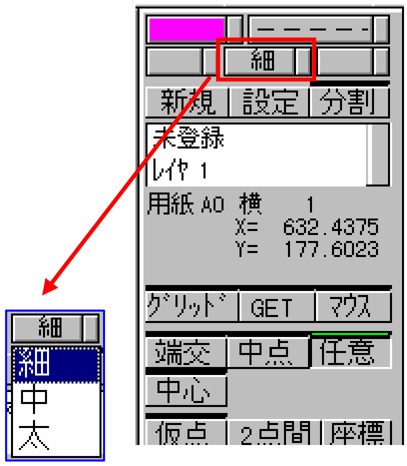
C．始点線端の選択

システムパネルの［(左右) 無印］を左クリックし、左右の線端見本の中から該当する線端を選択して下さい。



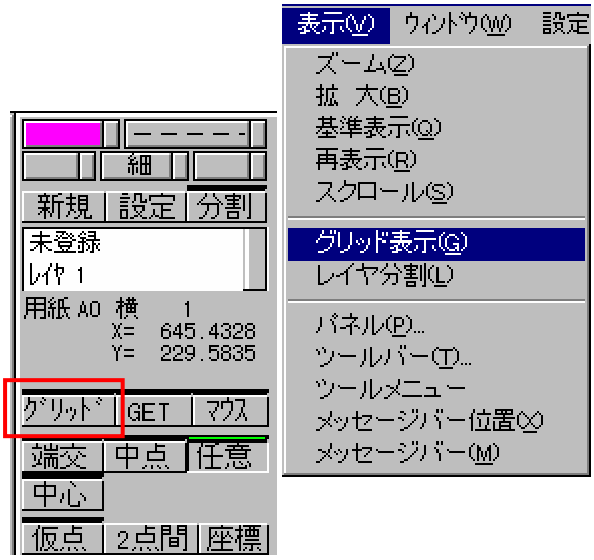
Ｄ．線幅の選択

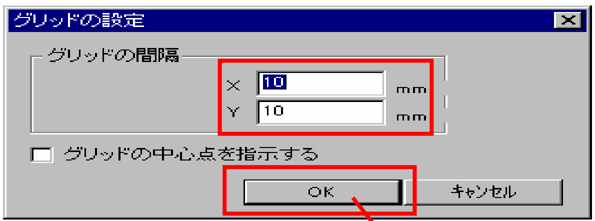
システムパネルの［線幅］を左クリックし、細・中・太の線幅の中から該当する線幅を選択して下さい。

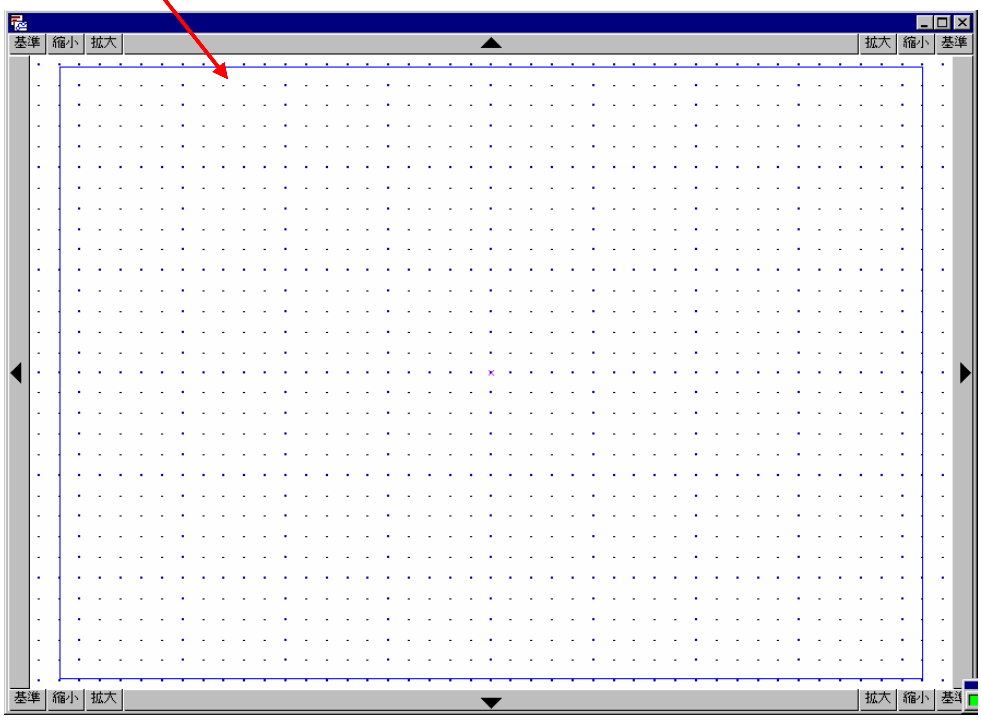


Ｅ．グリッドの表示

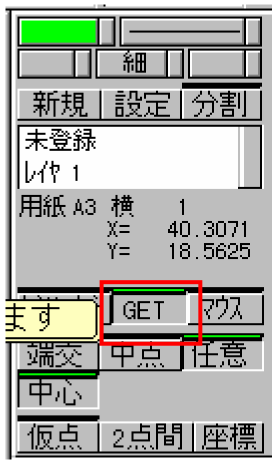
メニューバー［表示（V）］［グリッドの表示（G)］を選択するか、システムパネルの［グリッド］を左クリックし、「グリッドの設定」ウインドを表示し任意で「グリッドの間隔」を入力し［ＯＫ］でグリッド（点での升目表示）表示されます。







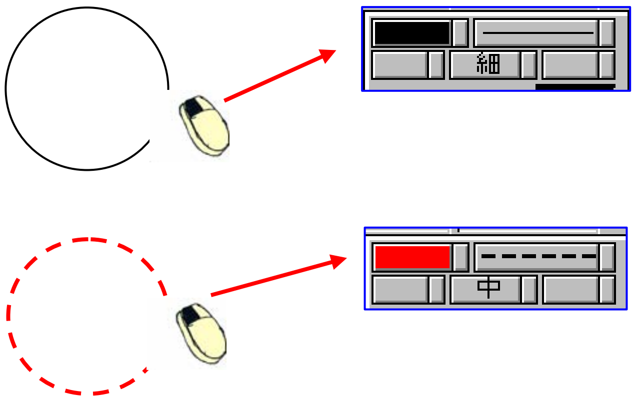
Ｆ．［ＧＥＴ］



指定した要素の属性を取込む事ができます。

１）［ＧＥＴ］を選択し緑色表示にします。

２）属性を取込みたい要素を左クリックすると、その要素と同じ属性が取込めます。

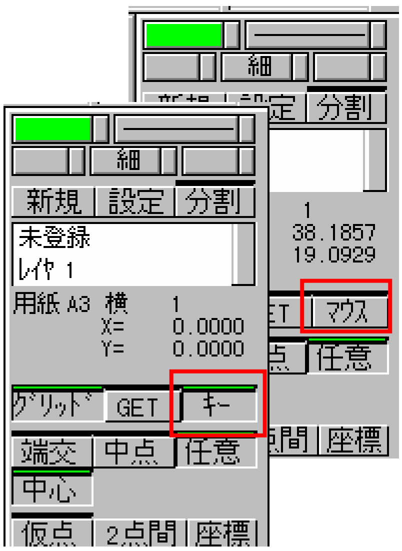


Ｇ．［マウス／キー］

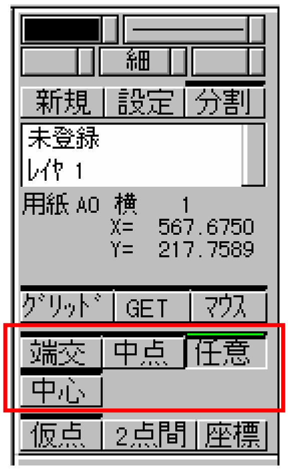
マウス使用を主にして運用するのか、キーボードを使用して運用するのか選択します。

キーボード操作での使用方法は一部を除き省略させていただきます。

一部につきましては、後で説明しています。



H. 点の検出



システムパネルの［キー］を選択（緑色バー表示）することにより、さまざまな機能にかわれます。

［端交］

マウスを移動し左クリックで作画上の要素を認識する場合に、要素の端（端点）あるいは、複数の要素の交わり（交点）を認識するようになります。

［中点］

マウスを移動し左クリックで作画上の要素を認識する場合に、要素真ん中（中点）を認識するようになります。

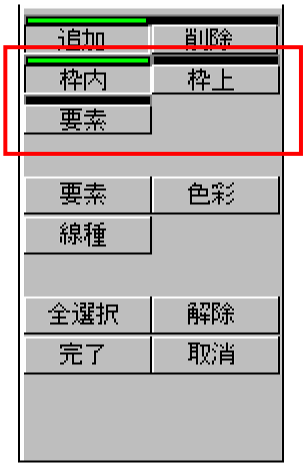
［任意］

マウスを移動し左クリックで作画上の要素を認識する場合に、なにも制限を受けないで認識するようになります。

［中心］（円の場合）

マウスを移動し左クリックで作画上の要素を認識する場合に、要素の中心点を認識するようになります。

Ⅶ－２　編修機能

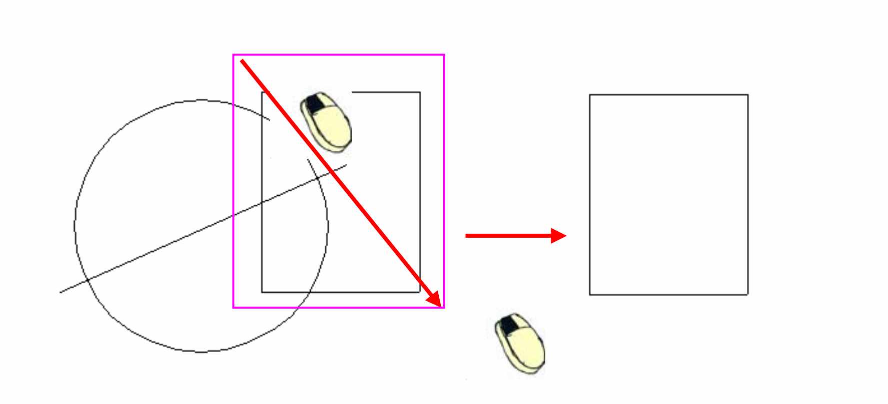


A．複写

1）アイコン を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［複写（C）］を選択するとコマンドパネルが表示されますので［枠内］［枠上］［要素］の３方式の中から複写方法を選択して下さい。

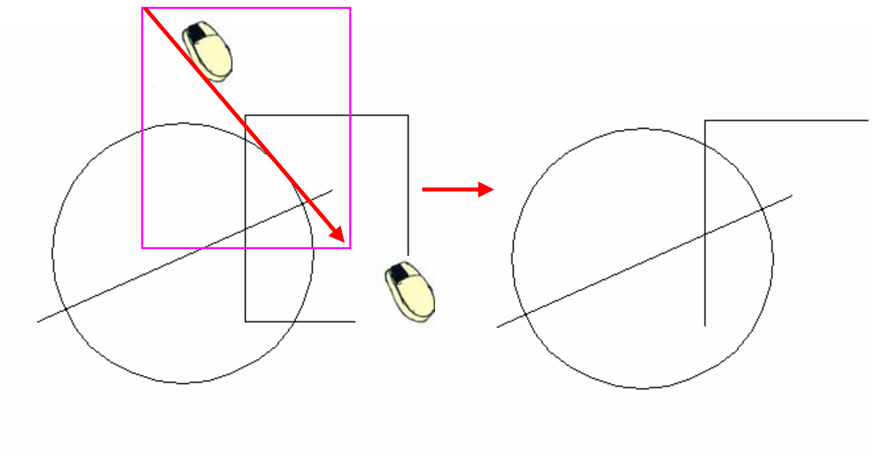
［枠内］複写

複写したい要素を赤色矩形枠で選択する時、赤色矩形枠内に収まっている要素全てが複写対象となります。



［枠上］複写

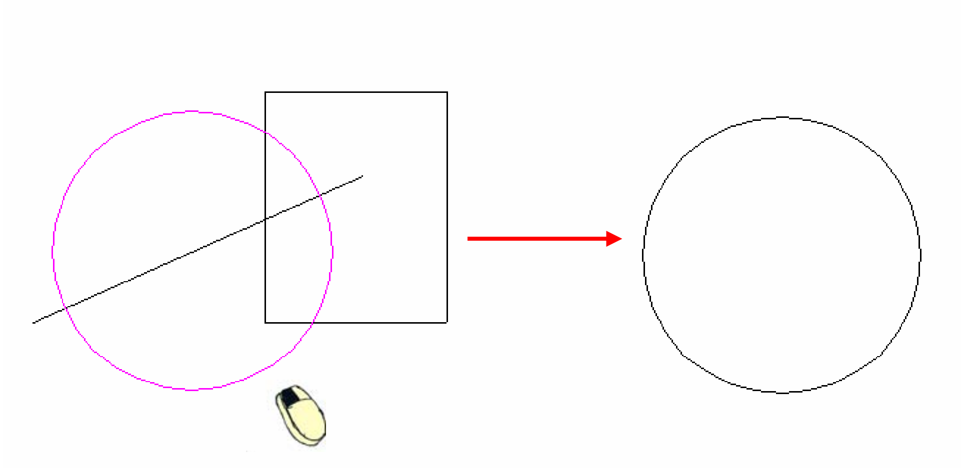
複写したい要素を赤色矩形枠で指定する場合、要素の一部が赤色矩形枠と交わっているもの全ての要素が複写対象になります。



※　矩形は４つの直線要素で作られています。

［要素］複写

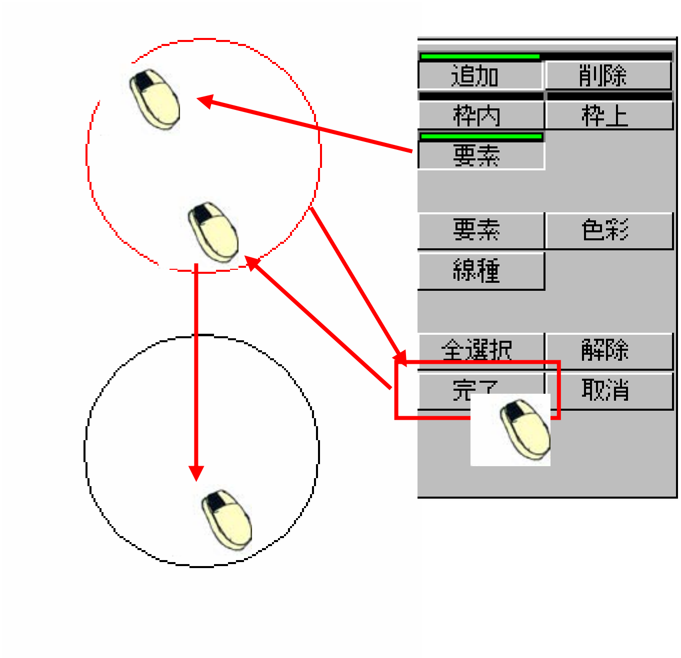
カーソルで（左クリック）指定した要素だけが複写対象となります。



2）複写対象の要素をいづれかの方法で指定すると、指定された要素は赤色表示となりますので、コマンドパネルの［完了］を選択（左クリック）します。

3）次に複写元の要素の近辺を左クリックし、複写元の基点とします。

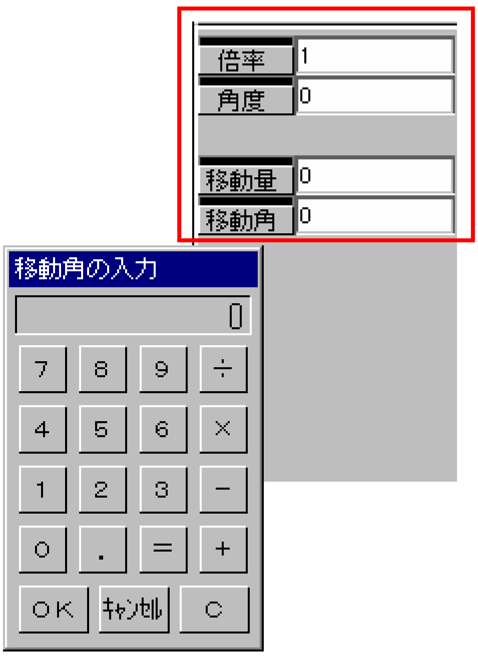
4）複写先にカーソルを移動し、左クリックで複写元の基点を基点として複写されます。



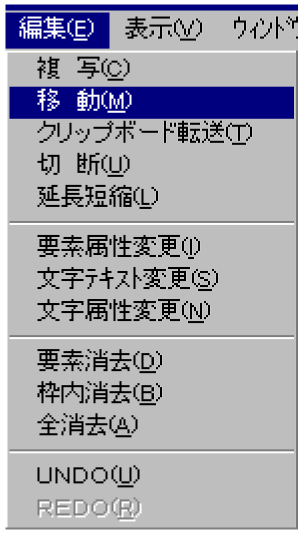
5）複写の終了は【Esc】キーを押すか、右クリックで、作業ウインドを表示し［コマンド終了］を選択して下さい。



６）上記の他、［倍率］［角度］［移動量］［移動角］を予め数値で指定しておいてから複写することも可能です。
複写手順は、［完了］を選択すると、数値入力欄が表示されますので、それぞれ任意の数値を電卓表示から入力後、作画画面上で左クリックして下さい。
任意の数値の条件で複写されます。



Ｂ．移動



1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［移動（M）］を選択するとコマンドパネルが表示されますので［枠内］［枠上］［要素］の３方式の中から移動方法を選択して下さい。

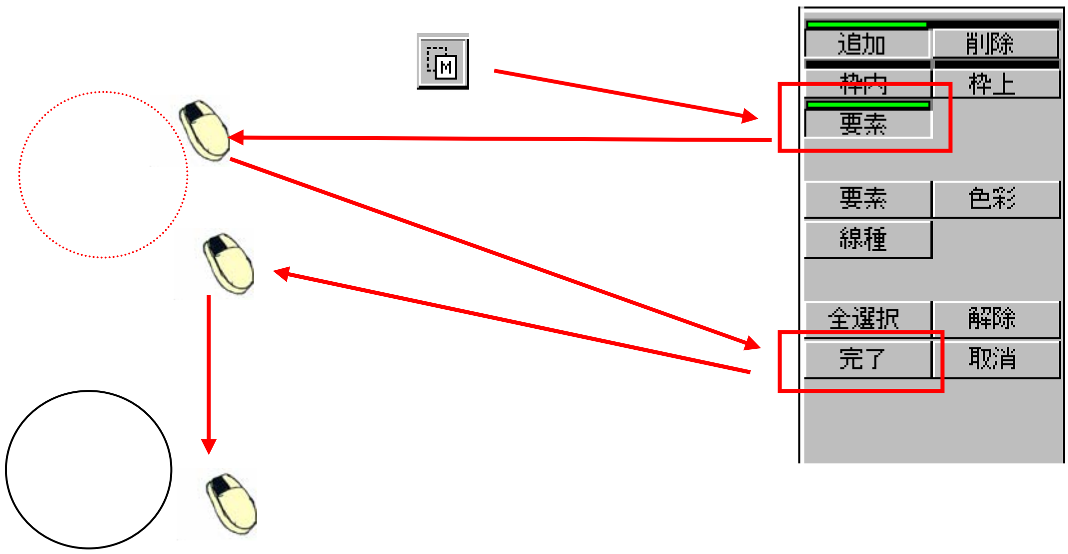


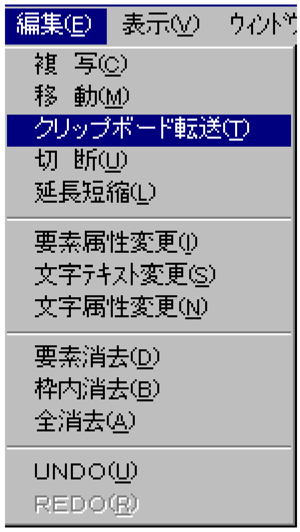
2）いづれかの方法で要素を指定し、赤色表示に変わったらコマンドパネル［完了］を左クリックして下さい。

3）図形画面の任意の場所を左クリックすると、移動対象の図形を捕まえますので、任意の異動先に移動し左クリックで確定して下さい。

4）作業の終了は【Esc】または右クリックで［コマンド終了］を選択して下さい。

5）複写同様予め任意の数値を入力し移動先を決定することもできます。

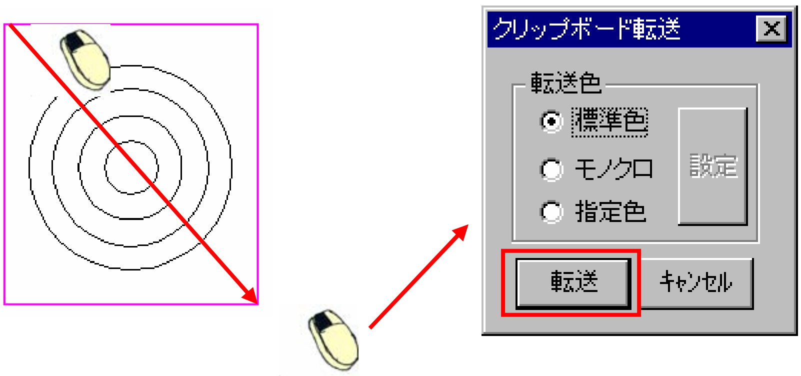


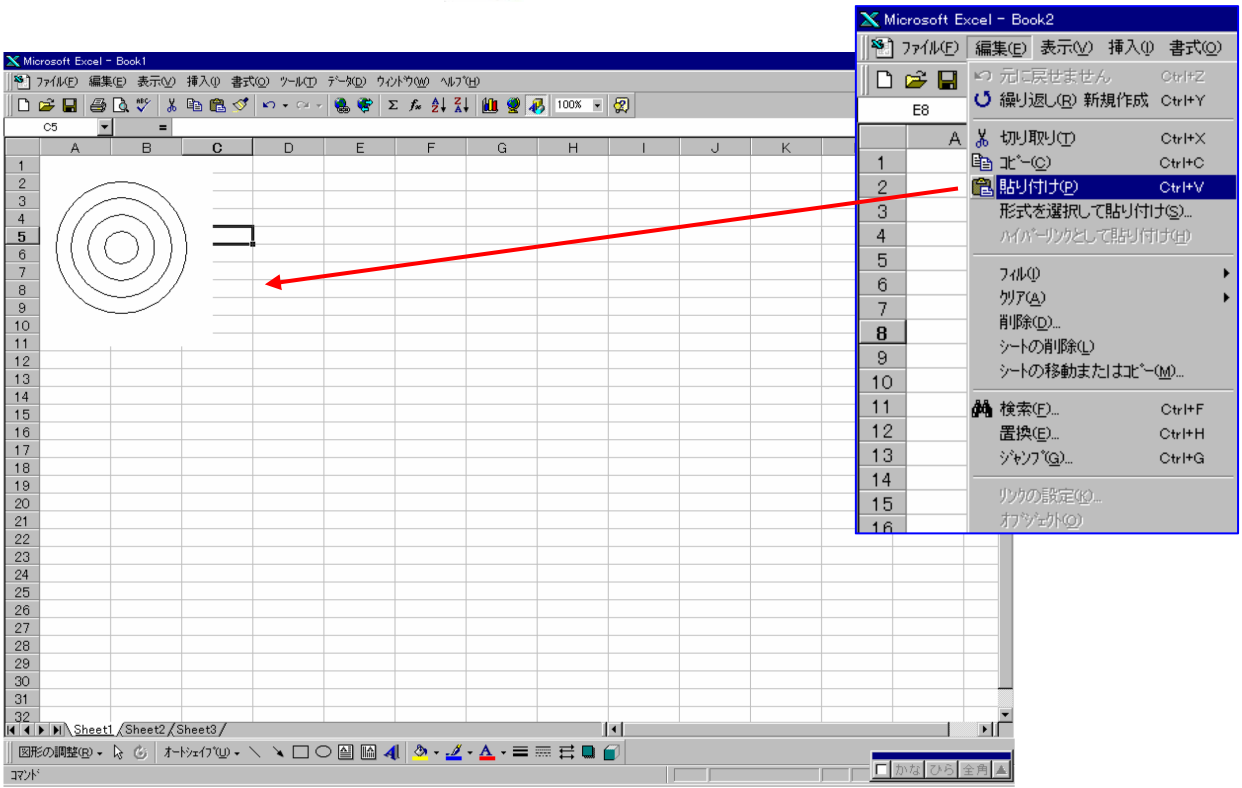


C．クリップボード転送

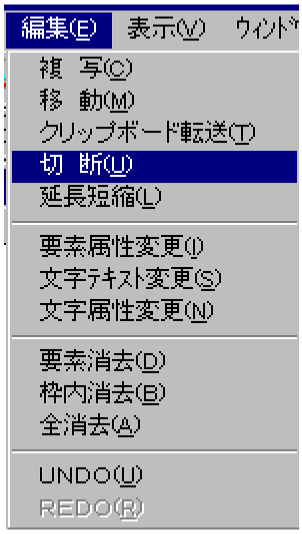
ＣＡＤで作成したデータを他のＷｉｎｄｏｗｓソフトに転送利用する処理です。

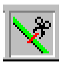
1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E)］［クリップボード転送（M)］を選択します。
2）転送したい要素を矩形指定すると、「クリップボード転送」ウインドが表示されます。
3）転送先がカラープリンタ出力の場合は、［標準色］または［指定色］を、その他のプリンタの場合は［モノクロ］または［指定色］を選択し［転送］を左クリックして下さい。
4）転送先プログラムを立ち上げます。
5）［編集］［張り付け］を選択すると、転送データが表示します。





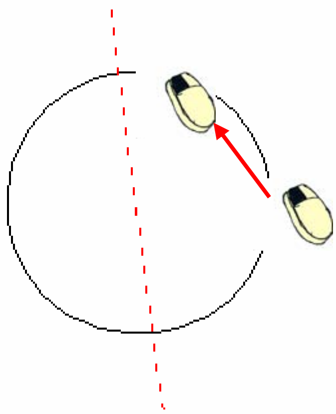
D．切断



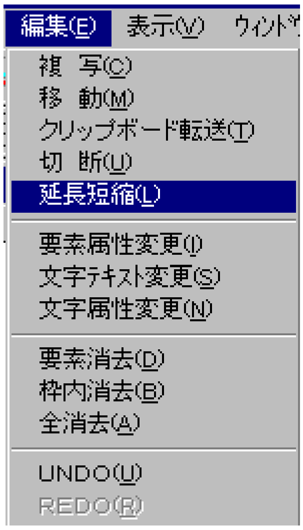
1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［切断（U）］を選択します。

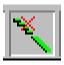
2）切断する要素を選択（左クリック）します。

3）切断箇所を左クリックします。

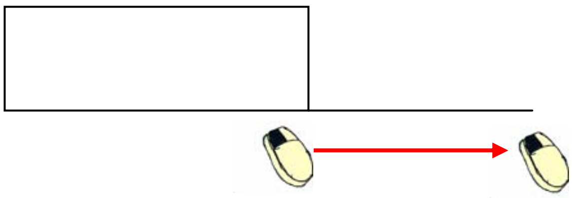


E．延長短縮（L）

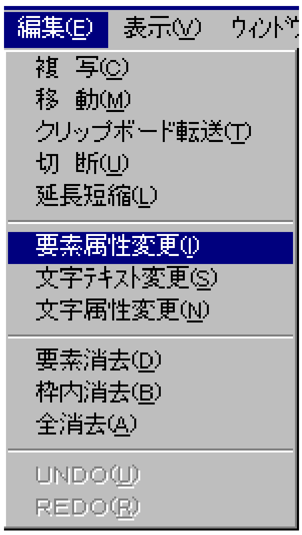


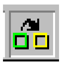
1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［延長短縮（L）］を選択します。

2）延長短縮対象の要素を選択し、カーソルを移動し延長（短縮）し、左クリックで確定します。



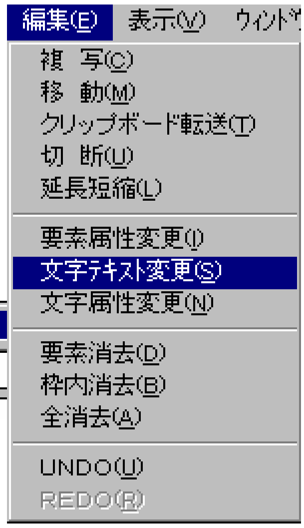
F．要素属性変更（I）



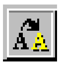
1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［要素属性変更（I）］を選択します。

2）コマンドパネルの［枠内］［枠上］［要素］のどれかを選択し、変更する要素を指定し、［完了］を左クリックして下さい。

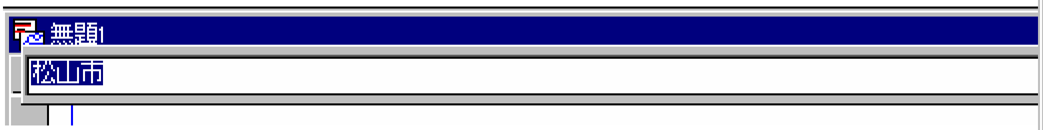
3）コマンドパネルに指定した要素の属性が表示されますので、変更の必要がある属性を選択し、選択した属性に関係したシステムパネルの項目を変更し［完了］で「要素属性変更」が終了します。



G．文字テキスト変更（S）

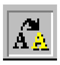
1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［文字テキスト変更（S）］を選択します。

2）変更する文字列を左クリックで指定すると、文字入力枠に指定した文字が表示されます。



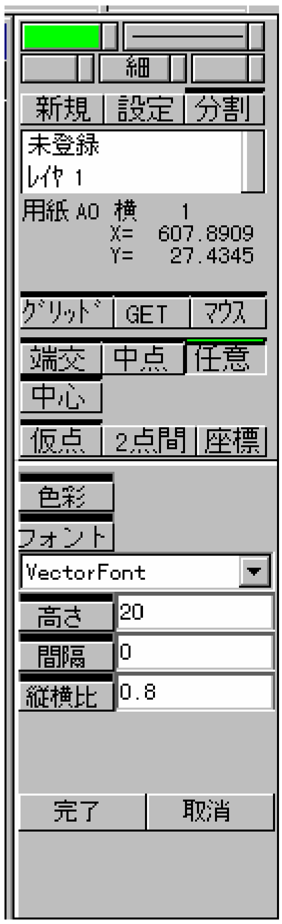
3）訂正入力後、【Esc】または、右クリックで作業ウインドを表示し［コマンド終了］を左クリックして終了して下さい。

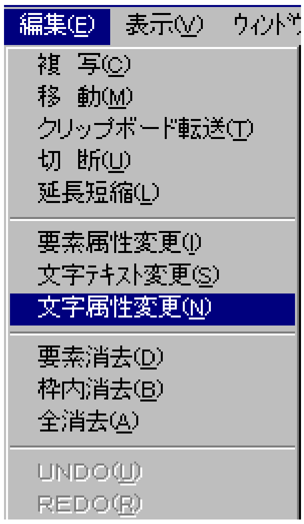
H．文字属性変更（N）

1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E）］［文字属性変更（N）］を選択します。

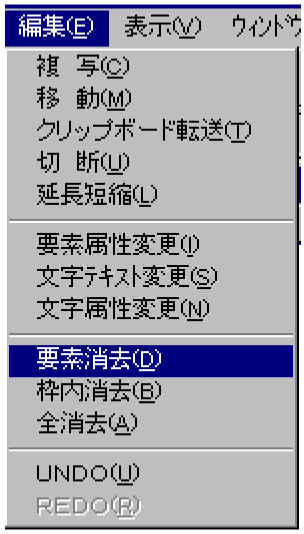
2）属性変更の文字列を［枠内］［枠上］［要素］のどれかの方法で指定し［完了］を左クリックします。

3）システムパネル、コマンドパネルに表示されている文字属性の中で変更の必要なものについて変更を加え［完了］を左クリックすると、文字の属性が変更されます。



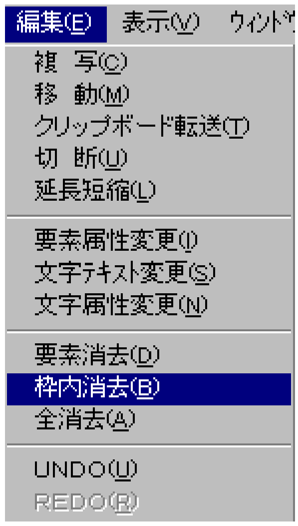


I. 要素消去（D）



1）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［編修（E)］［要素消去（D)］を選択します。
2）消去したい要素を左クリックするとその要素は消去されます。
3）消去処理終了時には、【Esc】または、右クリックで作業ウインドを表示し［コマンド終了］を左クリックして終了して下さい。

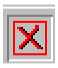
J. 枠内消去（B）



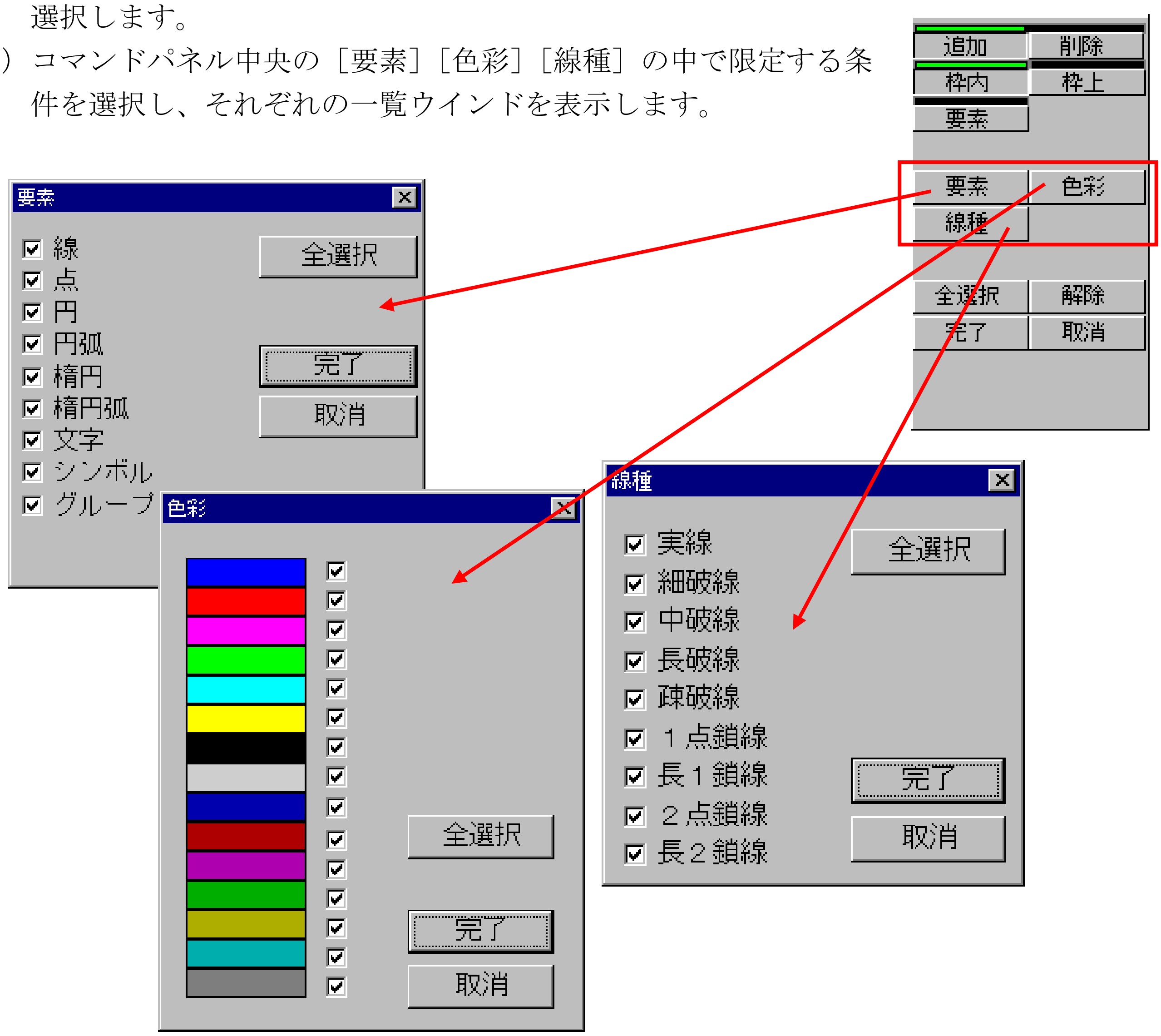
1）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［編修（E)］［枠内消去（B)］を選択します。
2）コマンドパネルの［枠内］［枠上］［要素］のどれかの方法で指定し［完了］を左クリックで消去されます。
3）消去処理終了時には、【Esc】または、右クリックで作業ウインドを表示し［コマンド終了］を左クリックして終了して下さい。

ちょっと一言！

［枠内消去（B)］を選択した場合、消去する要素を限定できます。
例えば、形で選択したり、線種で選択したり、色で選択したりできます。

1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E)］［枠内消去（B)］を選択します。

2）コマンドパネル中央の［要素］［色彩］［線種］の中で限定する条件を選択し、それぞれの一覧ウインドを表示します。



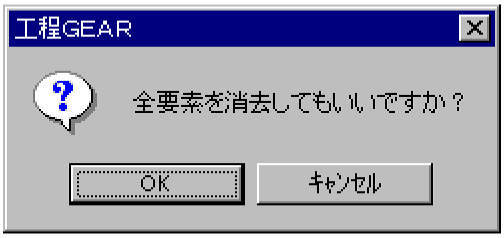
3）それぞれの要素名の右にチェックマークが付いていますので、限定しない要素のチェックマークを左クリックで消去し、［完了］を左クリックして下さい。

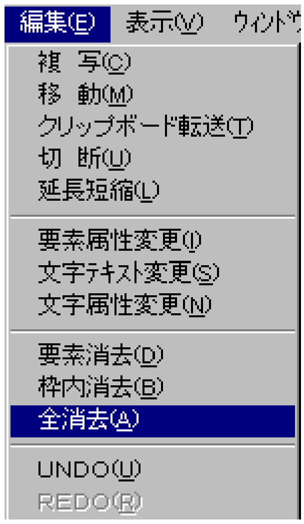
4）これで、限定したものだけが消去されます。

K. 全消去（A）

1）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［編修（E)］［枠内消去（B)］を選択します。

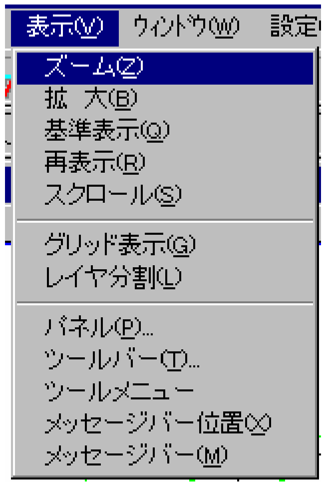
2）確認ウインドが表示されますので、全消去ＯＫなら［ＯＫ］を左クリックして全要素の消去をして下さい。



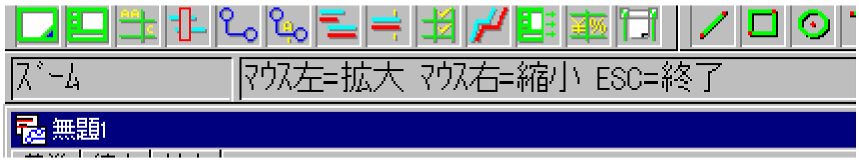


Ⅶ－３　画面（表示）の制御

Ａ．ズーム（Z）

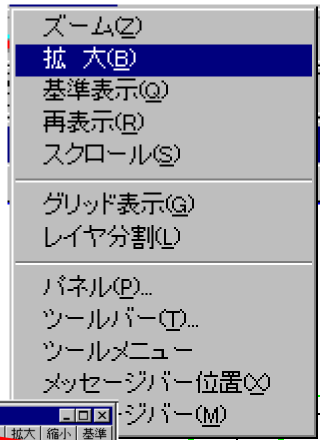


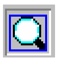
１）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［表示（V）］［ズーム（Z）］を選択すると、メッセージバーに「マウス左＝拡大」「マウス右＝縮小」「ESC＝終了」のメッセージが表示されます。

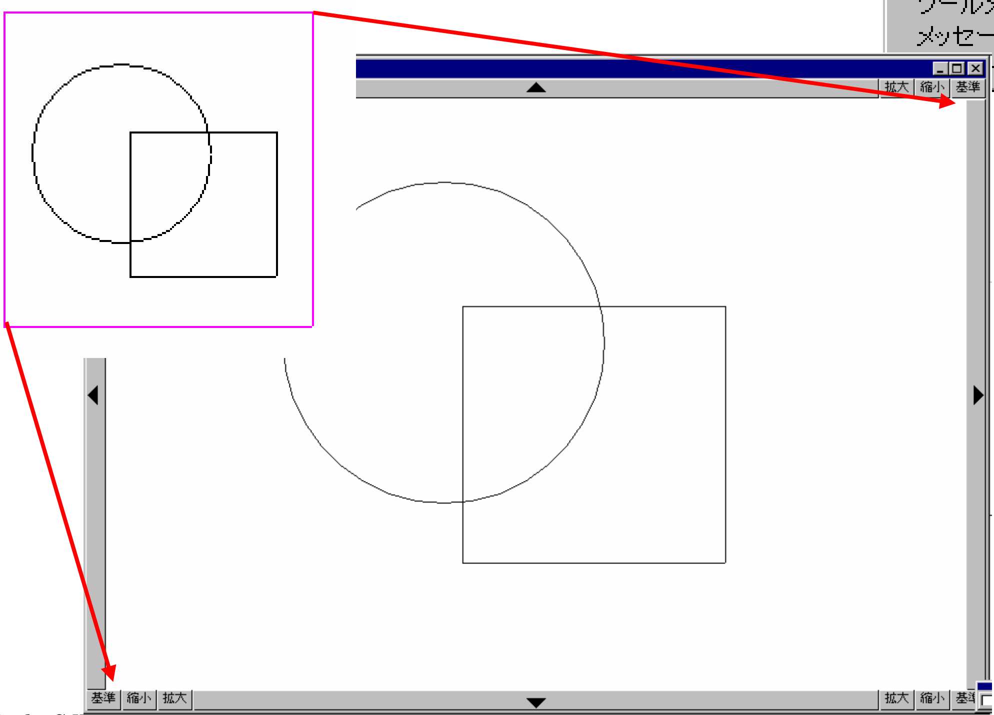


２）メッセージ通り、左クリックで表示が拡大、右クリックで表示が縮小されます。
３）この時、画面はクリックした場所を画面中央に再表示します。
４）コマンドの終了は【Esc】で行って下さい。

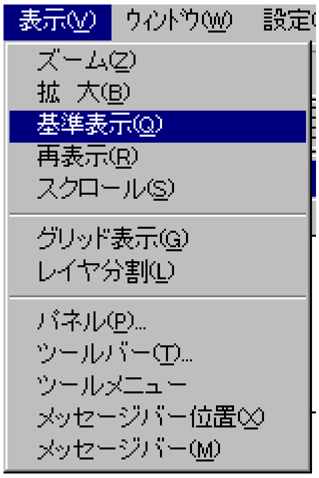
Ｂ．拡大（B）



１）アイコン  を左クリックするか、メニューバー［表示（V）］［拡大（B）］を選択します。
２）拡大（画面いっぱいに表示）したい部分を矩形していします。
３）矩形指定時の２回目の左クリックで拡大表示します。



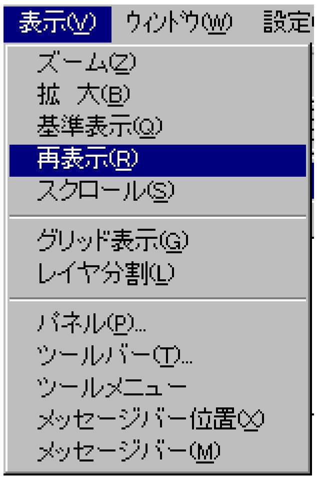
C．基準表示（Q）



1）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［表示（V)］［基準表示（Q)］を選択します。

2）ズームや拡大表示で、拡大（縮小）表示されている画面を通常（標準）の表示に戻ります。

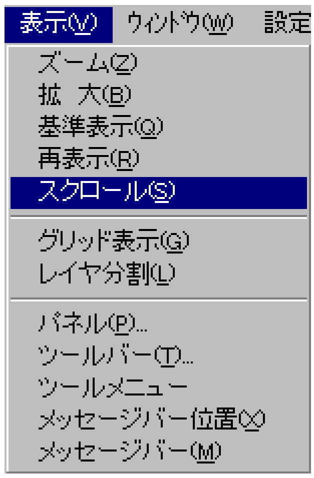
D．再表示（R）



ソフト運用途中、不自然な画面表示となった場合にこの機能をご利用下さい。
自然な表示に変わります。

1）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［表示（V)］［再表示（R)］を選択します。

E．スクロール（S）

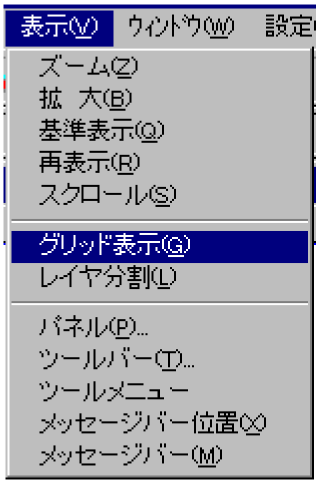


1）アイコン　を左クリックするか、メニューバー［表示（V)］［スクロール（S)］を選択します。

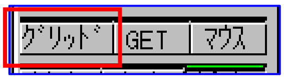
2）画面上の任意の場所を左クリックすると、その場所が画面の中心に来るように再表示されます。

3）画面をスクロールシタ後、【Esc】または、右クリックで作業ウインドを表示し［コマンド終了］を左クリックして終了して下さい。

Ｆ．グリッド表示（G）

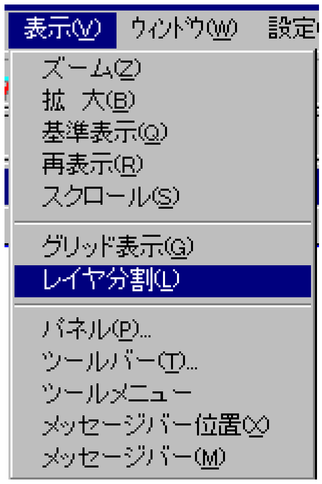


「Ｖ－１　システムパネル」「Ｅ．グリッド」の説明をご参照下さい。



１）メニューバー［表示（V）］［グリッド表示（G）］を選択します。

Ｇ．レイヤ分割



レイヤを利用している場合に、全てのレイヤを一度に（平面的に）縮小表示させれます。

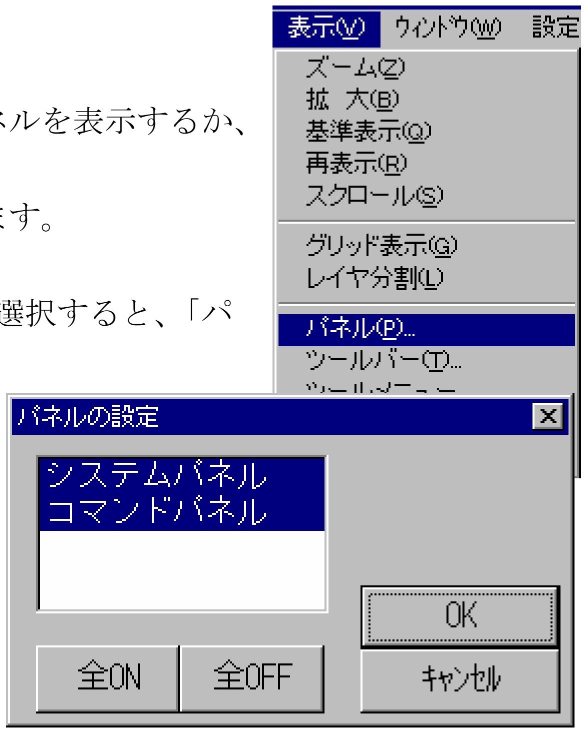
１）メニューバー［表示（V）］［レイヤ分割（L）］を選択します。

Ｈ．パネル

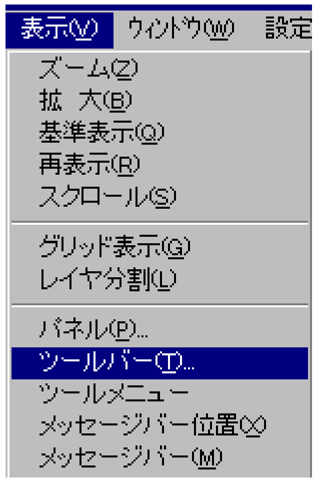
システムパネル､コントロールパネル､コマンドパネルを表示するか、しないかの設定をします。
表示しなければ、その分作図画面が広く利用できます。

１）メニューバー［表示（V）］［パネル（P）］を選択すると、「パネルの設定」ウインドが表示されます。

２）表示するツールバー名を選択（青色表示）したあと、［ＯＫ］を　　選択するか［全ＯＮ］［全ＯＦＦ］の選択をし、［ＯＫ］を左クリックして下さい。



Ｉ．ツールバー



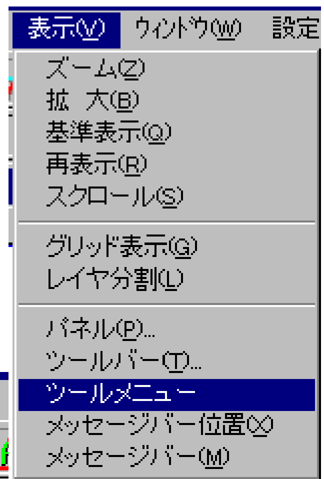
ツールバーを表示するか、しないかの設定をします。
表示しなければ、その分作図画面が広く利用できます。

１）メニューバー［表示（V）］［ツールバー（T）］を選択すると、「ツールバーの設定」ウインドが表示されます。

２）表示するツールバー名を選択（青色表示）したあと、［ＯＫ］を選択するか［全ＯＮ］［全ＯＦＦ］の選択をし、［ＯＫ］を左クリックして下さい。



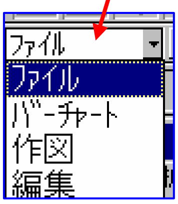
Ｊ．ツールメニュー（ツールバーの明細）



ツールメニューを表示するか、しないかの設定をします。
表示しなければ、その分作図画面が広く利用できます。

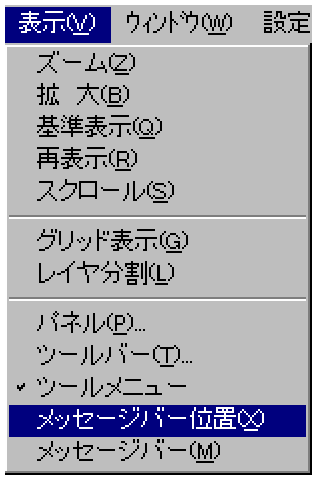
１）メニューバー［表示（V）］［ツールメニュー］を選択すると、ツールメニューが表示（消去）されます。





２）▼マークを左クリックすると、ツール名の選択ができます。

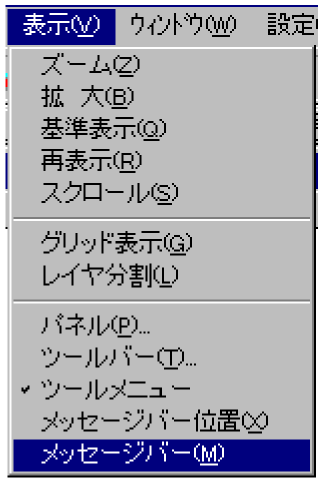
K. メッセージバー位置



メッセージバーの表示位置の変更ができます。

１）メニューバー［表示（V)］［メッセージバー位置（X)］を選択する度に、「メッセージバー」が、画面上部に表示されたり、画面下部に表示されたりします。

L. メッセージバー

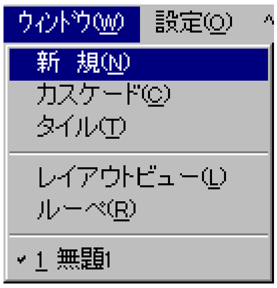


メッセージバーを表示するか、しないかの設定をします。
表示しなければ、その分作図画面が広く利用できます。

１）メニューバー［表示（V)］［メッセージバー（M)］を選択する度に、「メッセージバー」が、表示されたりされなかったりします。

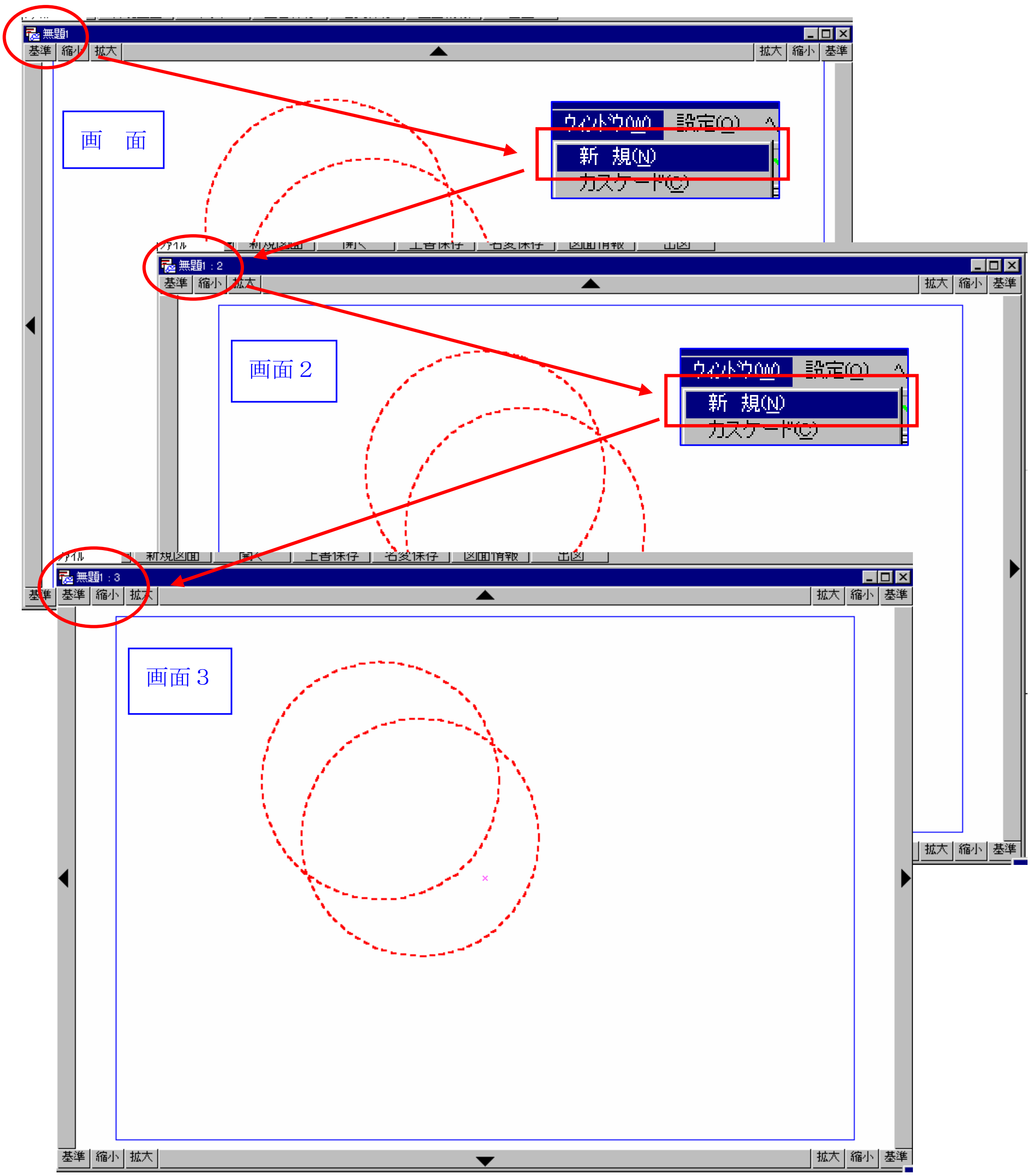
Ⅶ－４　ウインドの制御

Ａ．新規（N）

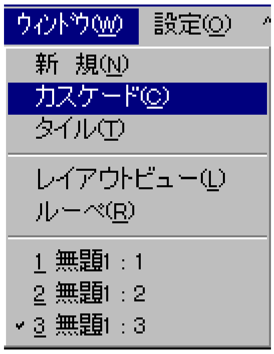


［ファイル（F）］［新規（N）］とは異なりますのでご注意下さい。

1）メニューバー［ウインド（W）］［新規（N）］を選択すると、今現在入力途中の状態そのままの画面が、新たに作成されます。

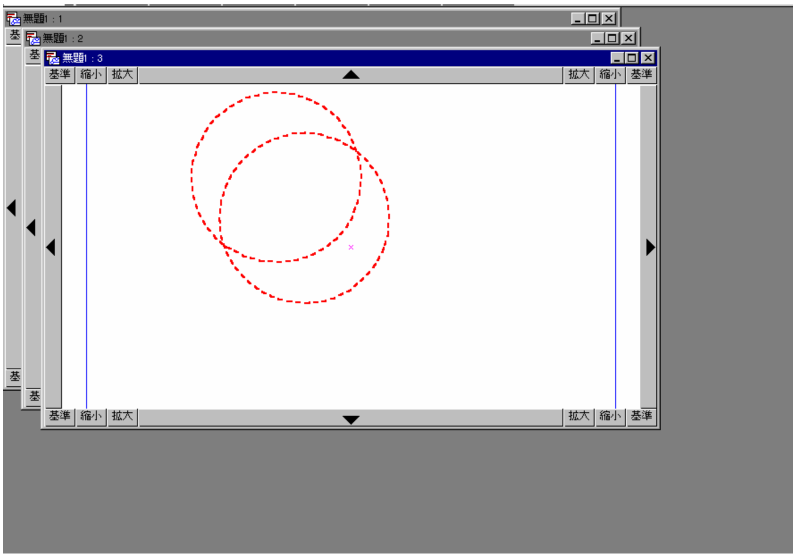


Ｂ．カスケード（C）

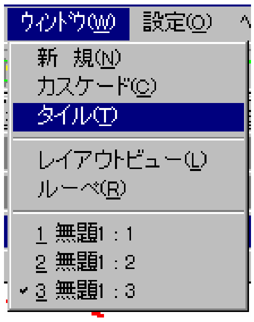


複数の作画画面を使用している場合、全ての画面を一緒に表示します。

１）メニューバー［ウインド（W)］［カスケード（C)］を選択すると、全ての画面が重ね合って表示されます。
２）全面に出したい場合は、出したい画面の任意の場所を左クリックして下さい。
３）画面一杯に表示する場合や、休める場合、終了する場合は通常のＷｉｎｄｏｗｓの操作と同様に行って下さい。

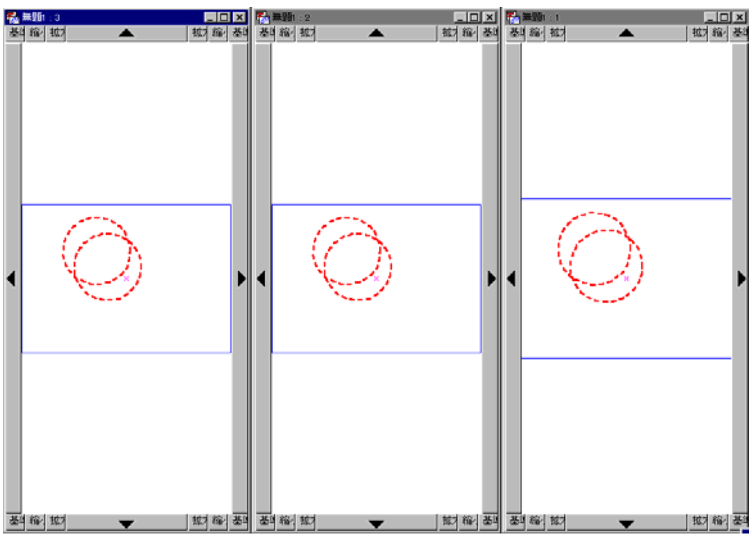


Ｃ．タイル（T）



複数の作画画面を使用している場合、全ての画面を一緒に表示します。

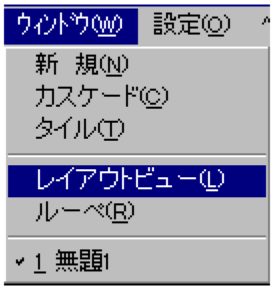
１）メニューバー［ウインド（W)］［カスケード（C)］を選択すると、全ての画面が平面的に縮小表示されます。
２）画面一杯に表示する場合や、休める場合、終了する場合は通常のＷｉｎｄｏｗｓの操作と同様に行って下さい。

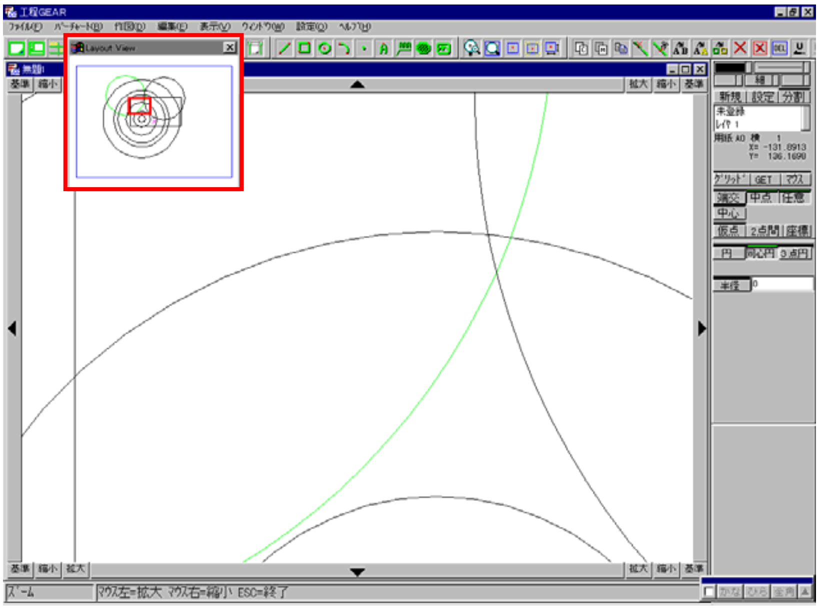


D．レイアウトビュー（L）

画面をズームアップ（拡大）表示して作画をしている場合、全体のイメージを確認する方法です。

1）　メニューバー［ウインド（W)］［レイアウトビュー（L)］を選択すると、画面上に全体を縮小表示したウインドが表示されます。

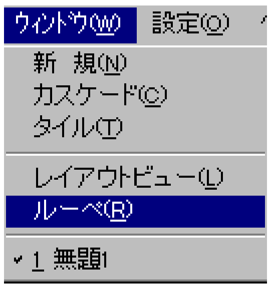


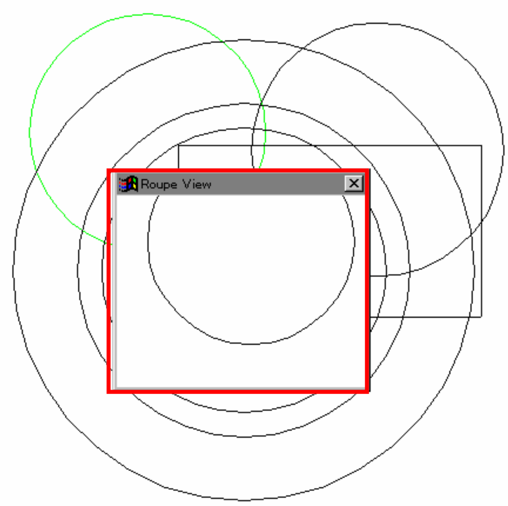


E．ルーペ（R）

画面の一部を拡大表示します。

1）メニューバー［ウインド（W)］［ルーペ（R)］を選択し、拡大したい場所で左クリックするとその場所が拡大表示されます。

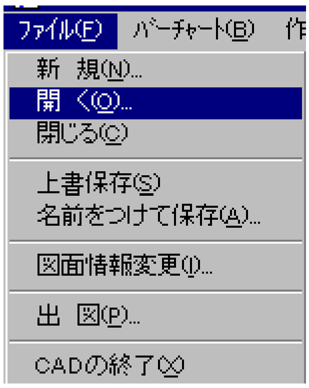




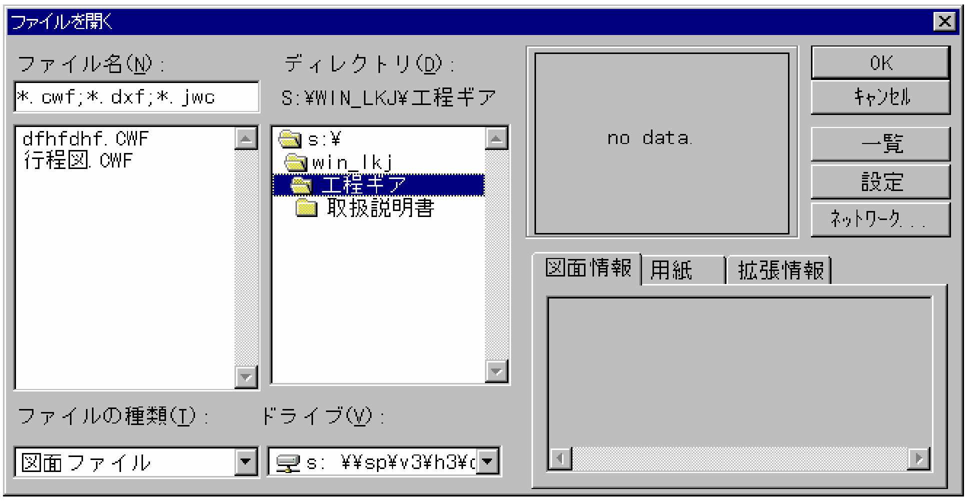
Ⅶ－５　その他の機能

Ａ．他のＣＡＤデータの読み込み

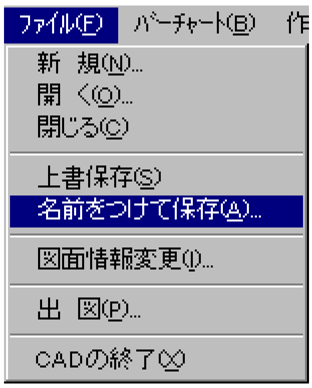
基本的にＤＸＦファイル（拡張子が .dxf）が読み込み可能です。



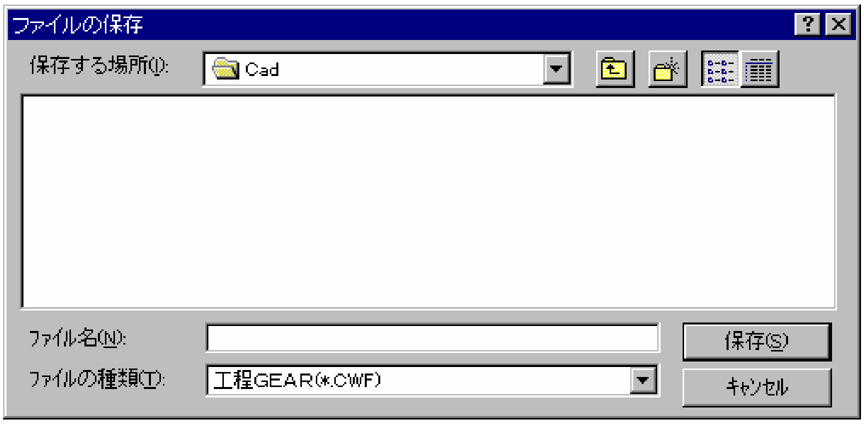
１）メニューバー［ファイル（Ｆ）］［開く（Ｏ）］を選択すると、「ファイルを開く」ウインドが表示されますので、「該当ドライブ」「該当ファイル名」を選択し［ＯＫ］を左クリックして下さい。



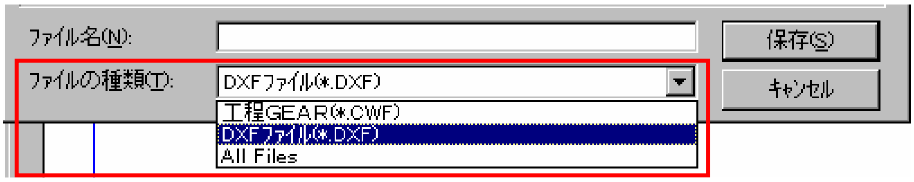
Ｂ．作成データをＤＸＦファイルで保存



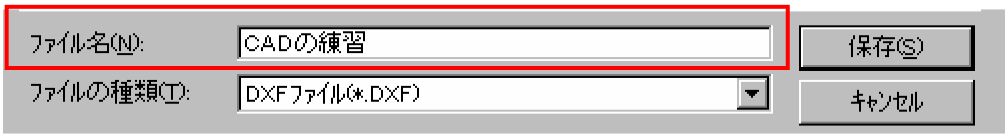
１）メニューバー［ファイル（Ｆ）］［名前を付けて保存（Ａ）］を選択すると、「ファイルの保存」ウインドが表示されます。



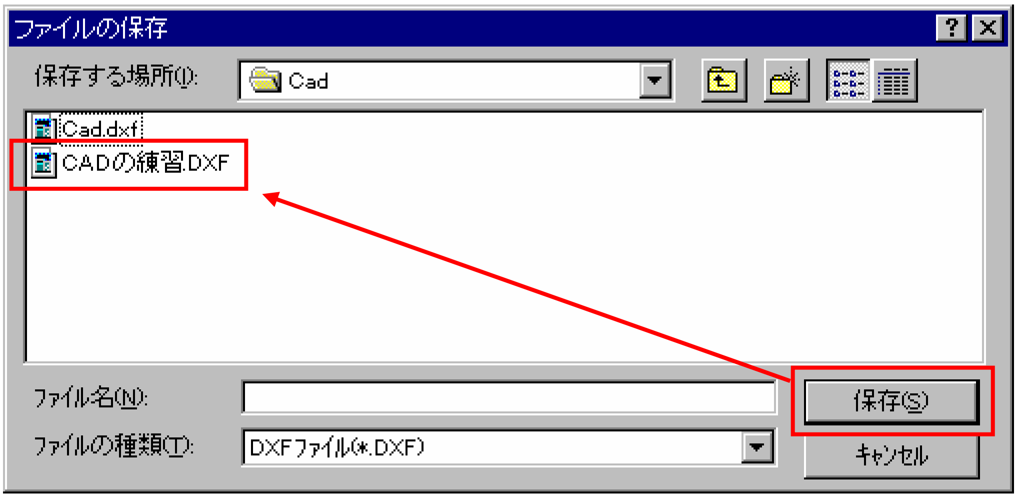
２）「ファイルの種類（Ｔ）」で［ＤＸＦファイル（＊．ＤＸＦ）］
　を選択します。



３）「ファイル名（Ｎ）」に「登録名」を入力します。



４）［保存］を左クリックし、保存を終了します。



ご注意

【工程ギア】【出来形ギア】のソフトでの「データの保存」では、［ファイルの種類（Ｔ）］に「ＣＷＦファイル（＊．ＣＷＦ）」が表示されており、通常このファイル形式でデータの保存を行います。

Ｃ．自動バックアップ

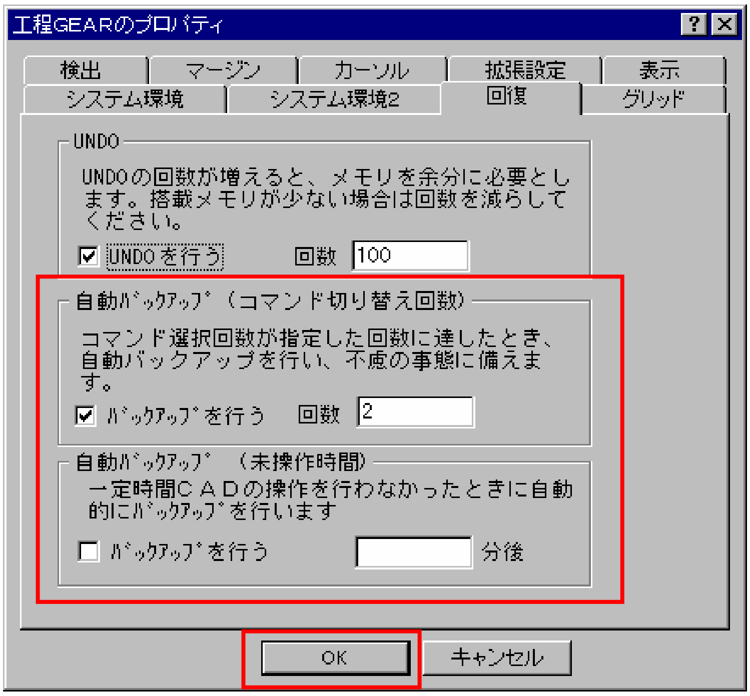
1）メニューバー［設定（O）］［環境設定（R）］を選択すると、「プロパディ」ウインドが表示されます。





2）［回復］フォルダーを左クリックすると、「自動バックアップ」の設定項目が表示されます。

3）該当する条件の方へチェックマークを入力（左クリック）し、該当数値を入力［ＯＫ］で、自動的にデータのバックアップが行われます。



Ｄ．キーボード操作での機能

１）図面枠表示【Ｑ】

図面枠が画面表示枠から消えてしまったとき、【Ｑ】キーで画面中央に引き戻し、表示します。

２）再表示【Ｒ】

画面表示が不自然になった場合に、【Ｒ】キーで、通常の自然な表示に戻してくれます。

３）縮小【Ｉ】

【Ｉ】キーを押すことにより、画面が縮小表示されます。

４）拡大【Ｏ】

【Ｏ】キーを押すことにより、画面が拡大表示されます。

ちょっと一言

Ｖ－４、Ｖ－５で説明している機能のアイコン表示が必要な場合は、［表示（V）］［ツールバー（T）］を選択し「ツールバー設定」ウインドを表示して［ウインド］［設定］等、必要な項目を左クリックで選択、青色表示にして画面上にアイコンを表示して下さい。

